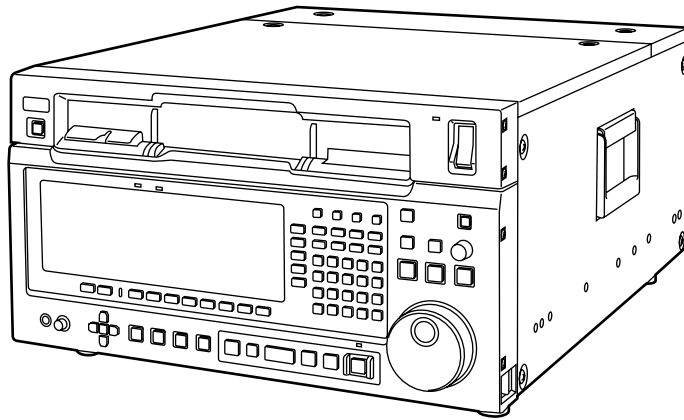


Panasonic[®]

取扱説明書 (ソフトウェア)

Multi Format Digital HD Video Cassette Recorder

品番 **AJ-HD3700B**



このたびは、“パナソニック製品”をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

目次

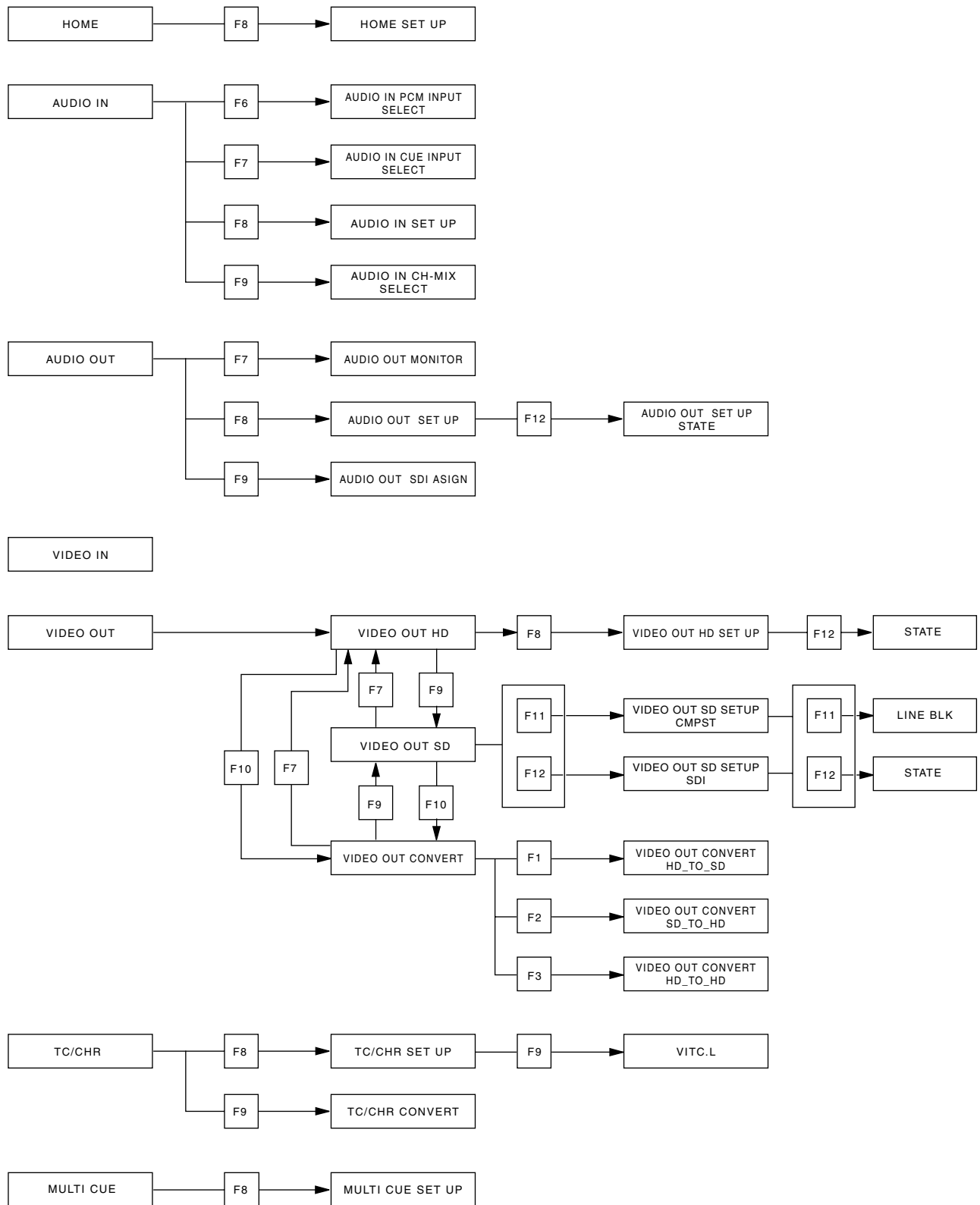
メニュー画面の移行一覧表	4	AUDIO IN CH-MIX SELECT メニュー	58
電源を入れる	7	AUDIO OUT メニュー	61
HOME メニューの表示	8	AUDIO OUT MONITOR メニュー	63
		AUDIO OUT SET UP メニュー	65
		AUDIO OUT SET UP STATE メニュー	70
		AUDIO OUT SDI ASIGN メニュー	72
HOME		TC/CHR	
HOME メニュー	13	TC/CHR メニュー	74
HOME SET UP メニュー	17	TC/CHR SET UP メニュー	81
		TC/CHR SET UP VITC.L メニュー	84
VIDEO		TC/CHR CONVERT メニュー	86
VIDEO IN メニュー	22	VTR システム 23.98Hz、外部 30Hz 環境で	
VIDEO OUT HD メニュー	24	音声インサート編集する機能について	89
VIDEO OUT HD SET UP メニュー	26	VTR システム 23.98/24 (25) Hz で、	
VIDEO OUT HD SET UP STATE メニュー	28	25P (23.98P/24P) テープを再生する場合の	
VIDEO OUT SD メニュー	30	LTC 出力選択機能について	91
VIDEO OUT SD SET UP			
COMPOSITE メニュー	32	MULTI CUE	
VIDEO OUT SD SET UP CMPST		MULTI CUE メニュー	92
STATE メニュー	34	MULTI CUE SET UP メニュー	96
VIDEO OUT SD SET UP SDI メニュー	36		
VIDEO OUT SET UP LINE BLK		EDIT	
(ビデオ出力ラインブランキング) メニュー	38	INSERT/ASSEMBLE MANUAL EDIT メニュー	98
VIDEO OUT SD SET UP SDI		INSERT/MANUAL EDIT CH	
STATE メニュー	40	SELECT メニュー	99
VIDEO OUT CONVERT メニュー	42	INSERT/ASSEMBLE MANUAL EDIT	
VIDEO OUT CONVERT HD_TO_SD メニュー	43	SET UP メニュー	101
VIDEO OUT CONVERT SD_TO_HD メニュー	46	INSERT/ASSEMBLE AUTO EDIT メニュー	109
VIDEO OUT CONVERT HD_TO_HD メニュー	47	INSERT AUTO EDIT CH SELECT メニュー	116
		INSERT AUTO EDIT STOP CODE メニュー	118
AUDIO		INSERT/ASSEMBLE AUTO EDIT	
AUDIO IN メニュー	48	SET UP メニュー	122
AUDIO IN PCM INPUT SELECT メニュー	50		
AUDIO IN CUE INPUT SELECT メニュー	53		
AUDIO IN SET UP メニュー	55		

各メニューの機能説明での下線は初期設定を示しています。

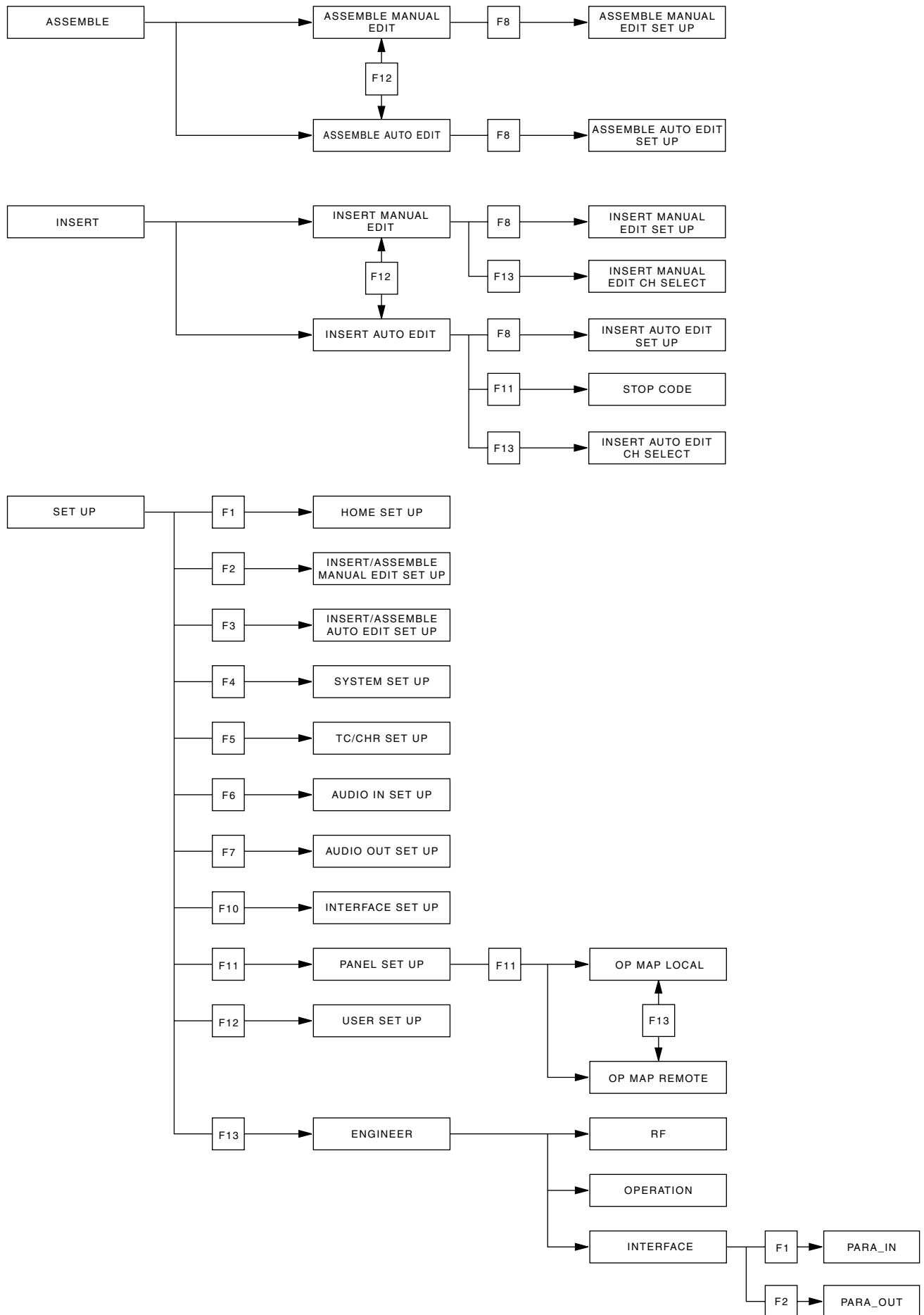
目 次

SET UP		TEST	
SET UP メニュー	126	TEST メニュー	162
INTERFACE SET UP メニュー	127	RF TEST メニュー	164
PANEL SET UP メニュー	133	RF 調整値の表示メニュー	167
PANEL SET UP (OP MAP REMOTE) メニュー	135	AUDIO TEST メニュー	168
PANEL SET UP(OP MAP LOCAL)メニュー	138	MECHA TEST メニュー	169
USER SET UP メニュー	140	SYSTEM TEST メニュー	171
SYSTEM SET UP メニュー	145	SERVO TEST メニュー	172
ENGINEER SET UP メニュー	151	TEST FRONT メニュー	175
RF ENGINEER SET UP メニュー	152	TEST FRONT PANEL メニュー	176
OPERATION ENGINEER SET UP メニュー	154	TEST FRONT KEY CHECK IN メニュー	177
INTERFACE ENGINEER SET UP メニュー	156	IC カードの挿入	179
PARA_IN INTERFACE ENGINEER SET UP	158	TEST IC CARD メニュー	180
PARA_OUT INTERFACE ENGINEER SET UP	160	TEST IC CARD USER メニュー	182
		TEST IC CARD MULTI CUE メニュー	183
		TEST IC CARD MULTI CUE SELECT メニュー	184
		TEST IC CARD MULTI CUE MONITOR メニュー	185
		TEST IC CARD ERROR LOG メニュー	186
		TEST IC CARD ERROR LOG MONITOR メニュー	187
		エラーメッセージについて	188
		DIAG メニューのエラーメッセージ	189
		DIAG ACTIVE メニュー	190
		DIAG MASKED メニュー	191
		DIAG LAST メニュー	192
		DIAG のエラーメッセージ	193
		AUTO OFF のエラーメッセージ	197
		SYSTEM のエラーメッセージ	199
		操作メッセージ	201
		操作メッセージ (AUTO EDIT モード時)	202
		スクリーンセーバー機能	203

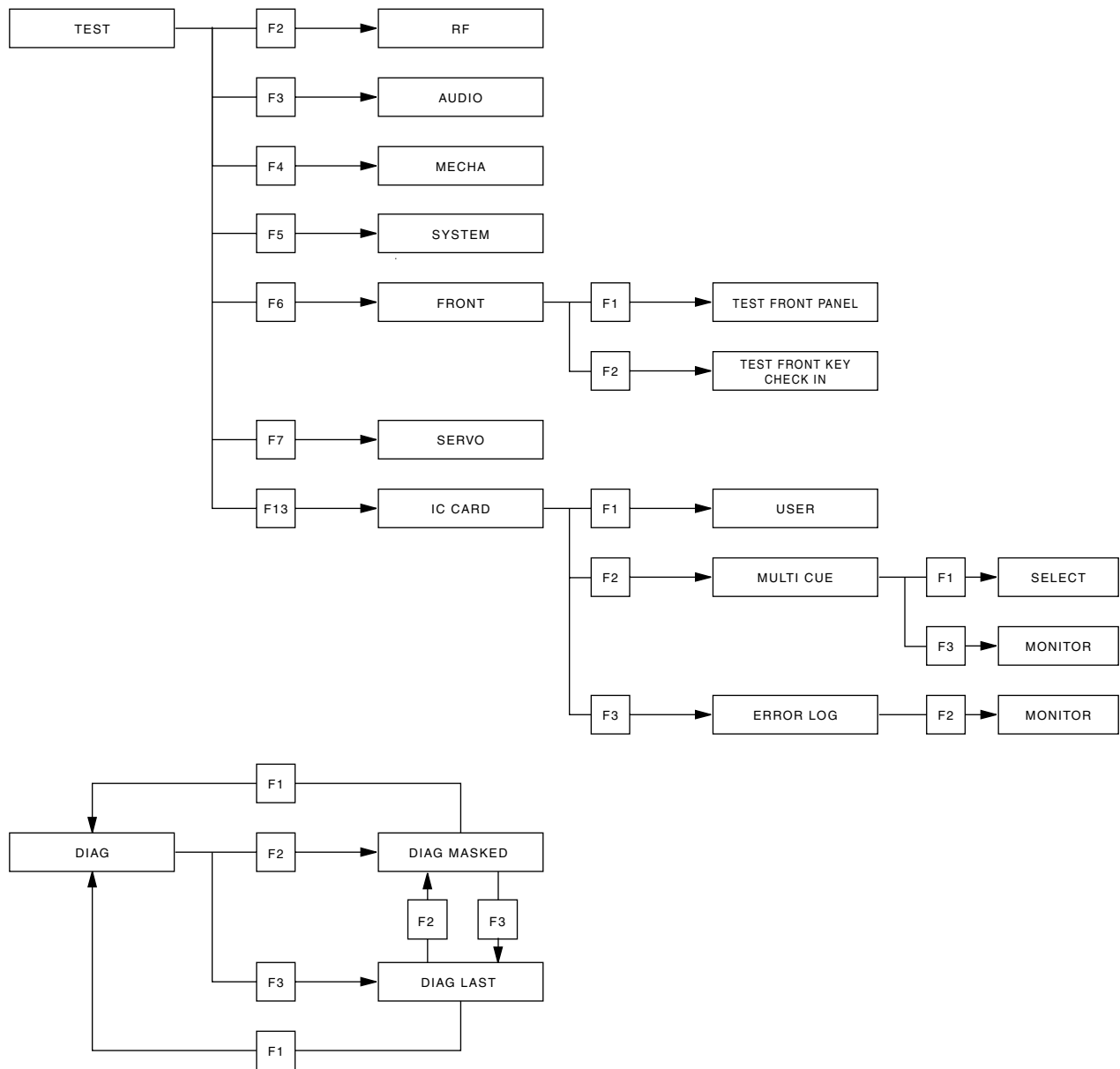
メニュー画面の移行一覧表



メニュー画面の移行一覧表



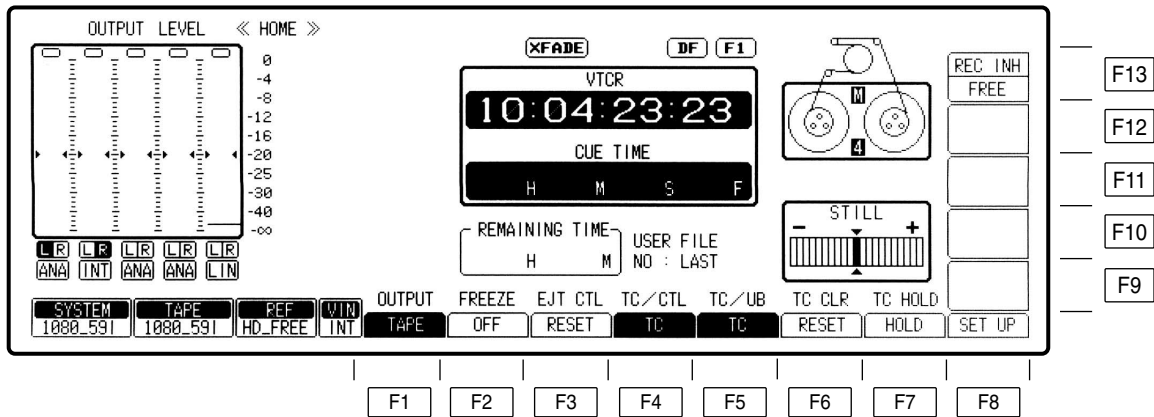
メニュー画面の移行一覧表



電源を入れる

電源を入れます。

HOME メニューが出ます。



本機は、操作する目的に応じたメニューをあらかじめ用意しており、メニュー画面ごとに異なった操作を行います。メニュー選択ボタンで各メニューを選択すると、ディスプレイの表示内容が変わり、ファンクションキー（F1～F13）の機能もそれぞれ各メニューにあった働きになります。

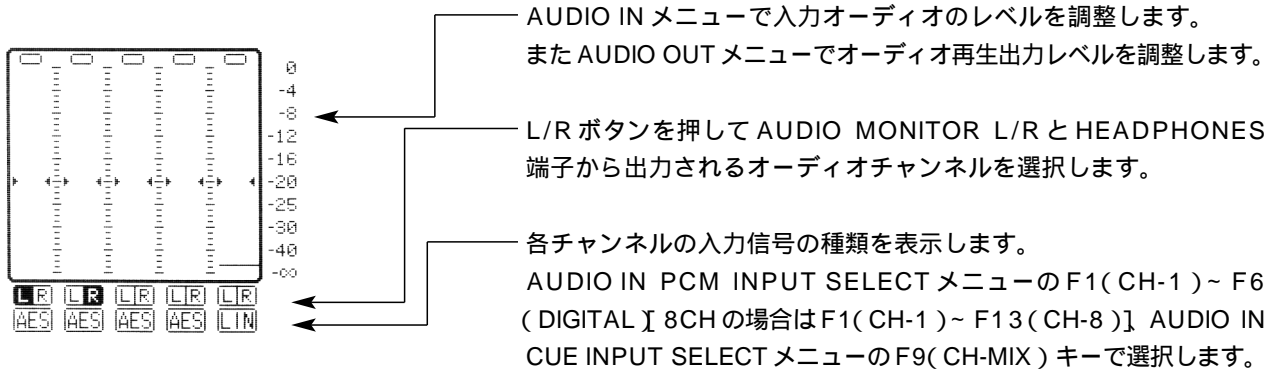
また、各メニューの中であまり頻繁に使用しない機能などを設定しておくためにSET UPメニューを設けております。

本機では、基本メニューとしてHOMEメニューを設けています。電源を入れたときは自動的にHOMEメニューがディスプレイに表示されます。（ただし、ICカードが挿入されている時は、自動的にIC CARDメニューが表示されます。）

注）カセットテープのアニメーション表示はカセットテープ挿入後に表示されます。

HOME メニューの表示

オーディオ信号表示部 (フォーマットに応じて、8CHまたは4CHを自動的に表示します。)



- └ ANA : ANALOG INPUT 端子からの信号。
- CH1 AES : DIGITAL AUDIO INPUT 端子からの信号。
- └
- CH8 SER : シリアル V/A 入力端子からの信号。
- └ INT : 内部の信号発生器からの信号。
- └ LINE : CUE IN 端子からの信号。
- CUE MIX : CUE MIX の設定で CH1 ~ CH8 の選択された信号。
- └ AUTO : 常にデジタルチャンネルのバックアップ用となります。

表示ランプ



- SYSTEM : SETUP/SYSTEM メニューで設定した VIDEO SYSTEM フォーマットを表示します。
1080_59i, 525_59i, 1080_23psf, 1080_23p, 1080_24psf, 1080_24p, 720_59p, 1080_50i, 1080_25psf, 1080_25p, 625_50i
- TAPE : 再生テープフォーマットを表示します。
EJECT 状態では * * * * * 表示
無記録部分などのフォーマットが判別出来ない場合は、それまでのフォーマット表示を保持したまま点滅をします。
1080_59i, 1080_60i, 1035_59i, 1035_60i, 525_59i, 1080_23p, 1080_24p, 720_59p, 720_60p, 1080_50i, 1080_25p, 625_50i

< ノート >

システムを 1080/23.98psf または 1080/23.98p に設定して記録されたテープは同一テープフォーマットとして記録され、再生時は「1080_23p」とフロントパネルに表示されます。同じように 1080/24psf、1080/24p システムでの収録テープは、「1080_24p」としてフロントパネルに表示され、1080/25psf、1080/25p システムでの収録テープは「1080_25p」とフロントパネルに表示されます。

メニューの
出し方

• AUDIO IN メニュー

AUDIO IN

• AUDIO IN PCM INPUT SELECT メニュー

AUDIO IN F6

• AUDIO OUT メニュー

AUDIO OUT

• AUDIO IN CUE INPUT SELECT メニュー

AUDIO IN F7

HOME メニューの表示



REF : 本機で選択されている出力リファレンスの状態を表示します。

HD_REF59 : フィールド周波数 59.94Hz の HD_REF が選択されています。

HD_REF47 : フィールド周波数 47.96Hz の HD_REF が選択されています。

HD_REF48 : フィールド周波数 48.00Hz の HD_REF が選択されています。

HD_REF50 : フィールド周波数 50.00Hz の HD_REF が選択されています。

SD_REF59 : NTSC 信号が SD_REF として選択されています。

SD_REF50 : PAL 信号が SD_REF として選択されています。

HD_IN59 : フレーム周波数 29.97Hz の HD シリアル入力が REF として選択されています。

HD_IN47 : フレーム周波数 23.98Hz の HD シリアル入力が REF として選択されています。

HD_IN48 : フレーム周波数 24.00Hz の HD シリアル入力が REF として選択されています。

HD_IN50 : フレーム周波数 25.00Hz の HD シリアル入力が REF として選択されています。

SD_IN59 : フィールド周波数 59.94Hz の SD シリアル入力が REF として選択されています。

SD_IN50 : フィールド周波数 50.00Hz の SD シリアル入力が REF として選択されています。

HD_FREE : OUT REF の設定で選択された REF がないため HD 内部発信器を使用しています。

SD_FREE : OUT REF の設定で選択された REF がないため SD 内部発信器を使用しています。

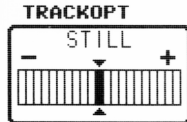
*DUAL : HD_REF47 と SD_REF59 が同時に選択されています。

本機の SYSTEM フォーマットで 1080_23psf を選択、かつ OUT REF 設定で AUTO を選択し、その上上記 2 つの REF が入力されている時に有効となります。

*本機は HD_REF と SD_REF を使い内部で 24 60 変換を確定するための基準として使っています。

HOME メニューの表示

設定モード表示部

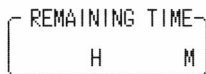


設定された各モードを表示します。

CUT : オーディオカット編集の設定。
XFADE : オーディオクロスフェード編集の設定。
VFADE : オーディオVフェード編集の設定。
INTRP : タイムコードの補間(正確に読み取れない)モードになっている。
DF : ドロップフレームモードの設定。
F1/F2 : VITC時のフィールド番号。

EMPHASIS : オーディオにプリエンファシスがかかっています。
TRACK VAR : トラッキングが固定位置からはずれて調整されている場合に表示されます。
TRACK OPT : トラッキングが最適化調整されている場合に表示されます。

テープ残量時間



テープの走行に従い、テープの残量時間を表示します。

ユーザーファイルの表示

USER FILE
NO : LAST

電源投入時に呼び出されるファイルまたは現在呼び出されているユーザーファイルの番号を表示します。
表示されているユーザーファイルの内容と、現在の設定値が一か所でも異なる場合、ファイル番号の前に * が表示されます。

タイムコードの表示



各種タイムコードの値を表示します。

CTL1 : 通常のコントロール信号
CTL2 : コントロール信号(リセット不可能)
LTCR : LTCの読み取り
LUBR : LTCユーザービットの読み取り
VTCR : VITCの読み取り
VUBR : VITCユーザービットの読み取り
TCG : ジェネレータ発生値
LUBG : LTCユーザービットの発生値
VUBG : VITCユーザービットの発生値
E-TC : 外部タイムコード
E-UB : 外部ユーザービット

ジェネレータ発生値のチェック

INPUT CHECK

INPUT CHECK キーを押します。
押し続けている間、ジェネレータ値を表示します。

TCG

00 : 41 : 07 : 04

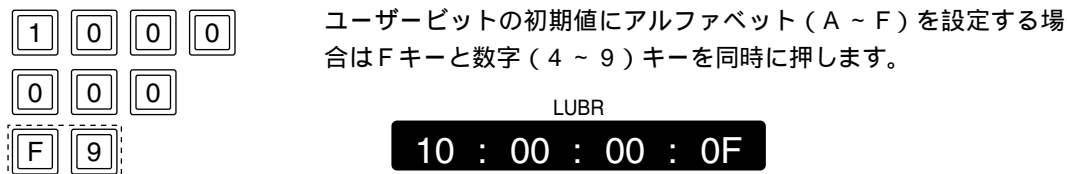
HOME メニューの表示

タイムコード初期値の設定

- (1) カーソルセンターキーを押します。
表示が反転します。



- (2) 再度カーソルセンターキーを押し、カーソルを桁カーソルにした後、数字キーで値を入力します。



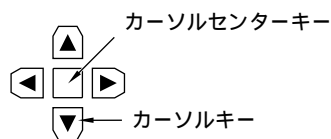
- (3) ENT キーを押します。
カーソルが消えます。(初期値設定終了)

- ・ 値をクリアするときは、(2) で C キーを押します。
- ・ 入力したデータを確認する場合は INPUT CHECK キーを押します。

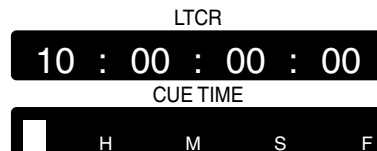
HOME メニューの表示

キュータイムの設定と確認

- (1) カーソルセンターキーを押します。
タイムコード表示が反転します。



- (2) カーソルキー () を押します。
キュータイム表示が反転します。



- (3) 再度カーソルセンターキーを押し、カーソルを桁カーソルにした後、数字キーで値を入力します。



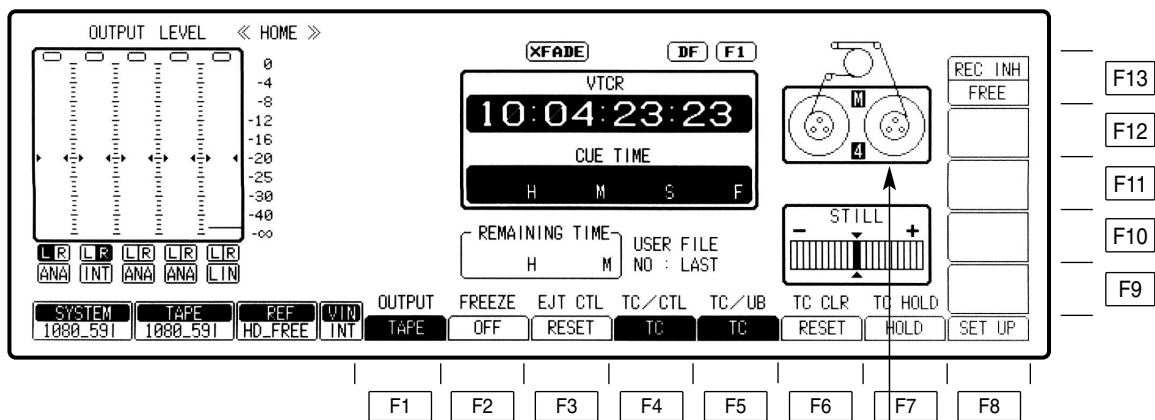
- (4) ENT キーを押します。
カーソルが消えます。(キュータイムの設定終了)

- (5) PREROLL ボタンを押します。
テープ上のキュータイムを探し、キュータイムに対してプリロールし、テープは停止します。

- ・ ENTRY ボタンを押すと、テープの現在位置が自動的に入力されます。
- ・ (5) で F キーと PREROLL ボタンを同時に押すと、サーチ動作となり、登録されたキュー点でテープは停止します。

HOME メニュー

HOME キーを押すとメニューが出ます。



④ : 音声 4ch フォーマットのカセット
⑧ : 音声 8ch フォーマットのカセット
(カセット C bit ピンの状態を表示しています。)
システムフォーマットと上記 C bit ピンが一致
していない場合は表示が点滅します。

HOME メニュー

キー	項目	機能
F1	OUTPUT ビデオ / オーディオ 出力信号の選択	キーを押している間だけ現在と反対のモードになります。(TAPE 設定時に押すと EE となります。) (F キーと同時に押すと切り替わった表示になります。) TAPE : 再生信号を出力します。 EE : EE 系信号を出力します。 ・STOP、REC、EJECT モードのみ有効。再生中は無効です。 ・CUE 信号の出力には、このキー操作は動作しません。
F2	FREEZE フラッシュ フリーズ 画の出力	フィールドメモリー 1 画面の連続出力を行います。 キーを押している間だけフラッシュフリーズ画になります。 F キーと同時に押すと、設定を固定することができます。 ON : フィールドメモリー画面を出力します。 OFF : フリーズしません。
F3	EJT CTL	<u>RESET</u> : EJECT 時に CTL1 をクリアーします。またカセット挿入時に CTL2 をクリアーします。 HOLD : EJECT 時に CTL1/CTL2 を保持します。
F4	TC/CTL タイムコードと コントロール信号の 切り替え	<u>TC</u> : タイムコード信号を表示します。 CTL1 : コントロール信号値を表示します。(「0」にリセット可能です。) CTL2 : カセットテープを入れると自動的に「0」にリセットされます。 以降のコントロール信号値はリセットできません。
F5	TC/UB タイムコードと ユーザービットの 表示切り替え	<u>TC</u> : タイムコード値を表示します。 UB : ユーザービット値を表示します。 ・F4 キーで「TC」が選択されているとき有効です。 ・再生時はタイムコードの読み取り値を表示します。 ・記録時はテープ上に記録するタイムコード値を表示します。 記録時以外に発生値を表示するには、INPUT CHECK キーを押します。
F6	CTL CLR CTL 値のクリア (TC CLR) TCG 値のクリア (UB CLR) UBG 値のクリア	TC/CTL が「CTL1」のときのみ有効。 RESET : CTL1 タイムデータが「0」リセットされます。 TC/CTL と TC/UB が「TC」のときのみ有効。 RESET : F キーと同時に押すと TCG 値が「0」リセットされます。 TC/CTL が「TC」で TC/UB が「UB」のときのみ有効。 RESET : F キーと同時に押すと UBG 値が「0」リセットされます。 ただし UBG は VITC UBG と TC UBG の 2 種類あるため TC/CHR メニューの TCR 設定で以下のように対応しています。 TCR : AUTO のとき LTC と VITC の両 UBG が「0」リセットされます。 TCR : LTC のとき LTC UBG が「0」リセットされます。 TCR : VITC のとき VITC UBG が「0」リセットされます。
F7	TC HOLD タイムコード値のホールド	押した時点の値を表示し続けます。 ・再度押すと、ホールド値を解除します。

HOME メニュー

キー	項目	機能
F8	SET UP	HOME SET UP メニューに移行します。
F9 ~ F10		
F11	PREAD A* オーディオの先行読み出し ON/OFF (SDモードのみ)	AUTOまたはMANUAL EDITモードでインサート編集する場合、すでに記録されているデジタル信号を先行読み出しし、編集ソースとして使用するときに使用します。 ONにするときは、FキーとF11またはF12キーを同時に押します。 OFFにするときは、F11またはF12キーだけを押しします。 ONの場合は「プリリード編集」(次ページ)を参照。
F12	PREAD V* ビデオの先行読み出し ON/OFF (SDモードのみ)	ON : デジタル信号をプリリード(先行読み出し)します。 OFF : デジタル信号をプリリード(先行読み出し)しません。編集時、同時再生が可能です。 ・F11、F12キーでOFFを選ぶと、STATE画面で「EE」を選択している時、発振をおこす場合があります。(同一チャンネルの入力と出力が接続されている時に限ります。) ・どちらかをONに設定した場合、アップコン映像はミュートされます。
F13	REC INH 録画禁止モードの設定	FREE : 記録可能です。 NRML. REC : ノーマル記録を禁止します。ただし、編集は可能です。(REC INHIBITランプが長い周期で点滅します。) ALL : すべての記録を禁止します。(REC INHIBITランプが点灯します。) PRE CTL : ノーマル記録時の上書きを禁止します。(REC INHIBITランプが短い周期で点滅します。) ・このキー設定よりも、カセットテープ側の記録禁止用ピンで設定されるCASSETTE REC INHIBITモードが優先されます。

* 480/59.94i、576/50iフォーマット選択時のみ上記ファンクションが設定可能です。

HOME メニュー

プリリード編集 [SD モード (480/59i、576/50i) しか動作しません。]

(1) FキーとF11 (PREAD A) またはF12 (PREAD V) キーを同時に押して「ON」にします。

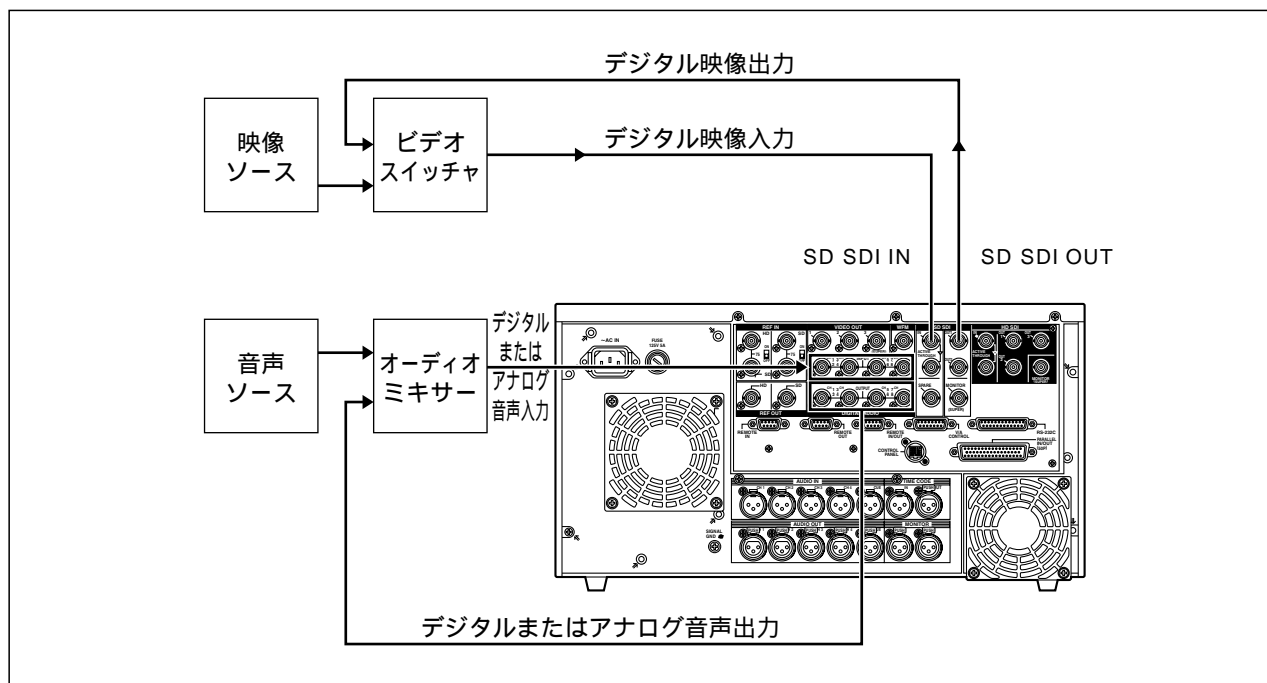
PREAD V
ON
PREAD A
ON

- (2) 下図のようにプリリード編集を行うための接続をします。
- (3) 希望のインサート編集モードでプリリード編集を行います。
- (4) 編集実行後、接続を元に戻します。
- (5) F11 またはF12 キーを押して「OFF」にします。
- (6) ループ接続がないか確認してください。

<ノート>

プリリード時、SD SDI MONITOR および AUDIO MONITOR はモニター端子として動作し、IN 点から OUT 点までは入力信号をそのまま出力します。

また AUDIO につきましては、モニター MIX 機能が「ON」になっている時はプリリードモニター機能は動作しません。MIX を「OFF」にして使用してください。



プリリード編集を行うには

HOME SET UP メニュー

HOME **F8** キーを押すとメニューが出ます。

または

SET UP **F1** キーを押すとメニューが出ます。

The screenshot shows the 'HOME : SET UP' menu with the following elements:

- OUTPUT LEVEL**: A graph with a vertical scale from 0 to -∞ and horizontal sliders for each channel.
- REFERENCE**: A box containing 'OUT REF : AUTO INPUT HD REF SD REF'.
- REC INHIBIT**: A menu with options: CASSETTE, FREE, WID/CNTL, ALL.
- STBY OFF**: A menu with options: 3 MIN, STILL, 1 MIN, PREROLL, 5 SEC.
- STILL**: A level indicator with a vertical bar and '+' '-' markers.
- STATUS BAR**: Includes SYSTEM (1080_23PsF), TAPE (*****), REF (HD_FREE), WIN (DIG), SYNC PLY (OFF), AT PLAY (FIELD), PRG PLY (FINE), CAP LOCK (0.0%), TAPE MD (8F AUTO), HD STOP, and EXIT.
- Function Keys**: F1 through F8 are shown below the menu. F9 through F13 are shown to the right of the menu.

HOME SET UP メニュー

キー	項目	機能
F1	SYNC PLY シンクプレイ	再生モードへの立ちあがりを自動的に補正します。例えば、プリロール点からVTRを再生すると、プリロールタイム経過後にIN点に達します。(フロントパネルからの操作のみ有効です。) ON : シンクプレイ機能が動作します。 OFF : 通常の再生になります。
F2	AT PLAY ジョグ・バリアブル 時のフィールド/フ レーム再生切り替え	FIELD : フィールド単位で再生します。 FRAME1/ FRAME2*1 : - 1 ~ + 1 倍速まではフレーム単位、それ以外はフィールド単位で再生します。テープ素材画像が第1フィールドを切れ目として編集された場合のような第2フィールドから第1フィールド移行時にシーン切れ目があるテープの場合は、FRAME1をご使用ください。 FRAME2は第2フィールドがシーン切れ目の場合に使用します。
F3	PRG PLY プログラムプレイ	プログラムプレイの可変ステップを選択します。 FINE : プログラムプレイの可変を0.1%ステップで変化させます。 COARSE : プログラムプレイの可変を1.0%ステップで変化させます。
F4	PRG PLY プログラムプレイ機 能の設定	通常再生をF3キーの可変ステップで±5%の範囲で可変速に再生が行えます。(初期設定は0.0%) 「プログラムプレイ機能」参照。
F5	CAP LOCK*2 キャプスタンサーボ ロックの設定	再生時のキャプスタンサーボロックモードを選択します。 4F AUTO (8F AUTO : 1080/23p、1080/24p、1080/50i、576/50i時) : カラーフレームオートロックモードになります。再生中、カラーフレームに不連続が生じた時、本機は再度新しいカラーフレームにロックします。 4F FORCE (8F FORCE : 1080/23p、1080/24p、1080/50i、576/50i時) : カラーフレーム強制ロックモードになります。 再生中、カラーフレームに不連続が生じても、本機は最初にロックしたフィールドの順序を保ちます。 2F : フレームロックモードになります。 ・キャプスタンサーボロックはAUTO/MANUAL EDIT SET UPメニューでも設定できます。両方の設定が異なる場合は、最後に設定したモードを優先します。
F6	TAPE MD. スタンバイOFF時の テープ状態の設定	HD.STOP : テンションを解除した状態(ルーズニング)でドラムの回転を停止します。 HLF LOAD : ハーフローディング状態にします。
F7		
F8	EXIT	HOMEメニューに戻ります。

*1 720/59p、1080/23p、1080/24p、1080/25p フォーマット選択時は動作しません。

*2 <ノート>

1080/59i フォーマットでは、工場出荷時は2Fに設定されています。1080/23p フォーマットでは、工場出荷時は8F AUTOに設定されています。

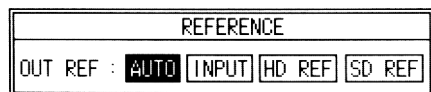
フォーマットにより工場出荷設定が異なりますので、フォーマット変換時にはご注意ください。

HOME SET UPメニュー

キー	項目	機能
F9 ~ F10		
F11	PREROLL プリロールタイムの 選択	F11 キーを押した後、ADJUST VR を回します。 0 ~ 30 秒の間で選択可能です。(初期設定は 5 秒)
F12	STILL スチルモードの持続 時間の設定	STOP / スチル (静止画) モードの持続時間を設定します。 テープ保護のために一定時間の経過とともに自動的にテープテンション解 除モード (ルージング) になります。この時間を設定することができます。 F12 キーを押した後、ADJUST VR を回します。 1sec、3sec、30sec、 <u>1MIN</u> 、3MIN、5MIN を設定できます。 スチルタイマーを 5MIN に設定した場合は、「STILL STEP」機能を ON/OFF 選択することができます。詳しくは 148 ページの OPERATION ENGINEER SET UP メニューの F2 (STILL STEP) キーを参照してく ださい。
F13	STBY OFF スタンバイモードの 持続時間の設定	ルージングからスタンバイオフモードに移行するまでの時間を設定します。 F13 キーを押した後、ADJUST VR を回します。 1sec、3sec、30sec、1MIN、 <u>3MIN</u> 、16MIN、 [無限大：スタン バイオフモード (ドラムストップ / ハーフローディング) には移行しま せん。] に設定できます。

HOME SET UP メニュー

リファレンス



OUT REF : ビデオ出力信号のリファレンスを設定します。

AUTO : REF VIDEO 端子の信号入力があるときは REF VIDEO にロックし、無いときは INPUT 入力信号にロックします。どちらも無いときは内部信号がリファレンスになります。

フォーマットにより以下の優先順位となります。

< HD モード >

HD REF > SD REF > INPUT > FREE

< SD モード >

SD REF > HD REF > INPUT > FREE

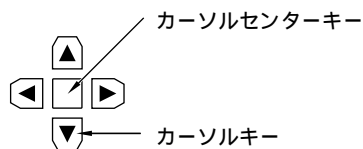
INPUT : INPUT 入力信号があるときは INPUT 信号にロックし、INPUT 入力信号が無いときは内部信号がリファレンスになります。

HD REF : HD REF IN 端子に HD REF 入力があるときは REF 信号にロックし、無いときは内部信号がリファレンスになります。

SD REF : SD REF IN 端子に SD REF 入力があるときは REF 信号にロックし、無いときは内部信号がリファレンスになります。

操 作

- (1) カーソルセンターキーを押します。
カーソルが表示されます。



- (2) カーソルキーで設定したい項目にカーソルを移動させます。
選択された項目は点滅表示になります。

OUT REF: INPUT

- (3) ENT キーを押します。設定が確定します。

* 720/59p フォーマットでは、外部機器との同期に SD_REF をご使用ください。(720/59p フォーマットでは、SD_REF または SD_FREE となります。)

AUTO 設定時には優先順位は、SD_REF>FREE となります。

HOME SET UP メニュー

プログラムプレイ機能

(1) F4 (PRG PLY) キーを押します。

(2) F3 (PRG PLY) キーでステップを FINE または COARSE に設定します。

(3) ADJUST VR でプログラムプレイ速度を設定します。

PRG PLY
2.0%

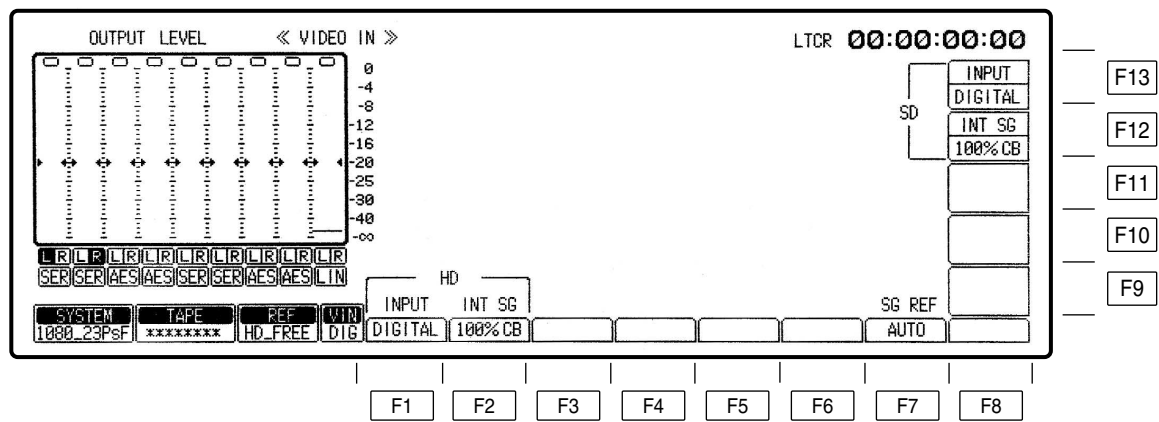
(4) PLAY と VAR ボタンを同時に押します。

(5) 再生速度を変えたい場合は、VAR ボタンを押しながら、ADJUST VR を回します。

(6) プログラムプレイを停止するときは、STOP ボタンを押します。

VIDEO IN メニュー

VIDEO IN キーを押すとメニューが出ます。



VIDEO INメニュー

キー	項目	機能
F1	INPUT HDビデオ入力信号の 選択	<u>DIGITAL</u> : シリアル入力信号を選択します。 INT SG : 内部信号を選択します。
F2	INT SG HD内部信号の種類 選択	75%CB : 75%カラーバーを選択します。 <u>100%CB</u> : 100%カラーバーを選択します。 RAMP : ランプ信号を選択します。 MULT-BST : マルチバーストを選択します。 BLACK : ブラックバーストを選択します。 SIF PLL : シリアルインターフェースPLLチェック用信号を選択し ます。 SIF EQ : シリアルインターフェースイコライザチェック用信号を選 択します。 SMPTE CB : SMPTE カラーバーを選択します。 ARIB CB : ARIB カラーバーを選択します。
F3 ~ F6		
F7	SG REF INT-SGの同期	<u>AUTO</u> : ビデオ入力信号があるときはINPUT信号に内部信号をロッ クさせ、ビデオ入力信号がないときは、OUT REF 設定*で 選択された信号にロックさせます。 OUTPUT : OUT REF 設定*で選択された信号にロックさせます。 ノート OUTPUT 選択時には、SD SDI入力のエンベデッドオーディオがミュート されますのでご注意ください。
F8 ~ F11		
F12	INT SG SD内部信号の種類 選択	75%CB : 75%カラーバーを選択します。 <u>100%CB</u> : 100%カラーバーを選択します。 RAMP : ランプ信号を選択します。 MULT-BST : マルチバーストを選択します。 BLACK : ブラックバーストを選択します。 SIF PLL : シリアルインターフェースPLLチェック用信号を選択し ます。 SIF EQ : シリアルインターフェースイコライザチェック用信号を選 択します。 SMPTE CB : SMPTE カラーバーを選択します。
F13	INPUT SDビデオ入力信号の 選択	<u>DIGITAL</u> : シリアル入力信号を選択します。 INT SG : 内部信号を選択します。

* HOME SET UPメニューを参照してください。

VIDEO OUT HD メニュー

VIDEO OUT キーを押すとメニューが出ます。

The screenshot displays the VIDEO OUT HD menu with the following elements:

- Header:** OUTPUT LEVEL << VIDEO OUT HD >> LTR 00:00:00:00
- Level Meter:** A graphical meter with 10 vertical bars and a scale from 0 to -∞.
- dB Scales:** Three vertical dB scales for Y, PB, and PR channels, ranging from 0 to -∞.
- mV Scale:** A vertical mV scale for BLACK.L, ranging from 100 to -100.
- Channel Labels:** Y, PB, PR, BLACK.L.
- Function Buttons:** F13, F12, F11, F10, F9 (on the right); F1-F8 (at the bottom); CONVERT, SD, SET UP (on the right side of the menu).
- System Information:** SYSTEM 1080_23PsF, TAPE ***** (with a cursor), REF HD_FREE, WIN DIG.

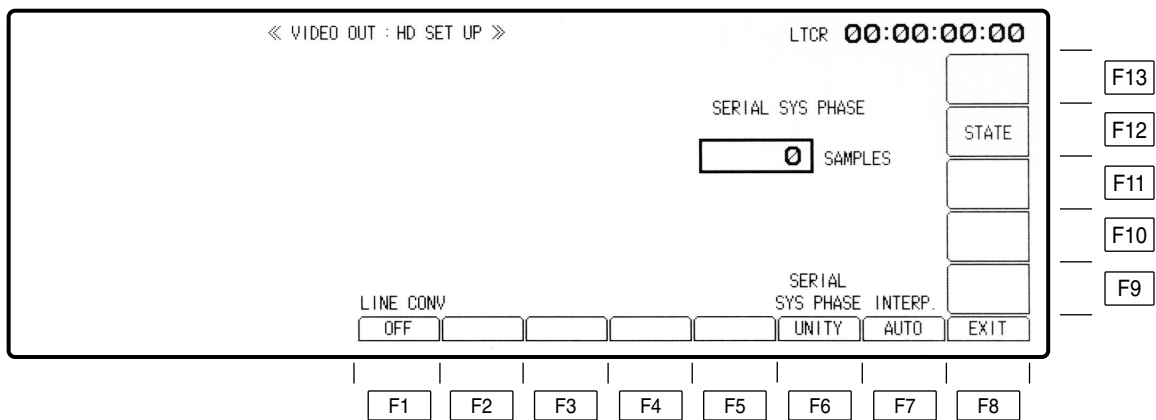
VIDEO OUT HDメニュー

キー	項目	機能
F1	Y Yレベル調整	- ~ + 3dB : (微調整モード時は - 3dB ~ + 3dB) ・ Fキーと同時に押すと微調整モードになります。
F2	PB P _B レベル調整	- ~ + 3dB : (微調整モード時は - 3dB ~ + 3dB) ・ Fキーと同時に押すと微調整モードになります。
F3	PR P _R レベル調整	- ~ + 3dB : (微調整モード時は - 3dB ~ + 3dB) ・ Fキーと同時に押すと微調整モードになります。
F4	BLACK.L ブラックレベル調整	± 100mV
F5 ~ F7		
F8	SET UP	VIDEO OUT HD SET UP メニュー - に移行します。
F9	SD	VIDEO OUT SD メニュー - に移行します。
F10	CONVERT	VIDEO OUT CONVERT メニュー - に移行します。
F11 ~ F13		

VIDEO OUT HD SET UP メニュー

VIDEO OUT

F8 キーを押すとメニューが出ます。



VIDEO OUT HD SET UP メニュー

キー	項目	機能
F1	LINE CONV*	ライン変換機能 <u>OFF</u> : ライン変換は行いません。1035 テープ再生時、上下に黒帯の映像が付加された 1080 信号が出力されます。 <u>ON</u> : 1035 1080 ライン変換を行います。
F2 ~ F5		
F6	SERIAL SYS PHASE	F キーと F6 キーを同時に押すと白抜き表示 (VAR モード) となり、ADJ つまみで調整が可能となります。 最大 ± 0.5H まで調整可能。(ただし、フォーマットによります。) ± 1375 SAMPLE : 1080/23p、1080/24p、1080/25p フォーマット時 ± 1320 SAMPLE : 1080/50i フォーマット時 ± 1100 SAMPLE : 1080/59i フォーマット時 ± 825 SAMPLE : 720/59p フォーマット時 (1_SAMPLE=13.5n sec) SAMPLE 単位で調整。
F7	INTERP. インターポーレーション	AT 再生時、垂直インターポーレーションを行い、再生画像の上下動を軽減させます。 <u>AUTO</u> : JOG/VAR モード時に自動的にインターポーレーションを動作させます。 <u>OFF</u> : JOG/VAR モード時に自動的にインターポーレーションを動作させません。
F8	EXIT	VIDEO OUT HD メニューに戻ります。
F9 ~ F11		
F12	STATE	VIDEO OUT HD SET UP STATE メニューに移行します。
F13		

* 1080/59i フォーマット選択時のみ表示し、動作します。

< ノート >

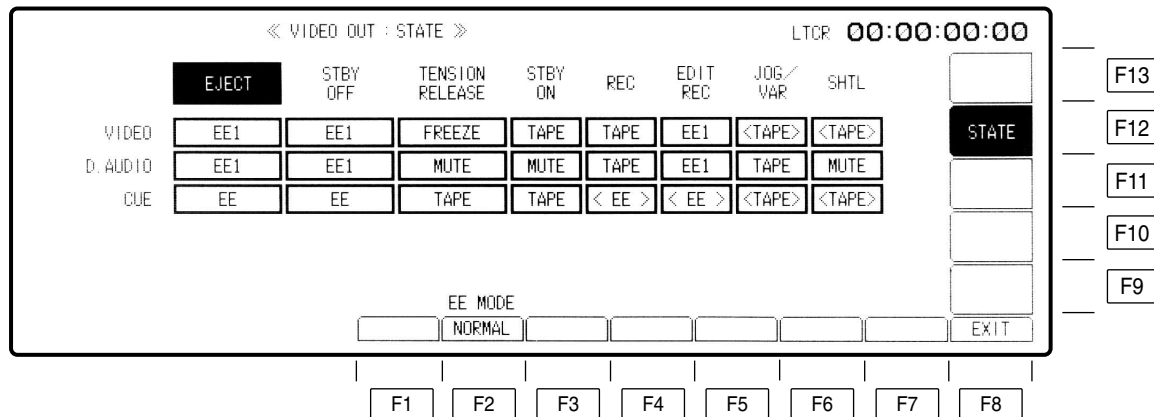
LINE CONV 設定を ON にして 1080 テープを再生すると、上下の映像が欠けることとなりますのでご注意ください。

VIDEO OUT HD SET UP STATEメニュー

VIDEO OUT (または AUDIO OUT) [F8] [F12] キーを押すとメニューが出ます。

または

VIDEO OUT [F9] [F11] (または [F12]) [F12] キーを押すとメニューが出ます。



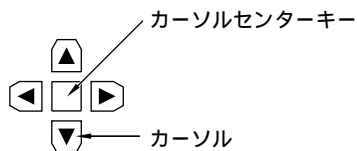
ファンクションキー	項目	機能
F1		
F2	EE_MODE	<u>NORMAL</u> : 標準モード (E-E スルーモードを OFF) になります。 THROUGH : EE1/EE2 選択時、E-E スルーモード (AV の最小遅延モード) になります。 *E-E スルーモードでは映像 (音声) 出力とタイムコード出力にずれが生じます。
F3 ~ F7		
F8	EXIT	VIDEO OUT HD SET UP メニューに戻ります。
F9 ~ F11		
F12	STATE	VIDEO OUT HD SET UP メニューに戻ります。
F13		

VIDEO OUT HD SET UP STATE メニュー

TAPE/EE 出力信号の選択

VTR の動作時に出力されるビデオ、オーディオ、キュー信号を TAPE または EE 信号に切り替えます。

(1) カーソルセンターキーを押して、カーソルを表示します。



(2) カーソルキーでカーソルを任意の位置に移動します。

・カーソルは設定できない部分には移動しません。

	EJECT	STBY OFF	TENSION RELEASE	STBY ON	REC	EDIT REC	JOG/ VAR	SHTL
VIDEO	EE1	EE1	FREEZE	TAPE	TAPE	EE1	<TAPE>	<TAPE>
D.AUDIO	EE1	EE1	MUTE	MUTE	TAPE	EE1	TAPE	MUTE
CUE	EE	EE	TAPE	TAPE	<EE >	<EE >	<TAPE>	<TAPE>

(3) カーソルセンターキーを押して、TAPE または EE のどちらかを選びます。

選択の種類は次の表を参照してください。

モード CH	EJECT	STBY OFF	TENSION RELEASE	STBY ON	REC	EDIT REC	JOG/ VAR	SHTL
VIDEO	FREEZE BLACK GRAY FREE NOISE <u>EE1</u> EE2	FREEZE BLACK GRAY FREE NOISE <u>EE1</u> EE2	<u>FREEZE</u> BLACK GRAY FREE NOISE EE1 EE2	<u>TAPE</u> EE1 EE2	<u>TAPE</u> EE1 EE2	<u>TAPE</u> <u>EE1</u>	TAPE	TAPE
D.AUDIO	MUTE <u>EE1</u> EE2	MUTE <u>EE1</u> EE2	<u>MUTE</u> EE1 EE2	<u>MUTE</u> EE1 EE2	<u>TAPE</u> EE1 EE2	TAPE <u>EE1</u>	<u>TAPE</u> MUTE	TAPE <u>MUTE</u>
CUE	TAPE <u>EE</u>	TAPE <u>EE</u>	<u>TAPE</u> EE	<u>TAPE</u> EE	EE	EE	TAPE	TAPE

(下線は初期設定です。)

- ・上記の設定は、TEST メニューによるヘッド選択や編集時に一義的に定まる場合には、このメニューでの設定より、そちらの動作時の設定が優先されます。
- ・HOME メニューの F1 (OUTPUT) で TAPE/EE を設定しているときは、HOME メニューの方を優先します。

VIDEO OUT SD メニュー

VIDEO OUT

F9 キーを押すとメニューが出ます。

The screenshot displays the 'OUTPUT LEVEL' menu for 'VIDEO OUT SD'. The menu is titled 'OUTPUT LEVEL << VIDEO OUT SD >>' and shows a level meter with a scale from 0 to -∞. Below the meter are four channels: Y, PB, PR, and BLACK.L. Each channel has a dB scale and a mV scale. The Y channel is set to 0 dB (0 mV). The PB, PR, and BLACK.L channels are also set to 0 dB (0 mV). The menu includes a 'SET UP' section with buttons for SDI, CMPST, and CONVERT. The 'MENU' section has a button for HD. The 'LTCR' timecode is 00:00:00:00. The menu is accessed via the F9 key.

Channel	dB	mV
Y	0	0
PB	0	0
PR	0	0
BLACK.L	0	0

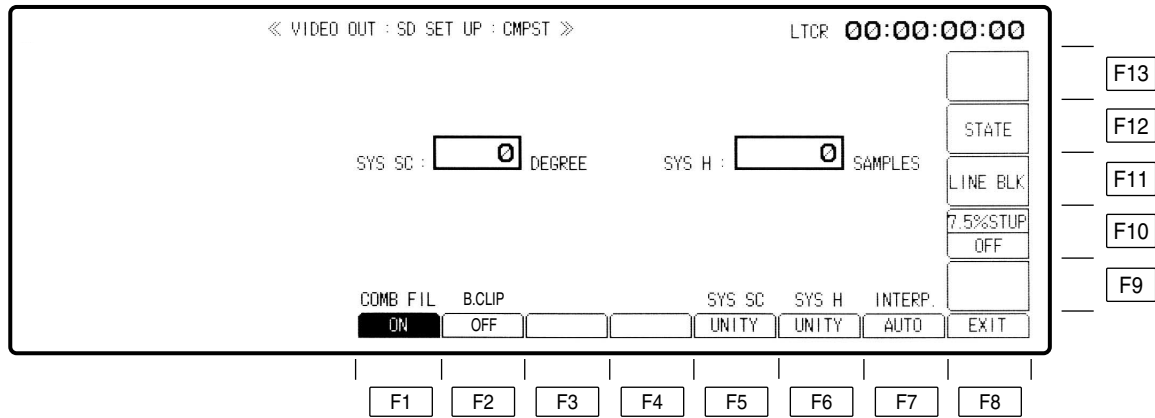
Function keys: F1, F2, F3, F4, F5, F6, F7, F8, F9, F10, F11, F12, F13.

VIDEO OUT SDメニュー

キー	項目	機能
F1	Y Yレベルの調整	- ~ + 3dB : (微調整モード時は - 3dB ~ +3dB) ・ Fキーと同時に押すと微調整モードになります。
F2	PB P _B レベルの調整	- ~ + 3dB : (微調整モード時は - 3dB ~ +3dB) ・ Fキーと同時に押すと微調整モードになります。
F3	PR P _R レベルの調整	- ~ + 3dB : (微調整モード時は - 3dB ~ +3dB) ・ Fキーと同時に押すと微調整モードになります。
F4	BLACK.L ブラックレベルの調整	± 100mV
F5 ~ F6		
F7	HD	VIDEO OUT HD メニューに移行します。
F8 ~ F9		
F10	CONVERT	VIDEO OUT CONVERT メニューに移行します。
F11	CMPST	VIDEO OUT SD SET UP COMPOSITE メニューに移行します。
F12	SDI	VIDEO OUT SD SET UP SDI メニューに移行します。
F13		

VIDEO OUT SD SET UP COMPOSITE メニュー

VIDEO OUT F9 F11 キーを押すとメニューが出ます。



VIDEO OUT SD SET UP COMPOSITE メニュー

キー	項目	機能
F1	COMB FIL*1 コムフィルターの制御	アナログコンポジット出力にくし型フィルターをかけるかどうかを選択します。ただし、VIDEO OUT SD SET UP SDIメニューのF1 (COMB FIL) キーがONの場合は本設定にかかわらずアナログコンポジット出力もONとなります。 <u>ON</u> : フィルターをかけて出力します。 <u>OFF</u> : フィルターを通しません。
F2	B. CLIP	SD出力のペDESTALレベル以下の信号をクリップするしないの選択 <u>OFF</u> : クリップしません。 <u>ON</u> : クリップします。
F3 ~ F4		
F5	SYS SC システムサブキャリアの調整	コンポジット出力のSYS_SCを調整します。(- 180 ~ + 180) Fキーと同時に押すと白抜き表示 (VARモード) となり、ADJUST VRで調整が可能となります。
F6	SYS H システムH位相の調整	コンポジット出力のシステムH位相を調整します。 Fキーと同時に押すと白抜き表示 (VARモード) となり、ADJUST VRで調整が可能となります。 システムH位相をサンプル単位で調整します。± 0.5H - 858 ~ + 858 (480/59.94iフォーマット時) - 864 ~ + 864 (576/50iフォーマット時)
F7	INTERP. インターポーレーション	AT再生時、垂直インターポーレーションを行い、再生画像の上下動を軽減させます。 <u>AUTO</u> : JOG/VARモード時に自動的にインターポーレーションを動作させます。 <u>OFF</u> : JOG/VARモード時に自動的にインターポーレーションを動作させません。
F8	EXIT	VIDEO OUT SDメニューに戻ります。
F9		
F10	7.5%STUP 7.5%セットアップ 付加	コンポジット出力に7.5%セットアップを付加するかどうかを選択します。 [NTSC出力時のみ有効。PAL出力時は表示しません。] <u>ON</u> : 7.5%セットアップを付加します。 <u>OFF</u> : 7.5%セットアップを付加しません。
F11	LINE BLK*2	ビデオ出力ラインランキングメニューに移行します。 NTSC : 10 ~ 21ライン PAL : 8 ~ 22ライン
F12	STATE	VIDEO OUT SD SET UP COMPST STATEメニューに移行します。
F13		

*1 システムフォーマットが1080/50i、625/50i、1080/25psf、1080/25pの場合は表示されません。(PAL出力はフィルターを通しておりません。)

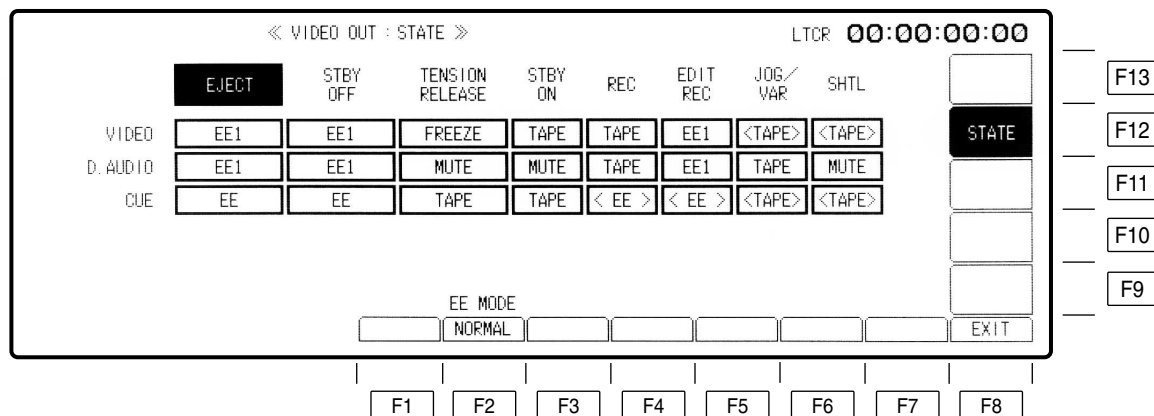
*2 525i (480/59i)、625i (576/50i) 以外のモードでは、HD-SDフォーマットコンバータ基板AJ-UDC3700AG (別売品) が挿入されている場合のみ調整可能。

VIDEO OUT SD SET UP CMPST STATEメニュー

VIDEO OUT (または AUDIO OUT) F8 F12 キーを押すとメニューが出ます。

または

VIDEO OUT F9 F11 (または F12) F12 キーを押すとメニューが出ます。



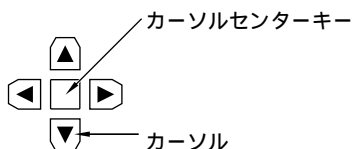
ファンクションキー	項目	機能
F1		
F2	EE_MODE	<u>NORMAL</u> : 標準モード (E-E スルーモードを OFF) になります。 THROUGH : E-E スルーモード (AV の最小遅延モード) になります。 *E-E スルーモードでは映像 (音声) 出力とタイムコード出力にずれが生じます。
F3 ~ F7		
F8	EXIT	VIDEO OUT SD SET UP CMPST メニューに移ります。
F9 ~ F13		

VIDEO OUT SD SET UP CMPST STATE メニュー

TAPE/EE 出力信号の選択

VTR の動作時に出力されるビデオ、オーディオ、キュー信号を TAPE または EE 信号に切り替えます。

(1) カーソルセンターキーを押して、カーソルを表示します。



(2) カーソルキーでカーソルを任意の位置に移動します。

・カーソルは設定できない部分には移動しません。

	EJECT	STBY OFF	TENSION RELEASE	STBY ON	REC	EDIT REC	JOG/ VAR	SHTL
VIDEO	EE1	EE1	FREEZE	TAPE	TAPE	EE1	<TAPE>	<TAPE>
D.AUDIO	EE1	EE1	MUTE	MUTE	TAPE	EE1	TAPE	MUTE
CUE	EE	EE	TAPE	TAPE	<EE >	<EE >	<TAPE>	<TAPE>

(3) カーソルセンターキーを押して、TAPE または EE のどちらかを選びます。

選択の種類は次の表を参照してください。

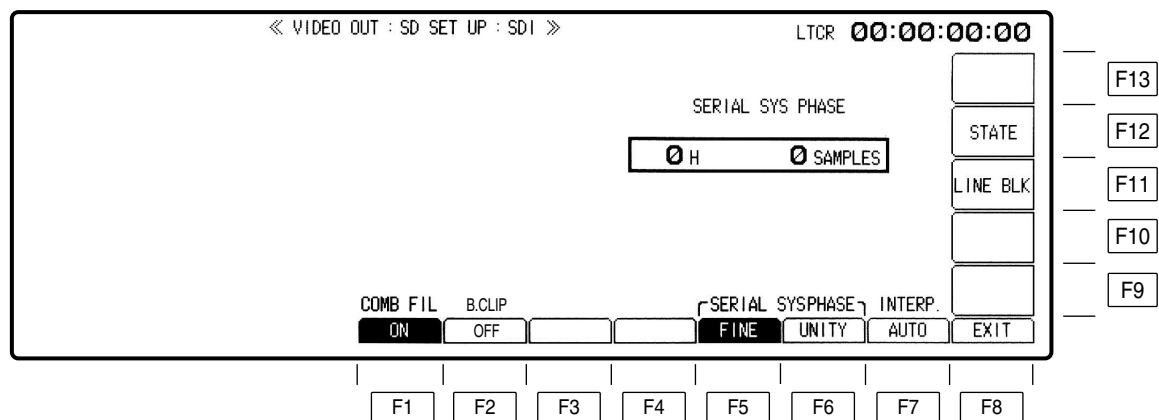
モード CH	EJECT	STBY OFF	TENSION RELEASE	STBY ON	REC	EDIT REC	JOG/ VAR	SHTL
VIDEO	FREEZE BLACK GRAY FREE NOISE <u>EE1</u> EE2	FREEZE BLACK GRAY FREE NOISE <u>EE1</u> EE2	<u>FREEZE</u> BLACK GRAY FREE NOISE EE1 EE2	<u>TAPE</u> EE1 EE2	<u>TAPE</u> EE1 EE2	<u>TAPE</u> <u>EE1</u>	TAPE	TAPE
D.AUDIO	MUTE <u>EE1</u> EE2	MUTE <u>EE1</u> EE2	<u>MUTE</u> EE1 EE2	<u>MUTE</u> EE1 EE2	<u>TAPE</u> EE1 EE2	TAPE <u>EE1</u>	<u>TAPE</u> MUTE	TAPE <u>MUTE</u>
CUE	TAPE <u>EE</u>	TAPE <u>EE</u>	<u>TAPE</u> EE	<u>TAPE</u> EE	EE	EE	TAPE	TAPE

(下線は初期設定です。)

- ・上記の設定は、TEST メニューによるヘッド選択や編集時に一義的に定まる場合には、このメニューでの設定より、そちらの動作時の設定が優先されます。
- ・HOME メニューの F1 (OUTPUT) で TAPE/EE を設定しているときは、HOME メニューの方を優先します。

VIDEO OUT SD SET UP SDIメニュー

VIDEO OUT F9 F12 キーを押すとメニューが出ます。



VIDEO OUT SD SET UP SDIメニュー

キー	項目	機能
F1	COMB FIL*1	SD出力(SDI出力とアナログコンポジット出力の両方)にくし形(コム)フィルターをかけるかどうかを選択します。 ON : コムフィルターをかけて出力します。 OFF : コムフィルターを通しません。
F2	B. CLIP	SD出力のペDESTALレベル以下の信号をクリップするしないの選択 OFF : クリップしません。 ON : クリップします。
F3 ~ F4		
F5	SERIAL SYS	リファレンス信号に対するSD_SDI出力のシンク位相を調整します。
F6	PHASE	FINE/COARSE ・Fキーと同時に押すと選択できます。 480/59.94iフォーマット時 : - 2H - 858 ~ + 1H + 858 まで調整可能。 480/59.94pフォーマット時*2 : - 857 ~ + 858 まで調整可能。 576/50iフォーマット時 : - 2H - 864 ~ + 1H + 864 まで調整可能。 FINEの場合、SAMPLE単位で調整。COARSEの場合、H単位で調整。
F7	INTERP. インターポーレーション	AT再生時、垂直インターポーレーションを行い、再生画像の上下動を軽減させます。 AUTO : JOG/VARモード時に自動的にインターポーレーションを動作させます。 OFF : JOG/VARモード時に自動的にインターポーレーションを動作させません。
F8	EXIT	VIDEO OUT SDメニューに戻ります。
F9 ~ F10		
F11	LINE BLK*3	ビデオ出力ラインブランキングメニューに移行します。 NTSC : 10 ~ 21ライン PAL : 8 ~ 22ライン
F12	STATE	VIDEO OUT SD SET UP SDI STATEメニューに移行します。
F13		

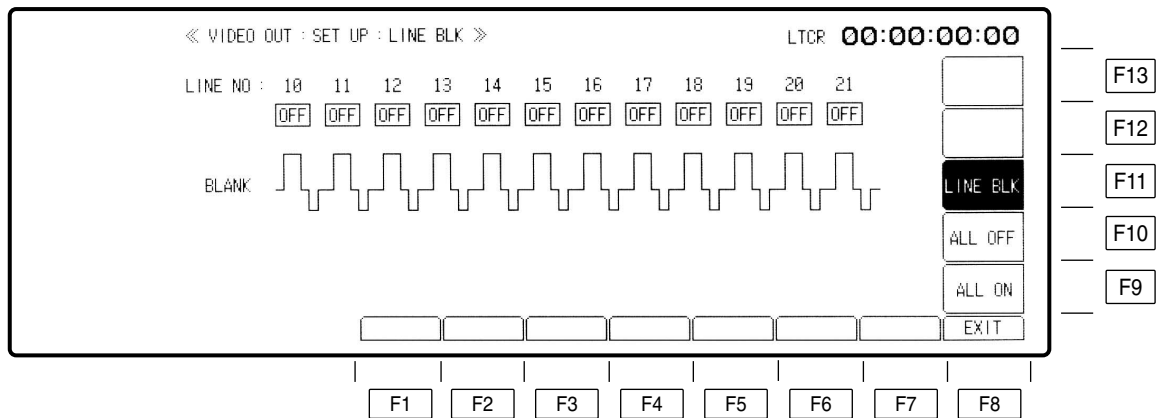
*1 SD SDI出力が525p(480/59p)設定の場合は表示されません。またシステムフォーマットが1080/50i、625/50i、1080/25psf、1080/25pの場合も表示されません。(フィルターを通しておりません。)

*2 HD-SDフォーマットコンバータ基板AJ-UDC3700AG(別売品)が挿入されている場合のみ調整可能。

*3 525i(480/59i)、625i(576/50i)以外のモードでは、HD-SDフォーマットコンバータ基板AJ-UDC3700AG(別売品)が挿入されている場合のみ調整可能。

VIDEO OUT SET UP LINE BLK(ビデオ出力ラインブランキング)メニュー

VIDEO OUT [F9] [F11] (または [F12]) [F11] キーを押すとメニューが出ます。



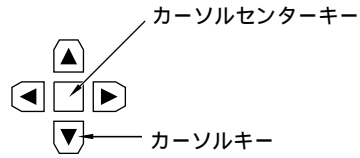
キー	項目	機能
F1 ~ F7		
F8	EXIT	VIDEO OUT SD SET UP メニューに戻ります。
F9	ALL ON	F キーと同時に押すと、全てのラインがブランキングになります。
F10	ALL OFF	F キーと同時に押すと、全てのラインがノンブランキングになります。
F11	LINE BLK	「ラインブランキングの設定」(次ページ)を参照。
F12 ~ F13		

VIDEO OUT SET UP LINE BLK(ビデオ出力ラインブランキング)メニュー

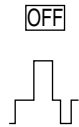
ラインブランキングの設定

垂直ブランキング区間のブランキングラインをライン単位で設定することができます。

- (1) カーソルセンターキーを押します。
カーソルが表示されます。



- (2) カーソルを移動し、ブランキングするラインを選びます。



- (3) カーソルセンターキーを押して ON/OFF 表示を選びます。



ON : ラインはブランキングされます。
OFF : ノンブランキングとなり、ラインは選択されません。

- (4) ENT キーを押します。
ブランキングが確定します。

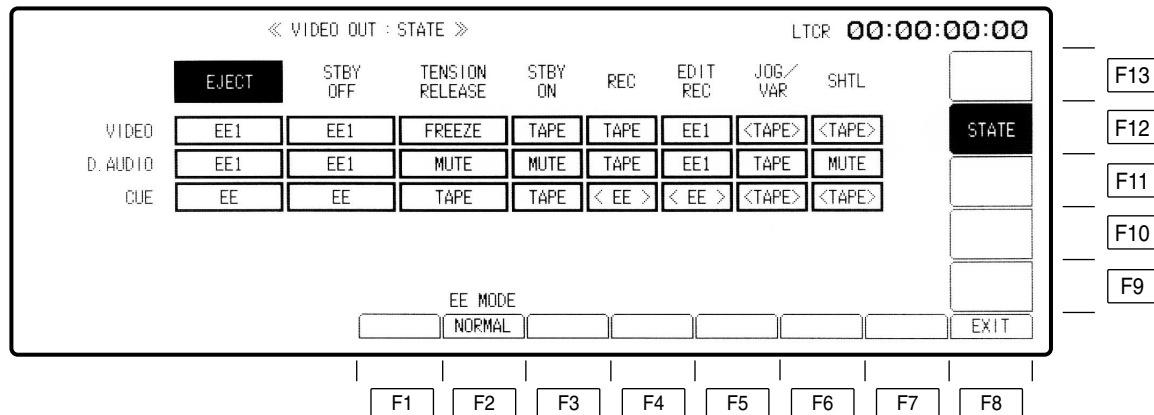
- (5) 前の画面に戻るときは、F8 (EXIT) キーを押します。

VIDEO OUT SD SET UP SDI STATEメニュー

VIDEO OUT (または AUDIO OUT) F8 F12 キーを押すとメニューが出ます。

または

VIDEO OUT F9 F11 (または F12) F12 キーを押すとメニューが出ます。



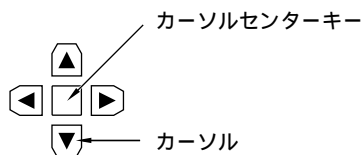
キー	項目	機能
F1		
F2	EE_MODE	<u>NORMAL</u> : 標準モード (E-E スルーモードを OFF) になります。 THROUGH : E-E スルーモード (AV の最小遅延モード) になります。 *E-E スルーモードでは映像 (音声) 出力とタイムコード出力にずれが生じます。
F3 ~ F7		
F8	EXIT	VIDEO OUT SD SET UP SDIメニューに戻ります。
F9 ~ F13		

VIDEO OUT SD SET UP SDI STATEメニュー

TAPE/EE 出力信号の選択

VTRの動作時に出力されるビデオ、オーディオ、キュー信号をTAPEまたはEE信号に切り替えます。

(1) カーソルセンターキーを押して、カーソルを表示します。



(2) カーソルキーでカーソルを任意の位置に移動します。

・カーソルは設定できない部分には移動しません。

	EJECT	STBY OFF	TENSION RELEASE	STBY ON	REC	EDIT REC	JOG/ VAR	SHTL
VIDEO	EE1	EE1	FREEZE	TAPE	TAPE	EE1	<TAPE>	<TAPE>
D. AUDIO	EE1	EE1	MUTE	MUTE	TAPE	EE1	TAPE	MUTE
CUE	EE	EE	TAPE	TAPE	< EE >	< EE >	<TAPE>	<TAPE>

(3) カーソルセンターキーを押して、TAPEまたはEEのどちらかを選びます。

選択の種類は次の表を参照してください。

モード CH	EJECT	STBY OFF	TENSION RELEASE	STBY ON	REC	EDIT REC	JOG/ VAR	SHTL
VIDEO	FREEZE BLACK GRAY FREE NOISE <u>EE1</u> EE2	FREEZE BLACK GRAY FREE NOISE <u>EE1</u> EE2	<u>FREEZE</u> BLACK GRAY FREE NOISE EE1 EE2	<u>TAPE</u> EE1 EE2	<u>TAPE</u> EE1 EE2	TAPE <u>EE1</u>	TAPE	TAPE
D.AUDIO	MUTE <u>EE1</u> EE2	MUTE <u>EE1</u> EE2	<u>MUTE</u> EE1 EE2	<u>MUTE</u> EE1 EE2	<u>TAPE</u> EE1 EE2	TAPE <u>EE1</u>	<u>TAPE</u> MUTE	TAPE <u>MUTE</u>
CUE	TAPE <u>EE</u>	TAPE <u>EE</u>	<u>TAPE</u> EE	<u>TAPE</u> EE	EE	EE	TAPE	TAPE

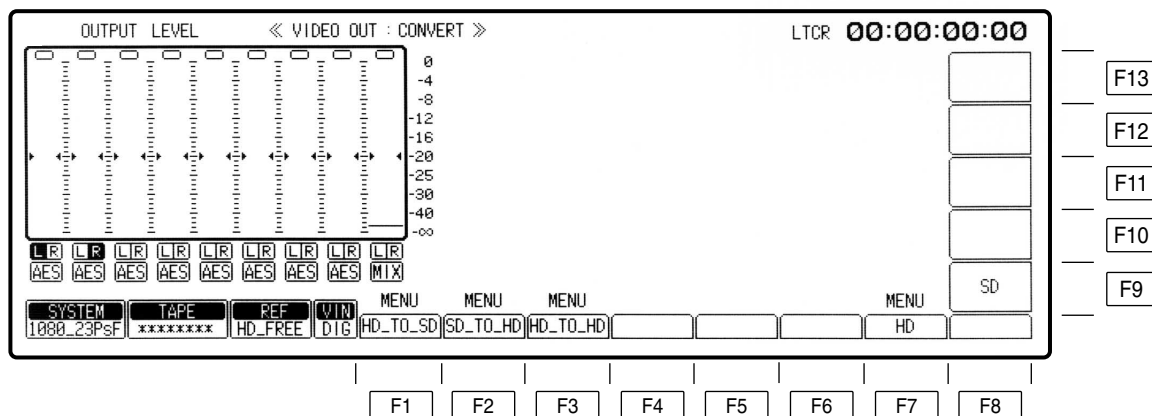
(下線は初期設定です。)

- ・上記の設定は、TESTメニューによるヘッド選択や編集時に一義的に定まる場合には、このメニューでの設定より、そちらの動作時の設定が優先されます。
- ・HOMEメニューのF1 (OUTPUT) でTAPE/EEを設定しているときは、HOMEメニューの方を優先します。

VIDEO OUT CONVERT メニュー

(別売品 HD-SD フォーマットコンバータ基板 AJ-UDC3700AG が挿入されている場合、メニューが出ます。)

VIDEO OUT F10 キーを押すとメニューが出ます。

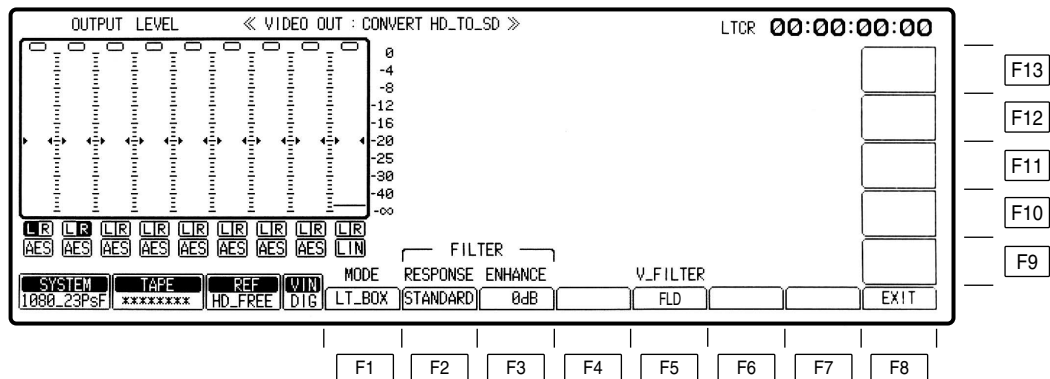


キー	項目	機能
F1	HD_TO_SD	VIDEO OUT CONVERT HD_TO_SD メニューに移ります。
F2	SD_TO_HD	VIDEO OUT CONVERT SD_TO_HD メニューに移ります。
F3	HD_TO_HD	VIDEO OUT CONVERT HD_TO_HD メニューに移ります。
F4 ~ F6		
F7	HD	VIDEO OUT HD メニューに戻ります。
F8		
F9	SD	VIDEO OUT SD メニューに戻ります。
F10 ~ F13		

VIDEO OUT CONVERT HD_TO_SD メニュー

(別売品 HD-SD フォーマットコンバータ基板 AJ-UDC3700AG が挿入されている場合、メニューが出ます。)

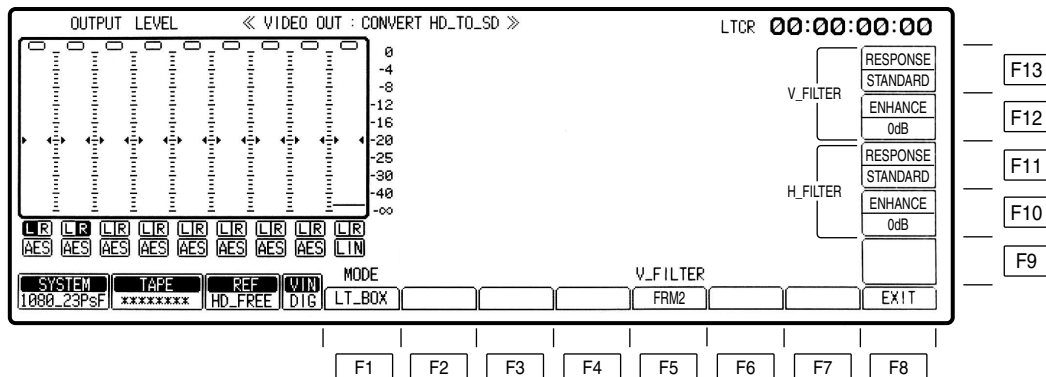
VIDEO OUT F10 F1 キーを押すとメニューが出ます。



キー	項目	機能
F1	MODE	<p>ダウンコンバータ出力時のアスペクト比を選択します。</p> <p>S_CROP : 垂直軸にそって入力サイズを出力サイズに合わせて倍率を変更します。(アスペクト比は維持。)</p> <p>LT_BOX : 水平軸にそって入力サイズを出力サイズに合わせて倍率を変更します。(アスペクト比は維持。)</p> <p>SQUEEZE : 水平と垂直軸にそって入力サイズを出力サイズに合わせて倍率を変更します。(アスペクト比は歪むおそれがあります。)</p> <p>14:9 : アスペクト比を 14 × 9 に設定します。</p> <p>13:9 : アスペクト比を 13 × 9 に設定します。</p> <p>* SD_SDI MAIN 出力に 525P (480/59.94p) 選択時は 16:9 固定表示になります。</p>
F2	RESPONSE	<p>ダウンコンバータ出力信号の周波数帯域幅を選択します。</p> <p>STANDARD/WIDE/NARROW に切り替えることができます。</p>
F3	ENHANCE	<p>ダウンコンバータ出力信号の画質調整を制御します。</p> <p>0 dB/1.5 dB/3 dB/6 dB に切り替えることができます。</p>
F4		
F5	V_FILTER	<p>システムフォーマット 1080p (psf) の時のみ表示されます。</p> <p>ダウンコンバータ出力信号の垂直周波数特性拡張機能です。</p> <p>FLD : フィルターフィールド処理となります。</p> <p>FRM : フィルターフレーム処理となります。</p> <p>FRM2 : システムフォーマットが 1080/23p (psf) の時のみ表示されます。選択すると F10 ~ F13 キーのメニューが表示され、水平周波数、垂直周波数が独立に制御できます。(44 ページ参照)</p>
F6	V_EXTEND	<p>システムフォーマット 1080/59i の時のみ表示されます。(45 ページ参照)</p> <p>OFF/ON を切り替えます。</p> <p>ON の時、F10 ~ F13 キーのメニューが表示され、水平周波数、垂直周波数が独立に制御できます。</p>
F7		
F8	EXIT	VIDEO OUT CONVERT メニューに戻ります。
F9 ~ F13		

VIDEO OUT CONVERT HD_TO_SD メニュー

システムフォーマット 1080/23p (psf) 時に F5 (V_FILTER) キーで FRM2 を選択すると、下記のメニューが表示されます。(HとVの特性を独立して制御することが可能です。)



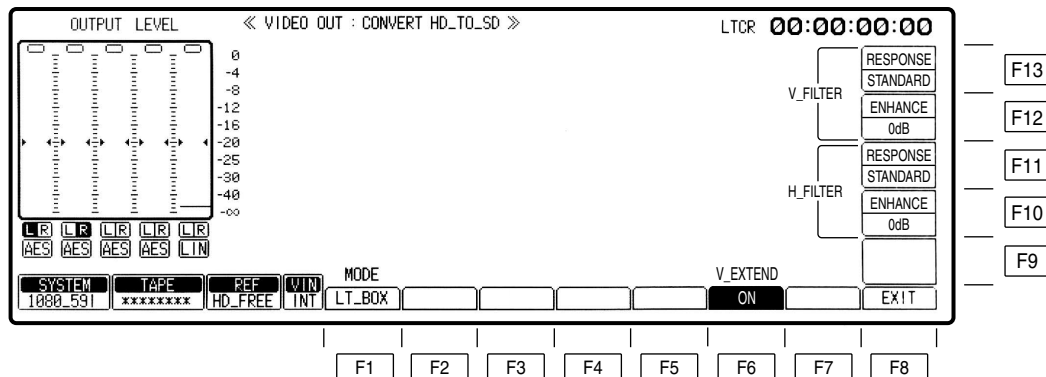
キー	項目	機能
F10	H_FILTER ENHANCE	画質（水平周波数特性）を設定します。 0/0.75/1.0/1.25/1.5/2.0/3.0 に切り替えることができます。
F11	H_FILTER RESPONSE	画質（水平周波数帯域幅）を設定します。 STANDARD/WIDE/NARROW に切り替えることができます。
F12	V_FILTER ENHANCE	画質（垂直周波数特性）を設定します。 0/0.75/1.0/1.25/1.5/2.0/3.0 に切り替えることができます。
F13	V_FILTER RESPONSE	画質（垂直周波数帯域幅）を設定します。 STANDARD/WIDE/NARROW に切り替えることができます。

<ノート>

F10 (H_FILTER ENHANCE) キーと F12 (V_FILTER ENHANCE) キーの設定は、F キーと F10 キーまたは F キーと F12 キーを同時に押すと数値部がハイライトとなり、ADJUST ボリュームで数値を可変することができます。再度 F キーと F10 キーまたは F キーと F12 キーを同時に押すと、ハイライトが消え、ADJUST ボリュームでの設定はできなくなり、通常のファンクションキーでのトグル設定モードとなります。

VIDEO OUT CONVERT HD_TO_SD メニュー

システムフォーマット1080/59i時にF6 (V_EXTEND) キーでONを選択すると、下記のメニューが表示されます。(HとVの特性を独立して制御することが可能です。)



キー	項目	機能
F10	H_FILTER ENHANCE	画質（水平周波数特性）を設定します。 0/1.0/2.0/3.0/4.0/5.0/6.0 に切り替えることができます。
F11	H_FILTER RESPONSE	画質（水平周波数帯域幅）を設定します。 STANDARD/WIDE/NARROW に切り替えることができます。
F12	V_FILTER ENHANCE	画質（垂直周波数特性）を設定します。 0/0.5/1.0/1.5/2.0/3.0/4.0 に切り替えることができます。
F13	V_FILTER RESPONSE	画質（垂直周波数帯域幅）を設定します。 STANDARD/WIDE/NARROW に切り替えることができます。

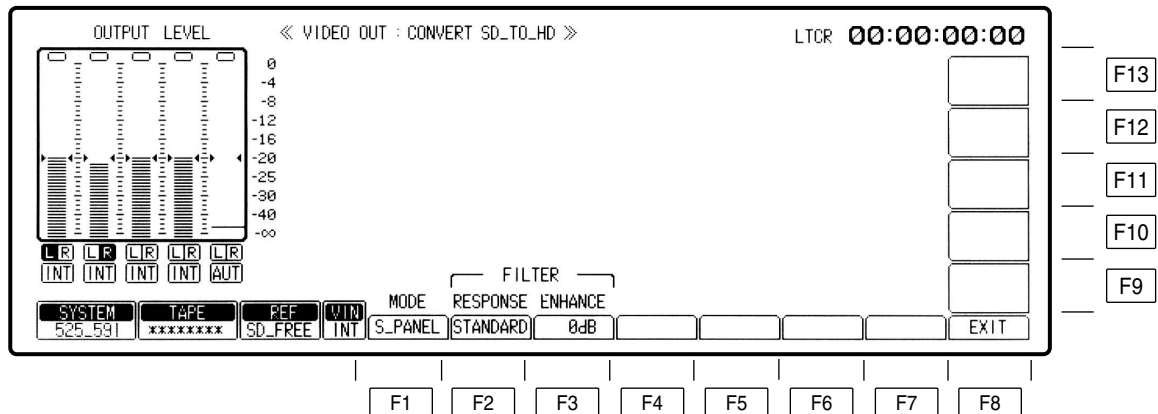
<ノート>

F10 (H_FILTER ENHANCE) キーとF12 (V_FILTER ENHANCE) キーの設定は、FキーとF10キーまたはFキーとF12キーを同時に押すと数値部がハイライトとなり、ADJUST ボリュームで数値を可変することができます。再度FキーとF10キーまたはFキーとF12キーを同時に押すと、ハイライトが消え、ADJUST ボリュームでの設定はできなくなり、通常のファンクションキーでのトグル設定モードとなります。

VIDEO OUT CONVERT SD_TO_HD メニュー

(別売品 HD-SD フォーマットコンバータ基板 AJ-UDC3700AG が挿入されている場合、メニューが出ます。)

VIDEO OUT F10 F2 キーを押すとメニューが出ます。



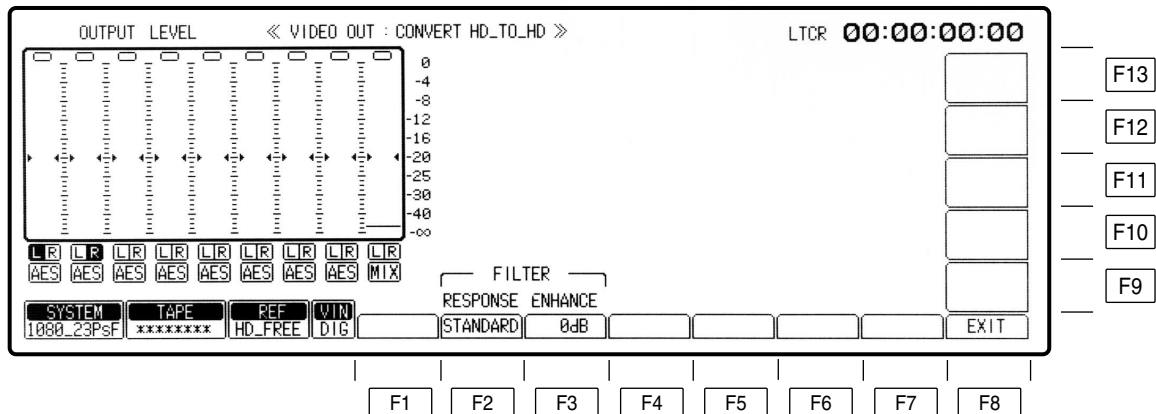
キー	項目	機能
F1	MODE	アップコンバータ出力時のアスペクト比を選択します。 <u>S_PANEL</u> : 垂直軸にそって入力サイズを出力サイズに合わせて倍率を変更します。(アスペクト比は維持。) TB_CROP : 水平軸にそって入力サイズを出力サイズに合わせて倍率を変更します。(アスペクト比は維持。) STRETCH : 水平と垂直軸にそって入力サイズを出力サイズに合わせて倍率を変更します。(アスペクトは歪むおそれがあります。)
F2	RESPONSE	アップコンバータ出力信号の周波数帯域幅を選択します。 <u>STANDARD</u> /WIDE/NARROW に切り替えることができます。
F3	ENHANCE	アップコンバータ出力信号の画質調整を制御します。 <u>0 dB</u> /1.5 dB/3 dB/6 dB に切り替えることができます。
F4 ~ 7		
F8	EXIT	VIDEO OUT CONVERT メニューに戻ります。
F9 ~ F13		

VIDEO OUT CONVERT HD_TO_HD メニュー

(別売品 HD-SD フォーマットコンバータ基板 AJ-UDC3700AG が挿入されている場合、メニューが出ます。)

VIDEO OUT F10 F3 キーを押すとメニューが出ます。

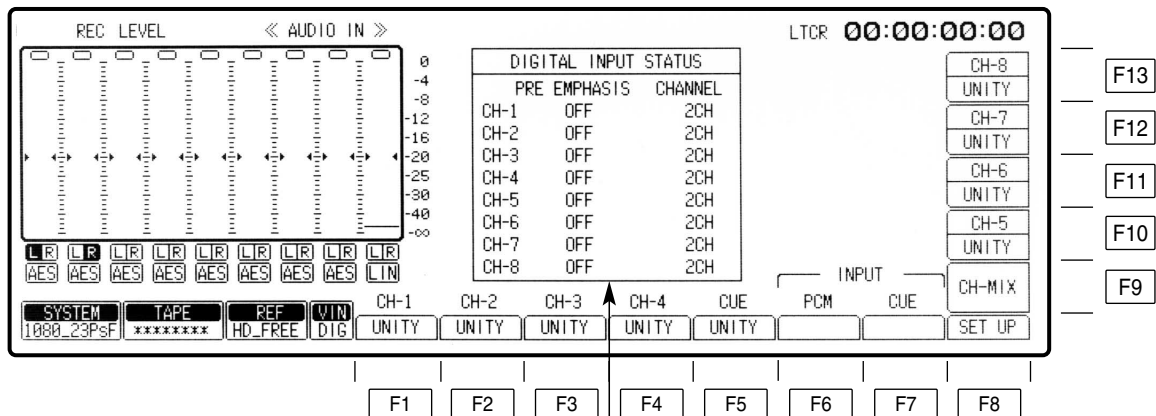
* このメニューはシステムフォーマットを 1080/23.98p、1080/24p、1080/25p に設定した時、有効となります。



キー	項目	機能
F1		
F2	RESPONSE	コンバータ出力信号の周波数帯域幅を選択します。 STANDARD/WIDE/NARROW に切り替えることができます
F3	ENHANCE	コンバータ出力信号の画質調整を制御します。 0 dB/1.5 dB/3 dB/6 dB に切り替えることができます。
F4 ~ 7		
F8	EXIT	VIDEO OUT CONVERT メニューに戻ります。
F9 ~ F13		

AUDIO IN メニュー

AUDIO IN キーを押すとメニューが出ます。



デジタル音声入力のステータスを表示します。

PRE EMPHASIS ON : プリエンファシスがかかります。

OFF : プリエンファシスがかかっていない
通常の信号です。

AUDIO IN メニュー

キー	項目	機能
F1	CH-1 CH1入力レベル調整の選択	
F2	CH-2 CH2入力レベル調整の選択	
F3	CH-3 CH3入力レベル調整の選択	<u>UNITY</u> : オーディオ入力レベルは UNITY 値に固定されます。 VAR : ADJUST VR でオーディオ入力レベルを可変できます。
F4	CH-4 CH4入力レベル調整の選択	・ UNITY/VAR ボタンを押して切り替えます。
F5	CUE CUE オーディオ 入力レベル調整の選択	
F6	PCM	AUDIO IN PCM INPUT SELECT メニューに移行します。
F7	CUE	AUDIO IN CUE INPUT メニューに移行します。
F8	SET UP	AUDIO IN SET UP メニューに移行します。
F9	CH-MIX	AUDIO IN CH-MIX SELECT メニューに移行します。
F10	CH-5 CH5入力レベル調整の選択	
F11	CH-6 CH6入力レベル調整の選択	<u>UNITY</u> : オーディオ入力レベルは UNITY 値に固定されます。 VAR : ADJUST VR でオーディオ入力レベルを可変できます。
F12	CH-7 CH7入力レベル調整の選択	・ UNITY/VAR ボタンを押して切り替えます。
F13	CH-8 CH8入力レベル調整の選択	

AUDIO IN PCM INPUT SELECT メニュー

AUDIO IN F6 キーを押すとメニューが出ます。

REC LEVEL << AUDIO IN : PCM INPUT SELECT >> LTR 00:00:00:00

0
-4
-8
-12
-16
-20
-25
-30
-40
-∞

CH7/8 INPUT

- CH-8 DIGITAL F13
- CH-7 DIGITAL F12
- DIGITAL F11
- AES F10
- CH5/6 DIGITAL F9
- CH-6 DIGITAL
- CH-5 DIGITAL

CH1/2 INPUT CH3/4 INPUT INPUT

CH-1 DIGITAL	CH-2 DIGITAL	DIGITAL AES	CH-3 DIGITAL	CH-4 DIGITAL	DIGITAL AES	DIGITAL AES	DIGITAL EXIT
--------------	--------------	-------------	--------------	--------------	-------------	-------------	--------------

SYSTEM 1080_23PsF TAPE ***** REF HD_FREE V.MV DIG

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8

AUDIO IN PCM INPUT SELECT メニュー

キー	項目	機能
F1	CH-1 デジタルオーディオ CH1 の記録信号選択	ANALOG : アナログオーディオ CH1 入力端子の信号を選択します。 <u>DIGITAL</u> : デジタルオーディオ入力信号を選択します。(AES/SDI は CH2 と合わせて F3 キーで選択します。) INT SG : 内部のシグナルジェネレータ信号を選択します。
F2	CH-2 デジタルオーディオ CH2 の記録信号選択	ANALOG : アナログオーディオ CH2 入力端子の信号を選択します。 <u>DIGITAL</u> : デジタルオーディオ入力信号を選択します。(AES/SDI は CH1 と合わせて F3 キーで選択します。) INT SG : 内部のシグナルジェネレータ信号を選択します。
F3	DIGITAL CH1/2 のデジタル 入力信号の選択	<u>AES</u> : AES のデジタルオーディオ入力信号を選択します。 SERIAL : シリアル入力信号を選択します。
F4	CH-3 デジタルオーディオ CH3 の記録信号選択	ANALOG : アナログオーディオ CH3 入力端子の信号を選択します。 <u>DIGITAL</u> : デジタルオーディオ入力信号を選択します。(AES/SDI は CH4 と合わせて F6 キーで選択します。) INT SG : 内部のシグナルジェネレータ信号を選択します。
F5	CH-4 デジタルオーディオ CH4 の記録信号選択	ANALOG : アナログオーディオ CH4 入力端子の信号を選択します。 <u>DIGITAL</u> : デジタルオーディオ入力信号を選択します。(AES/SDI は CH3 と合わせて F6 キーで選択します。) INT SG : 内部のシグナルジェネレータ信号を選択します。
F6	DIGITAL CH3/4 のデジタル 入力信号の選択	<u>AES</u> : AES のデジタルオーディオ入力信号を選択します。 SERIAL : シリアル入力信号を選択します。
F7	DIGITAL CH5/6 のデジタル 入力信号の選択	<u>AES</u> : AES のデジタルオーディオ入力信号を選択します。 SERIAL : シリアル入力信号を選択します。
F8	EXIT	AUDIO IN メニューに戻ります。
F9	CH-5 デジタルオーディオ CH5 の記録信号選択	ANA CH1 : アナログオーディオ CH1 入力端子の信号を選択します。 <u>DIGITAL</u> : デジタルオーディオ入力信号を選択します。(AES/SDI は CH6 と合わせて F7 キーで選択します。) INT SG : 内部のシグナルジェネレータ信号を選択します。

AUDIO IN PCM INPUT SELECT メニュー -

キー	項目	機能
F10	CH-6 デジタルオーディオ CH6 の記録信号選択	ANA CH2 : アナログオーディオ CH2 入力端子の信号を選択します。 <u>DIGITAL</u> : デジタルオーディオ入力信号を選択します。(AES/SDI は CH5 と合わせて F7 キーで選択します。) INT SG : 内部のシグナルジェネレータ信号を選択します。
F11	DIGITAL CH7/8 のデジタル 入力信号の選択	<u>AES</u> : AES のデジタルオーディオ入力信号を選択します。 SERIAL : シリアル入力信号を選択します。
F12	CH-7 デジタルオーディオ CH7 の記録信号選択	ANA CH3 : アナログオーディオ CH3 入力端子の信号を選択します。 <u>DIGITAL</u> : デジタルオーディオ入力信号を選択します。(AES/SDI は CH8 と合わせて F11 キーで選択します。) INT SG : 内部のシグナルジェネレータ信号を選択します。
F13	CH-8 デジタルオーディオ CH8 の記録信号選択	ANA CH4 : アナログオーディオ CH4 入力端子の信号を選択します。 <u>DIGITAL</u> : デジタルオーディオ入力信号を選択します。(AES/SDI は CH7 と合わせて F11 キーで選択します。) INT SG : 内部のシグナルジェネレータ信号を選択します。

AUDIO IN CUE INPUT SELECT メニュー

AUDIO IN F7 キーを押すとメニューが出ます。

[F9 (D MIX) キーを押して D MIX の状態のとき下記のメニュー画面になります。]

The screenshot shows the 'AUDIO IN : CUE INPUT SELECT' menu. At the top, it displays 'REC LEVEL' with a scale from 0 to -40 and 'LTCR 00:00:00:00'. The main area contains a grid of controls for channels CH-1 through CH-4, including 'LR' and 'AES' indicators. On the right side, there is a vertical list of buttons: CH-8 OFF (F13), CH-7 OFF (F12), CH-6 OFF (F11), CH-5 OFF (F10), CUE (F9), and D MIX (highlighted). At the bottom, a row of function keys F1 through F8 is shown.

AUDIO IN CUE INPUT SELECT メニュー

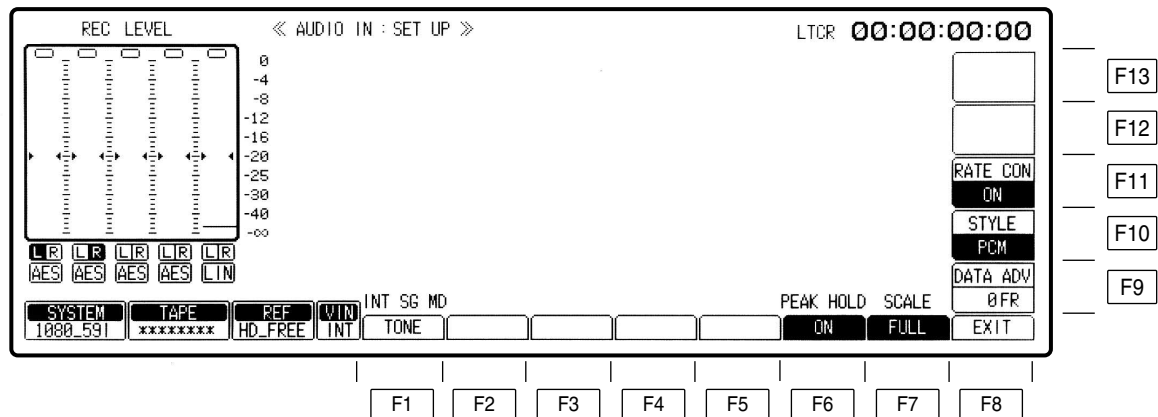
キー	項目	機能
F1	CH-1 CH1 のキュー ミキシング設定	
F2	CH-2 CH2 のキュー ミキシング設定	F9 キーで D-MIX を選択している時のみ表示されます。
F3	CH-3 CH3 のキュー ミキシング設定	<u>SOURCE</u> : 入力信号をミックスします。 TAPE : 再生信号をミックスします。
F4	CH-4 CH4 のキュー ミキシング設定	OFF : 信号をミックスしません。
F5 ~ F7		
F8	EXIT	AUDIO IN メニューに戻ります。
F9	CUE キューオーディオ 記録信号の選択	キュートラックに記録する信号を選択します。 D-MIX : D-MIX で選択されたデジタルチャンネルの信号をミックスします。 <u>LINE</u> : アナログキュー入力信号を選択します。 AUTO : ノーマル記録時は (CH1 ~ CH4)* をすべてミックスして記録します。 編集時は選択されたチャンネルは SOURCE、選択していないチャンネルは TAPE を自動的に選択します。 * フォーマットにより異なります。
F10	CH-5 CH5 のキュー ミキシング設定	
F11	CH-6 CH6 のキュー ミキシング設定	F9 キーで D-MIX を選択している時のみ表示されます。
F12	CH-7 CH7 のキュー ミキシング設定	<u>SOURCE</u> : 入力信号をミックスします。 TAPE : 再生信号をミックスします。
F13	CH-8 CH8 のキュー ミキシング設定	<u>OFF</u> : 信号をミックスしません。

AUDIO IN SET UP メニュー

AUDIO IN **F8** キーを押すとメニューが出ます。

または

SET UP **F6** キーを押すとメニューが出ます。




AUDIO IN SET UP メニュー

キー	項目	機能
F1	INT SG MD	内蔵オーディオテスト信号を選択します。 <u>TONE</u> : 基準レベルの正弦波が出力されます。 <u>SILENCE</u> : 信号音を出力しません。(無音信号となります。)
F2 ~ F5		
F6	PEAK HOLD ピークホールドの 設定	記録および再生レベルのピーク値をホールドする機能です。 <u>ON</u> : ピーク値をホールドします。 <u>OFF</u> : ピーク値をホールドしません。
F7	SCALE レベルメータの スケール(目盛り) 切り替え	画面上のオーディオレベル表示メータのスケール(目盛り)を標準目盛りと微調整目盛りに切り替えます。 <u>FINE</u> : 0.2dB ごとのスケールになります。(- 24dB ~ - 15dB の範囲) <u>FULL</u> : 標準目盛りになります。(- dB ~ 0dB の範囲) 「オーディオレベルメータのスケール(目盛り)の切り替え」(このページ)を参照してください。
F8	EXIT	AUDIO IN メニューに戻ります。
F9	DATA ADV*1	<u>0</u> ~ 1Fr (0.1 刻み) : デジタルオーディオの入出力形式がデータモード時のアドバンス量を 0.1 フレーム単位で設定できます。(0 設定時は VTR 内部の DEFAULT に合わせます。)
F10	STYLE*1 デジタルオーディオ の入出力データ形式 の設定	F キーと F10 キーを同時に押すと設定可能です。 <u>PCM</u> : 通常の PCM オーディオモードに設定します。 <u>DATA</u> : データモード(圧縮オーディオ: Dolby-E*2)に設定します。
F11	RATE CON*3	AUDIO 入出力部にあるレートコンバータを通さず、デジタルフィルターをかけることなく記録・再生を行うことができます。 <u>ON</u> : レートコンバータを通して記録・再生します。 <u>OFF</u> : レートコンバータを通さず記録・再生します。

F12 ~ F13

*1 1080/59.94i_4ch および 720/59.94p_4ch フォーマット時のみにしかデータモードは動作しません。

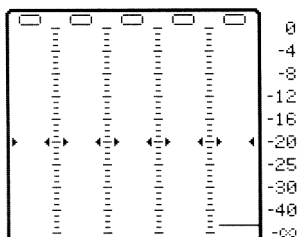
データ ADV 量とデータ形式の設定は、AUDIO IN SET UP メニューと AUDIO OUT SET UP メニューの両方で設定可能です。どちらかのメニューで設定を更新した場合、両方のメニューとも変更されます。なお、各チャンネルごとの設定はできません。

*2 ドルビー、DOLBY およびダブル D 記号  はドルビーラポラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。

*3 RATE CON ON/OFF 機能について

本メニューは、AUDIO OUT SET UP メニューでも設定可能です。どちらかのメニューで設定を変更した場合、両方のメニューとも変更されます。

オーディオレベルメータのスケール(目盛り)の切り替え



・ FINE の場合、オーディオレベルの調整が - 24dB 以下の場合はマークが、 - 15dB 以上の場合は マークが表示されます。

AUDIO IN SET UP メニュー

F11 (RATE CON) キーについて

動作について

- ・記録・再生系が同時に、ON/OFF 制御されます。記録だけ再生だけの設定はできません。
- ・CH1 ~ 8 (または CH1 ~ 4) 同時に、ON/OFF 制御されます。各 CH 毎の設定はできません。
- ・システムフォーマットが、1080/59i_4ch、720/59p_4ch の時、F10 (STYLE) で DATA モードを選択した場合、DATA モード設定が優先されます。(レートコンバータを通さず記録・再生します。)

対応フォーマット

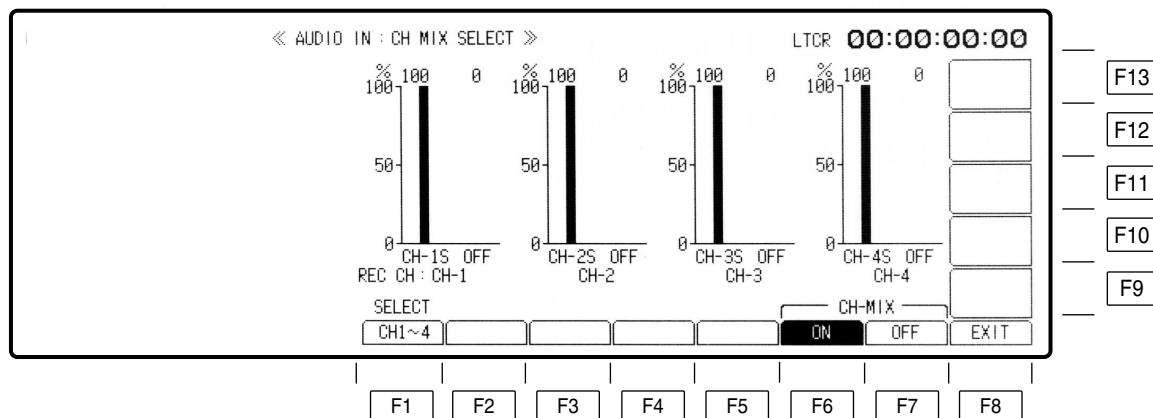
- ・システムフォーマットが下記の時のみメニュー表示され、ON/OFF 設定が可能です。
1080/23p (psf)_8ch 1080/25p (psf)_8ch 1080/50i_8ch 1080/59i_8ch
720/59p_8ch 1080/59i_4ch 720/59p_4ch
- ・システムフォーマットが、1080/24p (psf)_8ch 選択時は、メニュー表示されなくなり、レートコンバータ強制 ON となります。
- ・システムフォーマットが、525/59i_4ch、525/59i_8ch、625/50i 選択時は、メニュー表示されなくなり、レートコンバータ強制 OFF となります。

レートコンバータ OFF 設定時の注意事項

- ・ビデオ入力と AES 入力が同期している必要があります。
- ・ビデオ入力と OUT_REF で選択されたりファレンス信号が同期している必要があります。
- ・P.PLAY 再生時、デジタルオーディオ出力は 48kHz とならなくなり、外部機器で受信することができなくなります。
- ・フレームレート変換再生 (例えば、システム周波数 23Hz で記録されたテープをシステム 25Hz で再生する場合等) 時も、上記と同様に外部機器で受信することができなくなります。

AUDIO IN CH-MIX SELECT メニュー -

AUDIO IN F9 キーを押すとメニューが出ます。



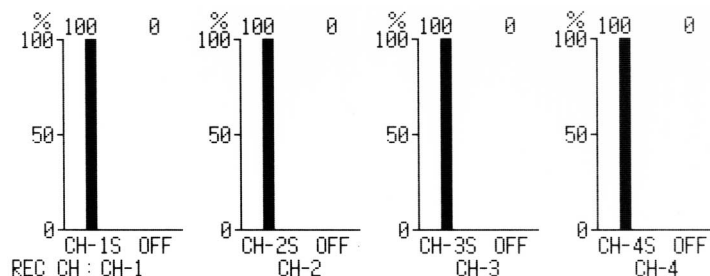
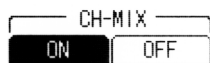
キー	項目	機能
F1	SELECT	ミキシング選択を行う場合のチャンネルを設定します。 CH1 ~ CH4 : CH1 から CH4 までの設定を選択します。 CH5 ~ CH8* : CH5 から CH8 までの設定を選択します。
F2 ~ F5		
F6	CH-MIX (ON) 各デジタルオーディオチャンネルに入力されている信号と、テープの再生入力信号と同時再生信号のミキシング記録	各デジタルオーディオチャンネルに入力されている信号と、テープの再生信号の中から任意の 2 チャンネルを選択して、任意の比率でミキシングします。 ON : F6 キーを押すと、「ON」になり、ミキシングが可能です。 OFF : F7 キーを押すと、「OFF」になり、チャンネルミキシング操作は行えません。
F7	CH-MIX (OFF) 「OFF」を設定しても、F6 キーで設定したミキシング設定値は保存されています。入力信号と同時再生信号のミキシング記録の禁止	
F8	EXIT	AUDIO IN メニューに移行します。
F9 ~ F13		

* デジタル音声 が 4ch フォーマット時には表示されません。

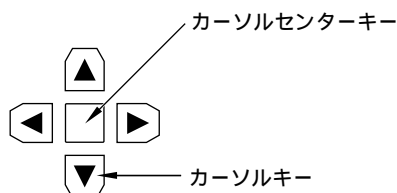
AUDIO IN CH-MIX SELECT メニュー

ミキシング記録

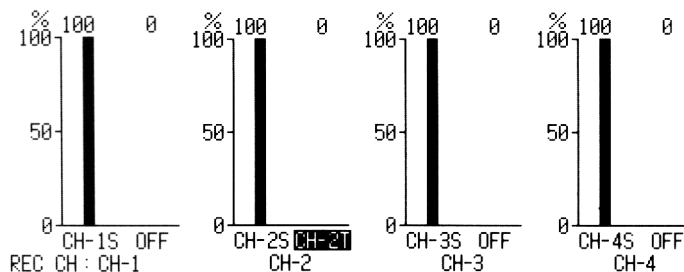
- (1) F6 (CH-MIX) キーを押して「ON」にします。
ミキシングのグラフ表示が出ます。



- (2) カーソルセンターキーを押して、カーソルを表示させます。



- (3) カーソルキーで、カーソルをミキシングするチャンネルへ移動させます。



- (4) カーソルセンターキーを押して、ミキシング信号を選択します。

各チャンネルごとに、希望の信号を設定できます。

設定できる信号は以下のとおりです。

CH-1S CH-2S CH-3S CH-4S CH-5S CH-6S CH-7S

CH-8S (各チャンネルの入力信号)

CH-1T CH-2T CH-3T CH-4T CH-5T CH-6T CH-7T

CH-8T (各チャンネルの再生信号)

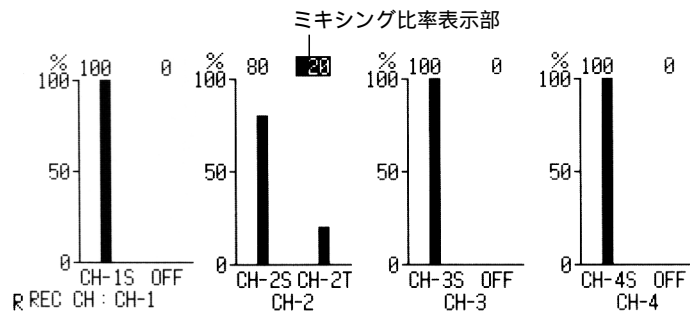
OFF (ミキシングなし)

・ひとつのチャンネルに同じ信号を選択することはできません。

AUDIO IN CH-MIX SELECT メニュー

ミキシング記録 (つづき)

(5) カーソルをミキシング比率表示部に移動させ、ADJUST VRを回して、ミックスする比率を設定します。(1%単位)



< ノート >

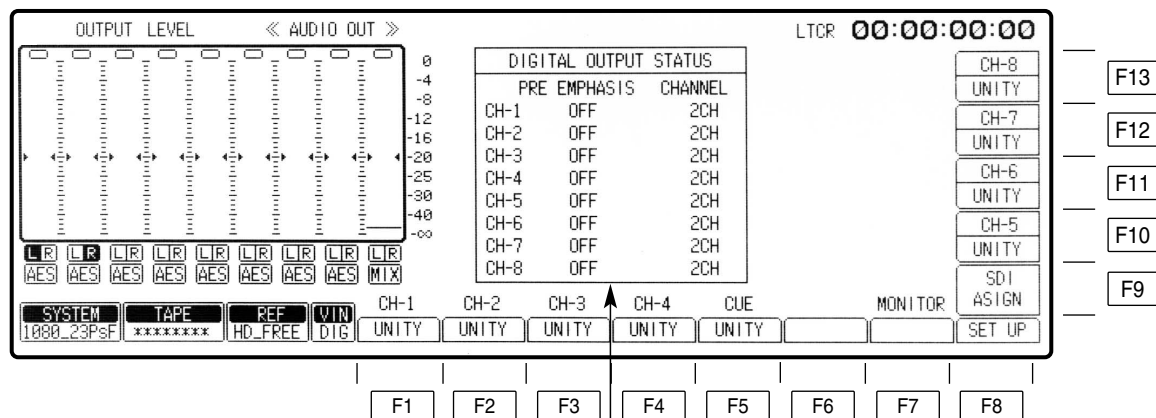
- ・ CH-MIX モードの設定後に、PLAY ボタンを押すと、F6 (CH-MIX) キーが点滅状態になります。このときは、通常の再生音が出力されます。
- ・ F6 キーが点滅状態のときに、F6 キーを押すと、CH-MIX 音が出力されます。実際のミキシング音を聴きながら調整する場合は、この状態で行います。
- ・ CH-MIX モードの機能を OFF にするには、F7 (CH-MIX) キーを押します。

VTR のモードと F6/F7 キーの状態による出力音声

キーの状態 \ VTR モード	F6 キーが点灯	F6 キーが点滅	F7 キーが点灯 (OFF)
EE/STOP	CH-MIX 音		EE/TAPE
PLAY(EDIT, NORMAL)	CH-MIX 音	再生音	再生音
REC	CH-MIX 音		EE/TAPE
JOG/VAR/SHTL		再生音	再生音

AUDIO OUT メニュー

AUDIO OUT キーを押すとメニューが出ます。



デジタル音声出力のステータスを表示します。

PRE EMPHASIS ON : プリエンファシスがかけられます。

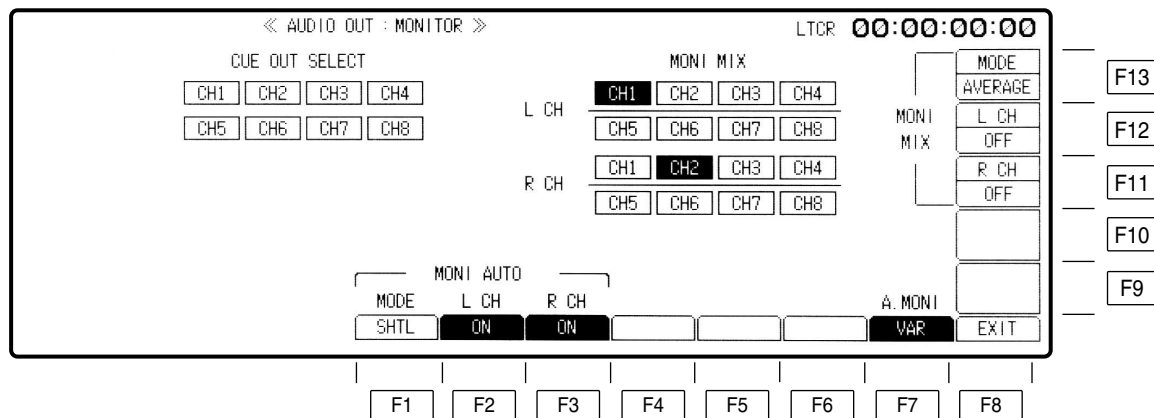
OFF : プリエンファシスがかけられていない
通常の信号です。

AUDIO OUT メニュー

キー	項目	機能
F1	CH-1 CH1 再生レベル調整の選択	
F2	CH-2 CH2 再生レベル調整の選択	
F3	CH-3 CH3 再生レベル調整の選択	<u>UNITY</u> : 再生レベルは UNITY 値に固定されます。 VAR : ADJUST VR で再生レベルを可変できます。
F4	CH-4 CH4 再生レベル調整の選択	・ UNITY/VAR ボタンを押して切り替えます。
F5	CUE CUE オーディオ再生 レベル調整の選択	
F6		
F7	MONITOR	AUDIO OUT MONITOR メニューに移行します。
F8	SET UP	AUDIO OUT SET UP メニューに移行します。
F9	SDI ASIGN	AUDIO OUT SDI ASIGN メニューに移行します。
F10	CH-5 CH5 再生レベル調整の選択	
F11	CH-6 CH6 再生レベル調整の選択	<u>UNITY</u> : 再生レベルは UNITY 値に固定されます。 VAR : ADJUST VR で再生レベルを可変できます。
F12	CH-7 CH7 再生レベル調整の選択	・ UNITY/VAR ボタンを押して切り替えます。
F13	CH-8 CH8 再生レベル調整の選択	

AUDIO OUT MONITOR メニュー

AUDIO OUT F7 キーを押すとメニューが出ます。



AUDIO OUT MONITOR メニュー

キー	項目	機能
F1	MODE モードの選択	モニター出力を自動的に CUE に切り替える VTR のモードを選択します。 <u>SHTL</u> : SHTL/FF/REW モードで自動的に CUE チャンネルの再生信号を出力します。 それ以外でのモードでは L/R ボタンで選択されたチャンネルを出力します。 <u>VAR/SHTL</u> : SHTL/FF/REW/JOG/VAR モードで自動的に CUE チャンネルの再生信号を出力します。 それ以外でのモードでは L/R ボタンで選択されたチャンネルを出力します。
F2	L CH	AUTO モードを L CH で動作させるかどうかを選択します。 <u>OFF</u> : 常に L ボタンで選択されたチャンネルを出力します。 <u>ON</u> : F1 キーで選択されたモードに従って自動的に CUE を出力します。
F3	R CH	AUTO モードを R CH で動作させるかどうかを選択します。 <u>OFF</u> : 常に R ボタンで選択されたチャンネルを出力します。 <u>ON</u> : F1 キーで選択されたモードに従って自動的に CUE を出力します。
F4 ~ F6		
F7	A. MONI オーディオモニター 出力調整の選択	オーディオモニター出力のレベル調整をフロントパネルのヘッドホン VR で行うかどうかを選択します。 <u>UNITY</u> : オーディオモニター出力レベルは UNITY 値に固定されます。 <u>VAR</u> : オーディオモニター出力レベルはヘッドホン VR で調整可能。
F8	EXIT	AUDIO OUT メニュー - に戻ります。
F9 ~ F10		
F11	R CH	MONITOR 端子に出力する R CH と L CH のミックス信号を設定します。
F12	L CH	<u>OFF</u> : ミックスしません。 <u>ON</u> : ミックスします。
F13	MODE	MONITOR 端子に出力するチャンネルのミキシング方法を選択します。 <u>ADD</u> : 単純加算します。 <u>AVERAGE</u> : 単純平均します。

CUE OUT SELECT

CUE 出力する本線系 CH1 ~ CH4 (8) を選択します。

カーソルセンターキーを押すと CUE OUT SELECT がハイライト表示して設定可能となります。

[MONITOR MIX がハイライトしている場合は、F キーとカーソルキー (◀または▶) を同時に押すと設定可能となります。]

カーソルキー (◀、▶、▲、▼) で CH を選択し、カーソルセンターキーを押して ON/OFF を決定してください。

MONITOR MIX

MONITOR 端子に出力する R CH と L CH のミックス信号を選択します。

選択条件は、CH1 ~ CH4 の中からと CH5 ~ CH8 の中からそれぞれ 2ch 以内 (最大 4ch) を設定することができます。

カーソルセンターキーを押すと MONITOR MIX がハイライト表示して設定可能となります。

[CUE OUT SELECT がハイライトしている場合は、F キーとカーソルキー (◀または▶) を同時に押すと設定可能となります。]

カーソルキー (◀、▶、▲、▼) で CH を選択し、カーソルセンターキーを押して ON/OFF を決定してください。

(本設定はチャンネルを選択するもので、実機能動作の設定は、F11 キーと F12 キーを切り替えてご使用ください。)

AUDIO OUT SET UP メニュー

AUDIO OUT **F8** キーを押すとメニューが出ます。

または

SET UP **F7** キーを押すとメニューが出ます。

The screenshot displays the 'AUDIO OUT : SET UP' menu. At the top left, it shows 'OUTPUT LEVEL' with a scale from 0 to -60 dB and four channel meters. Below this are 'L R L R L R L R L R' and 'INT INT INT INT INT INT INT INT'. The center shows 'SAMPLES' with a '0' in a box. To the right is a 'STILL' control with a slider. The bottom row of settings includes: SYSTEM (1080_59I), TAPE (*****), REF (HD_FREE), WIN (DIG), A/V PHASE (UNITY), JOG PROC (ON), VAR PROC (ON), PB FADE (ON), PB OUT (DELAYED), PEAK HOLD (ON), SCALE (FULL), and EXIT. On the right side, a vertical column of buttons is labeled with function keys: F13 (AUTO COPY ON), F12 (STATE), F11 (RATE CON ON), F10 (STYLE PCM), and F9 (DATA ADV BFR). Below the screen, a row of function keys F1 through F8 is shown, with F1-F8 corresponding to the settings on the screen.

AUDIO OUT SET UP メニュー

キー	項目	機能
F1	A/V PHASE* オーディオとビデオの遅延（位相）調整	本機から出力されるデジタル信号を外部の機器で処理をするとき、ビデオとオーディオ信号間に位相差を生じる場合があります。デジタルオーディオ信号を遅延調整し、この差をなくすることができます。 ・「ビデオに対するオーディオ出力調整」を参照。
F2	JOG PROC デジタルプロセス ON/OFF	JOG 時のデジタル処理を選択します。 <u>ON</u> : PCM オーディオのデジタル処理を行います。 OFF : PCM オーディオのデジタル処理を行いません。
F3	VAR PROC デジタルプロセス ON/OFF	VAR 時のデジタル処理を選択します。 <u>ON</u> : PCM オーディオのデジタル処理を行います。 OFF : PCM オーディオのデジタル処理を行いません。
F4	PB FADE 再生フェード ON/OFF	再生時、カット編集のつなぎ目で発生する音声ノイズを、瞬間的に V フェードして取り除く機能です。 <u>ON</u> : テープ上の全てのカット編集のつなぎ目で、再生 V フェード機能が働きます。 OFF : 再生 V フェード機能は動作しません。
F5	PB OUT 再生スタート時の出力音声特性	STOP 状態から PLAY 状態に移行したとき、音声信号が出力されるまで多少時間がかかります。この時間を短くすることができます。 <u>INSTANT</u> : 音声が出力されるまでの時間が短くなります。しかし出力される音声の最初の部分は不完全な音になります。 送信用に使用することはおすすめできません。 サーチ操作などのときに使用すると音声の確認が素早くできて便利です。 <u>DELAYED</u> : 完全な状態になってから音声を出力します。
F6	PEAK HOLD レベルメータのピークホールドの設定	記録および再生レベルのピーク値をホールドする機能です。 <u>ON</u> : ピーク値をホールドします。 OFF : ピーク値をホールドしません。
F7	SCALE レベルメータのスケール（目盛り）切り替え	画面上のオーディオレベル表示メータのスケール（目盛り）を標準目盛りと微調整目盛りに切り替えます。 <u>FINE</u> : 0.2dB ごとのスケールになります。（ - 24dB ~ - 15dB の範囲） <u>FULL</u> : 標準目盛りになります。（ - dB ~ 0dB の範囲） AUDIO IN SET UP メニューの「オーディオレベルメータ（目盛）のスケールの切り替え」（56 ページ）を参照してください。
F8	EXIT	AUDIO OUT メニューに戻ります。
F9	DATA ADV*	0 ~ 1Fr（0.1 フレーム刻み）デジタルオーディオの入出力形式がデータモードの時のアドバンス量を調整します。（0 設定時は VTR 内部の DEFAULT に合わせます。）

* E-E スル - モード（AUDIO OUT SET UP STATE メニューの F2 説明参照）設定時は、この機能は動作しません。

AUDIO OUT SET UP メニュー

キー	項目	機能
F10	STYLE* ¹	F キーと F10 キーを同時に押すと設定可能です。 PCM : 通常の PCM オーディオ設定です。 DATA : データモード (圧縮オーディオ : Dolby-E) 設定です。
F11	RATE CON* ²	AUDIO 入出力部にあるレートコンバータを通さず、デジタルフィルターをかけることなく記録・再生を行うことができます。 ON : レートコンバータを通して記録・再生します。 OFF : レートコンバータを通さず記録・再生します。
F12	STATE	AUDIO OUT SET UP STATE メニューに移行します。(70 ページ参照)
F13	AUTO CPY* ³	Audio 4ch フォーマットや 4ch テープ再生時でも Audio AES 出力、EMBEDDED Audio 出力の 5 ~ 8ch に 1 ~ 4ch の音声を出力することができます。 ON : 5 ~ 8ch に 1 ~ 4ch を出力します。 OFF : 5 ~ 8ch は出力しません。 <ノート> 本設定が ON 時でも AUDIO OUT SDI ASIGN メニューの CH1 ~ 4 の設定が OFF の場合は EMBEDDED Audio 出力の 5 ~ 8ch は出力されません。

*¹ 1080/59.94i_4ch および 720/59.94p_4ch フォーマット時だけ DATA モードが動作します。

本メニューは AUDIO IN SET UP メニューでも設定可能です。どちらかのメニューで設定を変更した場合、両方のメニューとも変更されます。なお、各チャンネルごとの設定はできません。

*² RATE CON ON/OFF 機能について

本メニューは、AUDIO IN SET UP メニューでも設定可能です。どちらかのメニューで設定を変更した場合、両方のメニューとも変更されます。

*³ AUDIO 4ch フォーマット (1080/59i、720/59p、480/59i) 選択時のみ表示されます。

AUDIO OUT SET UP メニュー

F11 (RATE CON) キーについて

動作について

- ・記録・再生系が同時に、ON/OFF 制御されます。記録だけ再生だけの設定はできません。
- ・CH1 ~ 8 (または CH1 ~ 4) 同時に、ON/OFF 制御されます。各 CH 毎の設定はできません。
- ・システムフォーマットが、1080/59i_4ch、720/59p_4ch の時、F10 (STYLE) で DATA モードを選択した場合、DATA モード設定が優先されます。(レートコンバータを通さず記録・再生します。)

対応フォーマット

- ・システムフォーマットが下記の時のみメニュー表示され、ON/OFF 設定が可能です。
1080/23p (psf)_8ch 1080/25p (psf)_8ch 1080/50i_8ch 1080/59i_8ch
720/59p_8ch 1080/59i_4ch 720/59p_4ch
- ・システムフォーマットが、1080/24p (psf)_8ch 選択時は、メニュー表示されなくなり、レートコンバータ強制 ON となります。
- ・システムフォーマットが、525/59i_4ch、525/59i_8ch、625/50i 選択時は、メニュー表示されなくなり、レートコンバータ強制 OFF となります。

レートコンバータ OFF 設定時の注意事項

- ・ビデオ入力と AES 入力が同期している必要があります。
- ・ビデオ入力と OUT_REF で選択されたリファレンス信号が同期している必要があります。
- ・P.PLAY 再生時、デジタルオーディオ出力は 48kHz とならなくなり、外部機器で受信することができなくなります。
- ・フレームレート変換再生 (例えば、システム周波数 23Hz で記録されたテープをシステム 25Hz で再生する場合等) 時も、上記と同様に外部機器で受信することができなくなります。

AUDIO OUT SET UP メニュー

ビデオに対するオーディオ出力調整

(1) F1 (A/V PHASE) キーを押して、表示を反転させます。

A/V PHASE
UNITY

(2) ADJUST VR で位相差を調整します。
ADJUST VR を回すと表示が VAR に変わります。
(サンプル単位で +16 ~ -96 まで可変可能。)

ADJUST
○

+4 SAMPLES

A/V PHASE
VAR

(3) 調整がおわると、F1 (A/V PHASE) キーを押します。

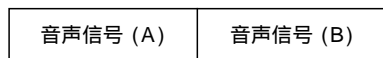
- ・調整中に UNITY/VAR キーを押すと UNITY に戻ります。
再度 UNITY/VAR キーを押すと、VAR 値に戻ります。

UNITY
/VAR
□

フェード機能

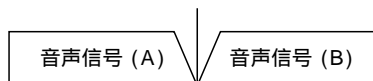
編集時、カット編集のデータが自動的に記録され、再生時にそのデータを感知し、その部分を V フェードします。

再生 V フェード機能 OFF



編集のつなぎ目でノイズが出ます。

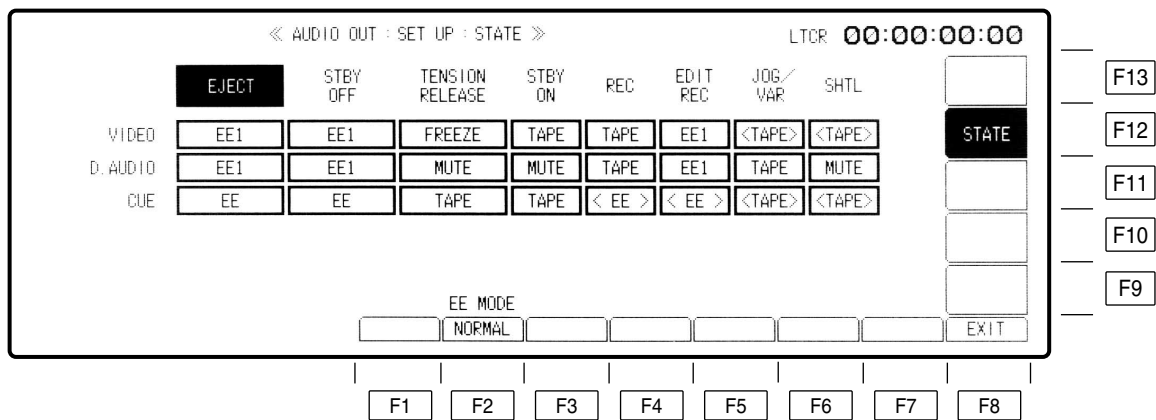
再生 V フェード機能 ON



瞬間的に V フェードしてノイズを消します。

AUDIO OUT SET UP STATEメニュー

AUDIO OUT F8 F12 キーを押すとメニューが出ます。



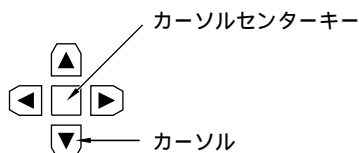
キー	項目	機能
F1		
F2	EE_MODE	<u>NORMAL</u> : 標準モード (E-E スル - モードを OFF) になります。 THROUGH : E-E スル - モード (AV の最小遅延モード) になります。 * E-E スル - モードでは映像 (音声) 出力とタイムコード出力にずれが生じます。
F3 ~ F7		
F8	EXIT	AUDIO OUT SET UP メニューに移行します。
F9 ~ F13		

AUDIO OUT SET UP STATE メニュー

TAPE/EE 出力信号の選択

VTR の動作時に出力されるビデオ、オーディオ、キュー信号を TAPE または EE 信号に切り替えます。

(1) カーソルセンターキーを押して、カーソルを表示します。



(2) カーソルキーでカーソルを任意の位置に移動します。

・カーソルは設定できない部分には移動しません。

	EJECT	STBY OFF	TENSION RELEASE	STBY ON	REC	EDIT REC	JOG/ VAR	SHTL
VIDEO	EE1	EE1	FREEZE	TAPE	TAPE	EE1	<TAPE>	<TAPE>
D.AUDIO	EE1	EE1	MUTE	MUTE	TAPE	EE1	TAPE	MUTE
CUE	EE	EE	TAPE	TAPE	<EE >	<EE >	<TAPE>	<TAPE>

(3) カーソルセンターキーを押して、TAPE または EE のどちらかを選びます。

選択の種類は次の表を参照してください。

モード CH	EJECT	STBY OFF	TENSION RELEASE	STBY ON	REC	EDIT REC	JOG/ VAR	SHTL
VIDEO	FREEZE BLACK GRAY FREE NOISE <u>EE1</u> EE2	FREEZE BLACK GRAY FREE NOISE <u>EE1</u> EE2	FREEZE BLACK GRAY FREE NOISE EE1 EE2	<u>TAPE</u> EE1 EE2	<u>TAPE</u> EE1 EE2	TAPE <u>EE1</u>	TAPE	TAPE
D.AUDIO	MUTE <u>EE1</u> EE2	MUTE <u>EE1</u> EE2	<u>MUTE</u> EE1 EE2	<u>MUTE</u> EE1 EE2	<u>TAPE</u> EE1 EE2	TAPE <u>EE1</u>	<u>TAPE</u> MUTE	TAPE <u>MUTE</u>
CUE	TAPE <u>EE</u>	TAPE <u>EE</u>	<u>TAPE</u> EE	<u>TAPE</u> EE	EE	EE	TAPE	TAPE

(下線は初期設定です。)

- ・上記の設定は、TEST メニューによるヘッド選択や編集時に一義的に定まる場合には、このメニューでの設定より、そちらの動作時の設定が優先されます。
- ・HOME メニューの F1 (OUTPUT) で TAPE/EE を設定しているときは、HOME メニューの方を優先します。

AUDIO OUT SDI ASIGN メニュー

AUDIO OUT F9 キーを押すとメニューが出ます。

The screenshot displays the 'AUDIO OUT : SDI ASIGN' menu. At the top left, there is an 'OUTPUT LEVEL' section with a vertical scale from 0 to -40 and a bar graph. Below it are 'L' and 'R' channel indicators. The top right shows 'LTCR 00:00:00:00'. The center features a signal flow diagram with 'HD' and 'SD' inputs and 'HD_TO_HD', 'SD_TO_HD', 'HD_TO_SD', and 'SD_TO_SD' processing blocks. On the right side, there are four vertical columns of controls: 'SD_TO_SD' (CH1~4, CH5~8), 'SD_TO_HD' (CH1~4, CH5~8), and 'SD_AUD' (OFF, 24bit). At the bottom, there are eight columns of controls: 'SYSTEM' (1080_59I), 'TAPE' (*****), 'REF' (HD_FREE), 'WIN' (DIG), 'HD_TO_HD' (CH1~4, CH5~8), 'HD_TO_SD' (CH1~4, CH5~8), 'SD_AUD' (24bit), and 'EXIT'. On the far right, five function keys are labeled: F13, F12, F11, F10, and F9. At the bottom of the screen, eight function keys are labeled: F1, F2, F3, F4, F5, F6, F7, and F8.

AUDIO OUT SDI ASIGN メニュー

キー	項目	機能
F1	HD_TO_HD CH1 ~ 4	HD SDIのエンベデッドオーディオCH1 ~ 4に出力するチャンネルを選択します。 <u>CH1 ~ 4</u> : CH1 からCH4 を出力します。 CH5 ~ 8 : CH5 からCH8 を出力します。 OFF : 出力しません。
F2	HD_TO_HD CH5 ~ 8*	HD SDIのエンベデッドオーディオCH5 ~ 8に出力するチャンネルを選択します。 CH1 ~ 4 : CH1 からCH4 を出力します。 <u>CH5 ~ 8</u> : CH5 からCH8 を出力します。 OFF : 出力しません。
F3		
F4	HD_TO_SD CH1 ~ 4	SD SDIのエンベデッドオーディオCH1 ~ 4に出力するチャンネルを選択します。 <u>CH1 ~ 4</u> : CH1 からCH4 を出力します。 CH5 ~ 8 : CH5 からCH8 を出力します。 OFF : 出力しません。
F5	HD_TO_SD CH5 ~ 8*	SD SDIのエンベデッドオーディオCH5 ~ 8に出力するチャンネルを選択します。 CH1 ~ 4 : CH1 からCH4 を出力します。 <u>CH5 ~ 8</u> : CH5 からCH8 を出力します。 OFF : 出力しません。
F6	SD AUD	SD_SDIのエンベデッドオーディオ出力の20bit/24bitを選択します。 <u>24bit</u> : 24bitを選択します。 20bit : 20bitを選択します。
F7		
F8	EXIT	AUDIO OUTメニューに戻ります。
F9	SD_TO_HD CH5 ~ 8*	HD SDIのエンベデッドオーディオCH5 ~ 8に出力するチャンネルを選択します。 CH1 ~ 4 : CH1 からCH4 を出力します。 <u>CH5 ~ 8</u> : CH5 からCH8 を出力します。 OFF : 出力しません。
F10	SD_TO_HD CH1 ~ 4	HD SDIのエンベデッドオーディオCH1 ~ 4に出力するチャンネルを選択します。 <u>CH1 ~ 4</u> : CH1 からCH4 を出力します。 CH5 ~ 8 : CH5 からCH8 を出力します。 OFF : 出力しません。
F11		
F12	SD_TO_SD CH5 ~ 8*	SD SDIのエンベデッドオーディオCH5 ~ 8に出力するチャンネルを選択します。 CH1 ~ 4 : CH1 からCH4 を出力します。 <u>CH5 ~ 8</u> : CH5 からCH8 を出力します。 OFF : 出力しません。
F13	SD_TO_SD CH1 ~ 4	SD SDIのエンベデッドオーディオCH1 ~ 4に出力するチャンネルを選択します。 <u>CH1 ~ 4</u> : CH1 からCH4 を出力します。 CH5 ~ 8 : CH5 からCH8 を出力します。 OFF : 出力しません。

* デジタル音声 が 4ch フォーマット時には表示されません。

TC/CHR メニュー

TC/CHR キーを押すとメニューが出ます。

The screenshot shows the TC/CHR menu interface. The top left section is labeled 'OUTPUT LEVEL' and features a vertical scale from 0 to -40 with eight sliders. Below this are labels for 'LR' and 'AES' channels. The top center section is 'SUPER POSITION' with a horizontal bar. The top right shows 'LTCR 00:00:00:00' and a small bar graph with '0.03' and a vertical scale. On the right side, there is a vertical menu with options: 'CHR TYPE', 'REVERSE', 'EX SUPER', 'ERR/FMT', 'SUPER TC ST.', 'TCR AUTO', and 'CONVERT'. At the bottom, there are function keys F1 through F8 and F9 through F13.

TC/CHRメニュー

キー	項目	機能
F1	SOURCE 内部/外部タイム コード信号の選択	<p><u>INT</u> : 内蔵 TCG のタイムコードを使用します。</p> <p><u>EXT LTC</u> : TIME CODE IN 端子からの LTC タイムコードを使用します。</p> <p><u>S LTC</u> : シリアル信号に付加されている LTC タイムコードを使用します。(SD モード選択時は表示されません。)</p> <p><u>S VITC</u> : シリアル信号に付加されている VITC タイムコードを使用します。(SD モード選択時は表示されません。)</p> <p><u>EXT VITC</u> : VIDEO 信号に重畳されている VITC タイムコードを使用します。(HD モード選択時は表示されません。)</p>
F2	TC SLAVE タイムコードの スレーブロック モードの設定	<p>・ F1 (SOURCE) キーが「INT」のとき、AUTO と PRESET、SLAVE の表示が出ます。</p> <p><u>AUTO</u> : ジェネレータはリーダの読み取った値にロックします。この場合、タイムコードの設定は行えません。(編集時のみ) ただしノーマル記録時にはジェネレータの設定は自由に行えます。</p> <p><u>PRESET</u> : ジェネレータはリーダの読み取り値にロックしません。ジェネレータの設定が自由に行えます。</p> <p><u>SLAVE</u> : ジェネレータはリーダの読み取った値にロックします。この場合、タイムコードの設定は行えません。</p> <hr/> <p>・ F1 キーが「EXT LTC」のとき、SLAVE と DIRECT の表示が出ます。</p> <p><u>SLAVE</u> : ジェネレータは外部 LTC タイムコードにロックします。(外部入力がないとき、E-TC の時間データが点滅します。)</p> <p><u>DIRECT</u> : 外部 LTC タイムコードをそのまま記録します。(外部入力がないとき、E-TC : ** : ** : ** : ** 表示になります。)</p> <hr/> <p>・ F1 キーが「S VITC」, 「S LTC」または「EXT VITC」のとき、このキーは表示されません。</p> <p>この場合、ジェネレータ値は常に外部 VITC または LTC タイムコードにロックします。</p>
F3	UB SLAVE ユーザービットの ロック	<p><u>ON</u> : ユーザービットはリーダ (TCR) の読み取ったユーザービット値や外部のユーザービット値にロックし、設定できません。</p> <p><u>OFF</u> : ジェネレータはリーダの読み取り値にロックしません。ユーザービット値は自由に設定できます。</p>
F4	RUN MD タイムコードの歩進	<p><u>REC RUN</u> : 記録時のみタイムコードを歩進させます。</p> <p><u>FREE RUN</u> : 時計と同じように、常に歩進させます。</p>
F5	DF MD* ドロップ・ ノンドロップ フレームの選択	<p>F1 (SOURCE) キーが「INT」を選択している時のみ有効です。</p> <p><u>ON</u> : ドロップフレームモードになります。</p> <p><u>OFF</u> : ノンドロップフレームモードになります。</p> <p>・ F1 キーが「EXT LTC」, 「S VITC」または「S LTC」を選択しているときは、外部タイムコードのドロップ/ノンドロップフレームモードに従います。</p>

* 1080/23psf、1080/23p、1080/24psf、1080/24p、1080/25psf、1080/25p、1080/50i および 576/50i システムフォーマット時は表示されません。

TC/CHRメニュー

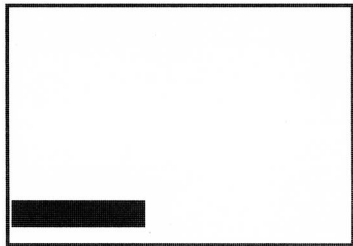
キー	項目	機能
F6	CF BIT* ¹ 記録時のカラー フレームビットの ON/OFF設定	<u>ON</u> : 記録時にCF BITを記録します。 <u>OFF</u> : 記録時にCF BITを記録しません。 ・F1キーが「EXT LTC」、「S VITC」または「S LTC」を選択しているときは、外部のカラーフレームビットに従います。
F7		
F8	SET UP	TC/CHR SET UPメニューに移行します。
F9	CONVERT* ²	TC/CHR CONVERTメニューに移行します。
F10	TCR タイムコードの読み 取りモード選択	<u>LTC</u> : 常にLTCを読みます。 <u>AUTO</u> : 低速時はVITCを優先的に読み、読めないときはLTCを読みます。 <u>VITC</u> : 常にVITCを読みます。 ・いずれの設定にしても、タイムコードが読み取れない場合は、コントロール信号で補正した値を読み取ります。(補間モードになり、HOMEメニューに「INTRP」が表示されます。)
F11	SUPER スーパーインポーズ の設定	<u>TC.ST</u> : タイムコードとVTR動作モードをスーパーインポーズします。 <u>TC.ST.RT</u> : タイムコード、VTR動作モードおよびテープ残量時間をスーパーインポーズします。 <u>TC.UB</u> : タイムコードとユーザズビットをスーパーインポーズします。 <u>TC.TC</u> : タイムコードを2段表示します。 オリジナルのタイムコード情報とコンバートしたフォーマットのタイムコード情報を同時に表示することができます。 (次ページのノートを参照してください。) <u>TC</u> : タイムコードのみスーパーインポーズします。 <u>OFF</u> : スーパーインポーズ表示しません。
F12	EX SUPER	<u>ERR/FMT</u> : ワーニングがある場合はワーニング表示します。 ワーニングがない場合はシステムフォーマットおよびテープフォーマットの周波数を表示します。 <u>ERR</u> : ワーニング表示またはフォーマット情報を画面にスーパーインポーズします。 <u>OFF</u> : ワーニング表示またはフォーマット情報をスーパーインポーズしません。
F13	CHR TYPE スーパーインポーズす る文字のタイプを選択	<u>REVERSE</u> : 黒抜きの背景がある文字になります。 <u>INTENSE</u> : 強調文字になります。

*¹ 480/59.94i、576/50i 選択時のみ表示します。

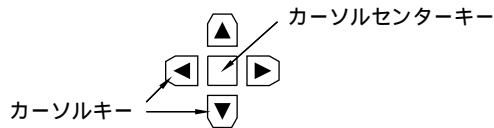
*² 1080/23psf、1080/23p、1080/24psf、1080/24p、1080/25psf、1080/25p および 1080/50i システムフォーマット時のみ表示されます。

TC/CHR メニュー

スーパーインポーズ位置の変更



(1) カーソルキーで位置を移動させます。



- ・カーソルキーを押し続けるとカーソルは速く移動します。
- ・カーソルセンターキーを押すと、初期の位置に戻ります。

タイムコードスーパーインポーズの表示と VTR の動作モード

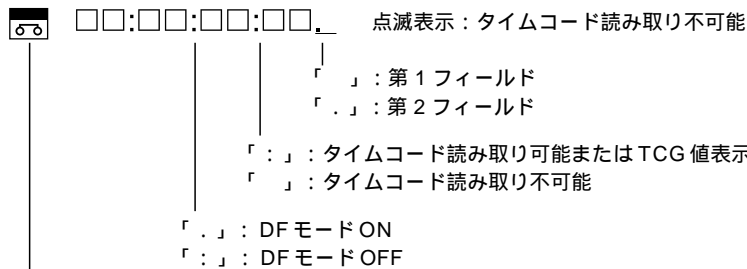
希望に応じて、タイムコードと VTR の動作モードを表示します。

タイムコードの表示

CTL1 : コントロール信号 1	TCG : タイムコードジェネレータの発生値
CTL2 : コントロール信号 2	LUBG : LTC ユーザービットの発生値
LTCR : LTC タイムコードの読み取り値	VUBG : VITC ユーザービットの発生値
LUBR : LTC ユーザービットの読み取り値	EXTC : 外部タイムコード値
VTGR : VITC タイムコードの読み取り値	EXUB : 外部ユーザービット値
VUBR : VITC ユーザービットの読み取り値	

・「秒」と「フレーム」の間の「:」はタイムコードリーダーの読み取り状態を示します。

時 分 秒 フレーム



テープに記録されたオリジナルのタイムコードであることを表します。このカセットマークがないタイムコード表示の場合は、コンバートされたタイムコード値であることを表します。(CTL、UB 設定時は消えます。)

TC/CHRメニュー

タイムコードスーパーインポーズの表示とVTRの動作モード(つづき)

VTRの動作モード

STOP	F.FWD
PREVIEW	REW
REVIEW	EDIT PLAY (編集再生)
PREROLL	EDIT REC (編集録画)
AUTO EDIT (自動編集)	CUE UP
JOG	STANDBY OFF
VAR	EJECT
SHTL	DMC PREVIEW
REC	DMC EDIT
REC (Pre-CTL 動作時点減表示)	OUT PREVIEW
PLAY	DMC SAMPLE(バリアブルメモリスピードサンプリング中)
P PLAY (プログラム再生)	DMC PLAY (バリアブルメモリー再生中)
TSO (TAPE SPEED OVERRIDE)	AUTO OFF

- ・シャトル/バリアブルモードおよびCUE UP、PREROLLモード時は、走行方向を「+」または「-」で表示し、速度を整数表示します。
- ・ジョグモードは正方向時は「<」、停止時は「*」、逆方向は「>」を表示します。
- ・プログラム再生、TSOモード時は、偏差方向「+」または「-」で表示し、偏差データをパーセントで表示します。

エラー情報の表示

F12 (EX SUPER) キーを押して「ERR/FMT」または「ERR」にします。

エラー情報を表示します。

FAN STOP (ファン停止)	HD REF ERROR (HD リファレンス信号 無入力)
ERASE ERROR (消去電流停止)	SD REF ERROR (SD リファレンス信号 無入力)
COMP.CPU ERROR (CPU間通信エラー)	HD SDI ERROR (HD SDI 信号エラー)
CONCEAL SW OFF (コンシールSWがOFF)	SD SDI ERROR (SD SDI 信号エラー)
ECC SW OFF (ECC SWがOFF)	FREQ UNMATCH (周波数設定が整合していない)
SERVO UNLOCK (サーボロックせず)	VIDEO ERROR (ビデオ系エラー)
CTL NOT DET. (CTL 検出できず)	PCM ERROR (PCM 信号系エラー)
LOW RF (記録時のRFレベル低下)	RS-422 ERROR (RS-422系エラー)
CONCEAL V/A (ビデオ・オーディオエラー修正)	RS-232C ERROR (RS-232C系エラー)
CONCEAL A (オーディオエラー修正)	VA-CONT ERROR (VAコントローラエラー)
CONCEAL V (ビデオエラー修正)	TC ERROR (タイムコードエラー発生)
AUDIO MUTE (AUDIO出力MUTE状態)	CARD LOW BATT(フロントのICカードバッテリー減少)
HIGH ERROR (インナーエラー値が高い)	SYSCON ERROR(システムコントロール系エラー発生)
CTL HEAD CLOG (CTLヘッド目詰まり)	MECHA ERROR (メカ系にエラー発生)
LTC HEAD CLOG (LTCヘッド目詰まり)	SERVO ERROR(リール・ドラム・キャプスタンにエラー発生)
OPT ERROR (オプティマイズ系エラー)	SYSTEM ERROR (その他エラー)

TC/CHR メニュー

スーパー表示

SUPER 設定を「TC.TC」に選択した時、タイムコードが 2 段表示されます。(HD スーパー、SD スーパー連動) スーパー上段は常にコンバート処理されたタイムコードを表示します。下段はテープに記録されたオリジナルのタイムコード表示かコンバート処理されたタイムコード表示かを切り替えることができます。

TC/CHR CONVERT メニューの F11、F12 キーの設定によって、下記のような表示パターンとなります。

システム周波数	24 (23.98)									
TAPE	24 (23.98)			25p/50i			59 (60)			
MENU SUPER (F11、F12)	24	25	30	24	25	30	24	25	30	
1 段表示	24LTCR <small>C</small>	25LTCR	30LTCR	24LTCR	25LTCR <small>C</small>	30LTCR	24LTCR	25LTCR <small>C</small>	30LTCR <small>C</small>	
2 段表示	上段	30LTCR	30LTCR	30LTCR	30LTCR	30LTCR	30LTCR	30LTCR <small>C</small>	30LTCR <small>C</small>	30LTCR <small>C</small>
	下段	24LTCR <small>C</small>	25LTCR	30LTCR	24LTCR	25LTCR <small>C</small>	30LTCR	24LTCR	25LTCR	30LTCR <small>C</small>

システム周波数	25						
TAPE	24 (23.98)		25p/50i		59 (60)		
MENU SUPER (F11、F12)	24	25	24	25	24	25	
1 段表示	24LTCR <small>C</small>	25LTCR	24LTCR	25LTCR <small>C</small>	24LTCR	25LTCR	
2 段表示	上段	25LTCR	25LTCR	25LTCR <small>C</small>	25LTCR <small>C</small>	25LTCR	25LTCR
	下段	24LTCR <small>C</small>	25LTCR	24LTCR	25LTCR <small>C</small>	24LTCR	25LTCR

Cはカセットマーク

フォーマット情報のスーパー表示

F12 (EX_SUPER) キーを押して「ERR/FMT」に設定した場合、下記のようなスーパー表示が可能となります。最上段のスーパー表示には、フォーマットに関する情報を表示します。

SYS : SYSTEM フォーマットの周波数情報が表示されます。

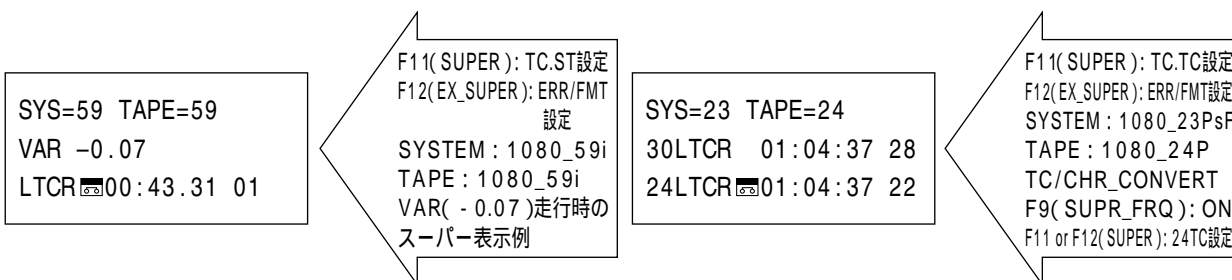
例えば、1080_23PsF 設定した場合は、23 と表示されます。

TAPE : テープ再生されたフォーマットの周波数情報が表示されます。

例えば、1080_24PsF フォーマットで記録されたテープは、再生時 24 と表示されます。

TAPE フォーマットが確定されない場合は、* * 表示となります。

(エラー発生時は、このエラー表示が優先され、フォーマット表示はされません。)



TC/CHRメニュー

ユーザービットの設定一覧表

F1(SOURCE)	F2(TC SLAVE)	F3(UB SLAVE)	F10(TCR)	LUBGモード	VUBGモード		
INT 内部 TC	_____	ON	LTC	REGEN	INT UB		
			AUTO		REGEN		
			VITC	INT UB			
		OFF	LTC	PRESET	INT UB		
			AUTO		PRESET		
			VITC	INT UB			
S LTC S VITC	_____	ON	LTC	EXT REGEN	INT UB		
			AUTO		EXT REGEN		
			VITC	INT UB			
		EXT LTC	SLAVE	OFF	LTC	PRESET	INT UB
					AUTO		PRESET
					VITC	INT UB	
EXT LTC	DIRECT	ON	LTC	DIRECT	INT UB		
			AUTO		EXT REGEN		
			VITC		INT UB		
		OFF	LTC		INT UB		
			AUTO		PRESET *		
			VITC		PRESET *		

* RECモード以外はUBの設定が可能です。

DIRECT : 外部の LTC 信号入力を直接記録、出力します。
内部基準信号には同期しません。

REGEN : テープ上の読み取り値にスレーブロックします。
UBの設定はできません。

EXT REGEN : 外部入力の VITC、LTC にスレーブロックします。
UBの設定はできません。

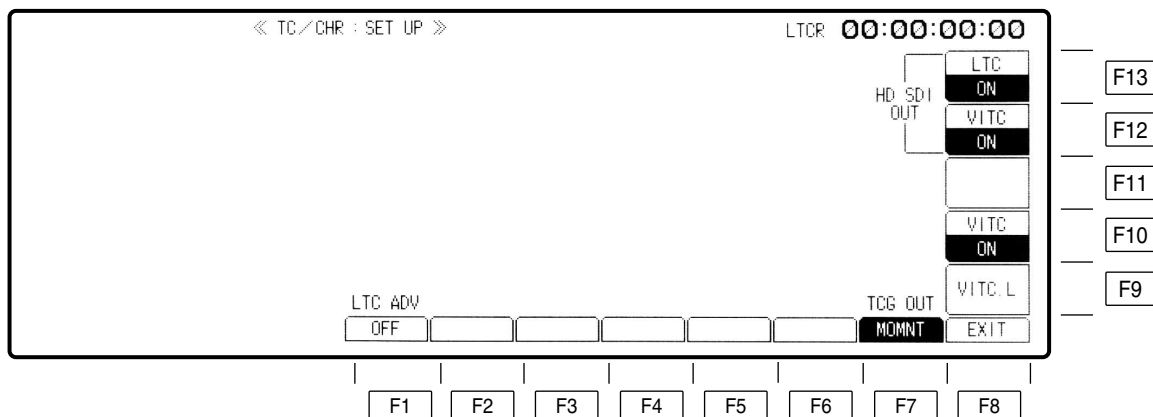
PRESET : テープの読み取り値や外部入力にはロックしません。
UBの設定ができます。

INT UB : 前の UB 値を保有し、リジェネもプリセットもできないモードです。再設定する時には上の 3 つのモードのどれかになるよう F1 (SOURCE)、F2 (TC SLAVE)、F3 (UB SLAVE) キーで選択してください。

TC/CHR SET UP メニュー

TC/CHR F8 キーを押すとメニューが出ます。

SET UP F5 キーを押すとメニューが出ます。



TC/CHR SET UP メニュー

キー	項目	機能
F1	LTC ADV*1 LTC OUT 出力 位相の設定 (ADV させるモード を選択)	<p>記録および編集モード時の TC (LTC) 出力位相を調整します。(テープに記録する位相は変わりません。また HD/SD 信号上に重畳されている VITC/LTC の位相には影響を与えません。)</p> <p>入力映像信号に対し、出力映像信号は数フレームの時間遅延が発生します。本機は TC 出力をどちらの位相にも合わせることができ、本メニューで入力位相に合わせるモードを選択します。このため、タイムコード出力位相を入力 (記録) 信号 (ADV) に合わせるか、もしくは映像出力 (OFF) に合わせるかを選択します。</p> <p>EDIT_REC : ノーマル記録時、または編集モード (インサート、アセンブル) 選択時タイムコードの出力位相を入力 (記録) 信号に合わせます。同一入力映像信号を同一タイムコードで、もう一台の VTR に記録する時に使用します。タイムコード出力を別の VTR のタイムコード入力に接続します。</p> <p>REC : タイムコード出力位相を記録モード時の入力 (記録) 信号に合わせます。編集モード時は映像出力位相に合わせます。</p> <p>EDIT : タイムコード出力位相を編集モード時の入力 (記録) 信号に合わせます。記録モード時は映像出力位相に合わせます。</p> <p>OFF : タイムコード出力位相を映像出力位相に合わせます。本機出力の映像およびタイムコード (LTC) を別の VTR で記録する時などに使用できます。</p>
F2 ~ F6		
F7	TCG OUT	<p>INPUT CHECK キー *2 で TCG 表示と LTC 出力をラッチするかどうかを選択します。</p> <p>MOMNT : キーを押している間のみ INPUT CHECK モードになります。</p> <p>LATCH : INPUT CHECK キーを押すと INPUT CHECK モードとなり、キ - を離してもモードは保持されます。EJECT、STBY ON/OFF、STOP モード以外、または HOME メニューの F1 (OUTPUT) を押すと解除されます。</p>
F8	EXIT	TC/CHR メニューに戻ります。

*1 1080/59i、720/59p、525/59i システムフォーマット時のみ表示されます。

*2 映像信号は SD SDI MONITOR OUT または HD SDI MONITOR OUT 端子で、音声信号は MONITOR 端子と HEADPHONES 端子で入力信号をチェックでき、INPUT CHECK キーを押している間入力信号に切り替わります。

< ノート : LTC_ADV 機能について >

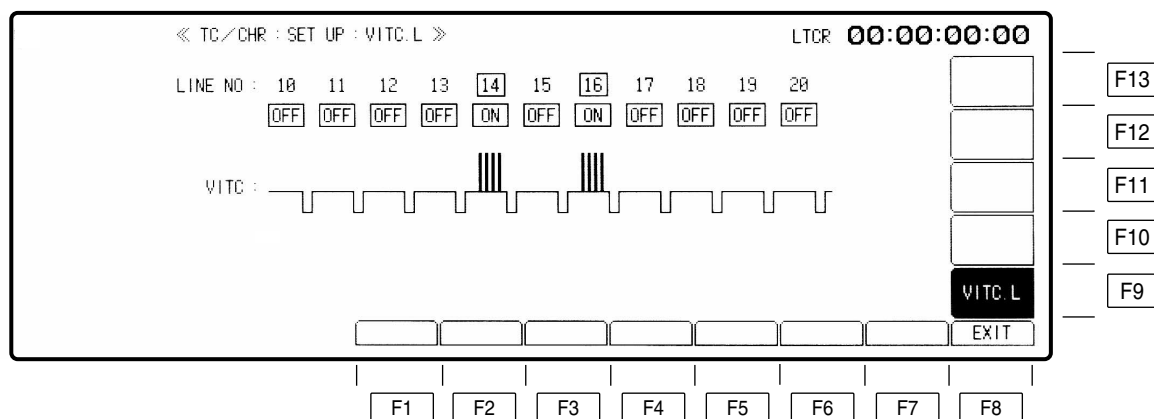
LTC ADV モード	LTC_OUT と VIDEO_OUT の位相	
	REC モード	編集モード
OFF	同位相	同位相
REC	ADV	同位相
EDIT	同位相	ADV
EDIT_REC	ADV	ADV

TC/CHR SET UP メニュー

キー	項目	機能
F9	VITC.L	VITC LINE 選択メニューに移行します。 SD モード：記録 VITC の重畳およびラインを設定 します。再生 VITC の重畳およびライ ンを設定します。 HD モード：DOWN_CON_SD 出力の VITC 重畳およびラインを設定し ます。
		NTSC：10～20ライン (Default 14、16) PAL：8～22ライン (Default 11、13)
F10	VITC SD 記録および出力 への VITC の重畳	SD 記録および出力に VITC 情報を重畳するかしないかを選択します。 <u>ON</u> ：VITC を重畳します。 OFF：VITC は重畳しません。
F11		
F12	VITC VITC の選択	HD SDI 出力に VITC 情報を重畳するかしないかを選択します。 <u>ON</u> ：VITC を重畳します。 OFF：VITC は重畳しません。
F13	LTC LTC の選択	HD SDI 出力に LTC 情報を重畳するかしないかを選択します。 <u>ON</u> ：LTC を重畳します。 OFF：LTC は重畳しません。

TC/CHR SET UP VITC.Lメニュー

- TC/CHR [F8] [F9] キーを押すとメニューが出ます。
 SET UP [F5] [F9] キーを押すとメニューが出ます。

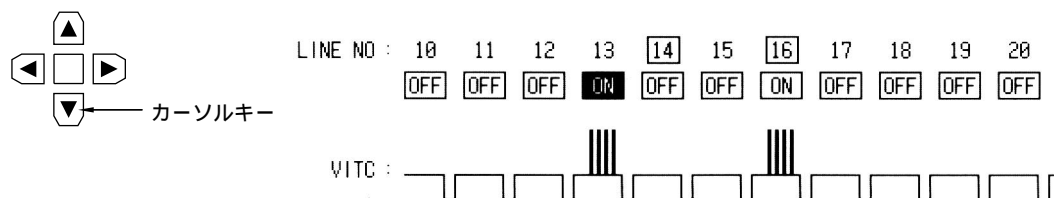


キー	項目	機能
F1 ~ F7		
F8	EXIT	TC/CHRメニューに戻ります。
F9	VITC.L	SDモード：記録VITCの重畳およびラインを設定します。 再生VITCの重畳およびラインを設定します。 HDモード：DOWN_CON_SD出力のVITC重畳およびラインを設定します。
F10 ~ F13		

TC/CHR SET UP VITC.Lメニュー

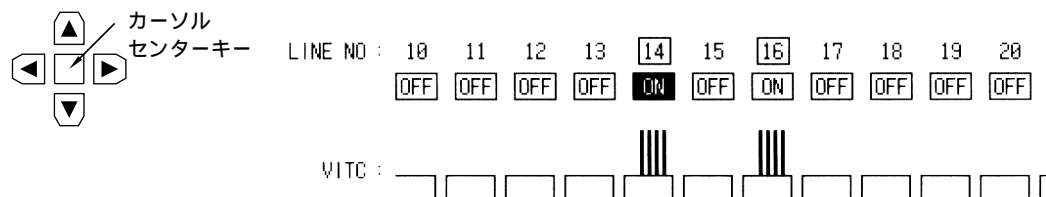
VITC 挿入ラインの選択

1. カーソルキー (◀、▶) で挿入する VITC のラインを選択します。



スクリーン上で囲んであるライン番号は推奨挿入ラインの値を表示しています。
(NTSCでは14と16ライン、PALは11と13ラインです。)

2. 他の挿入ラインを選択するときは、カーソルセンターキーを押します。(選択できるライン数は最大2ラインです。)



TC/CHR CONVERT メニュー

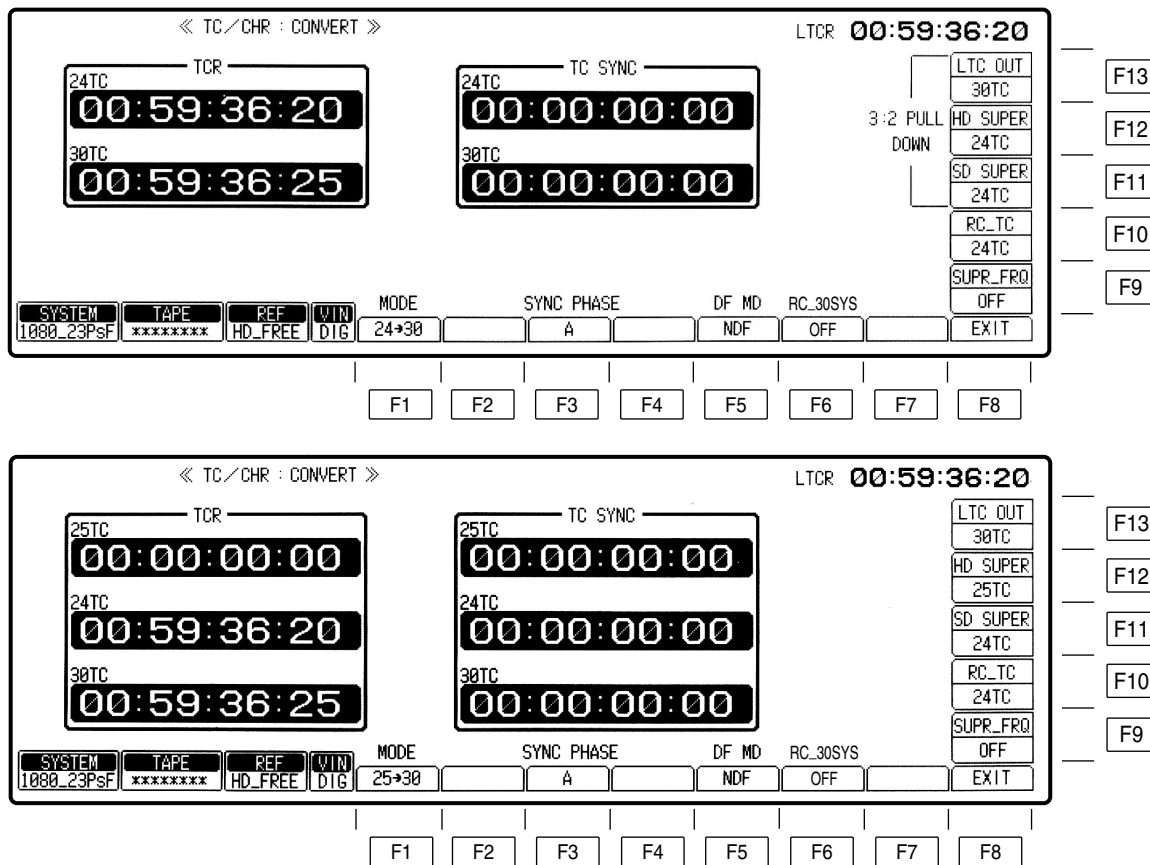
TC/CHR [F9] キーを押すとメニューが出ます。

タイムコードの 2 段、3 段表示について

・フロントパネル

TC/CHR CONVERT メニューの F1 (MODE) キーで、24 30 モードを選択した場合、2 段表示となり上段にオリジナルのタイムコード、下段にコンバートされたタイムコードを表示します。

25 30 モードを選択した場合、3 段表示となり、中段、下段にコンバートされた値が表示されます。



ノート

F1 (MODE) キーで 24 30 を選択し、テープが 24 フォーマットの場合 TCR 25TC は「*:*:*:*:*:」表示となります。

TC_SYNC ポイントの設定

カーソルセンターキーを押すと 24TC 表示がハイライト表示されます。数字キーとカーソルキー(◀、▶)でタイムコードを設定し、[ENT] キーを押してタイムコードを確定させます。カーソルキー(▲、▼)で 30TC/25TC 値の設定に移り、同じ操作でタイムコードを設定し、確定させます。

キー	項目	機能
F1	MODE	タイムコードフォーマット変換モードを選択します。 24 30 : オリジナルの 24 フレームカウント表示と 30 フレームカウント表示のモードになります。(ウインドウ: 24TC/30TC 表示) 25 30 : オリジナルの 25 フレームカウント表示と 24、30 フレームカウント表示のモードになります。(ウインドウ: 24TC/25TC/30TC 表示)

TC/CHR CONVERT メニュー

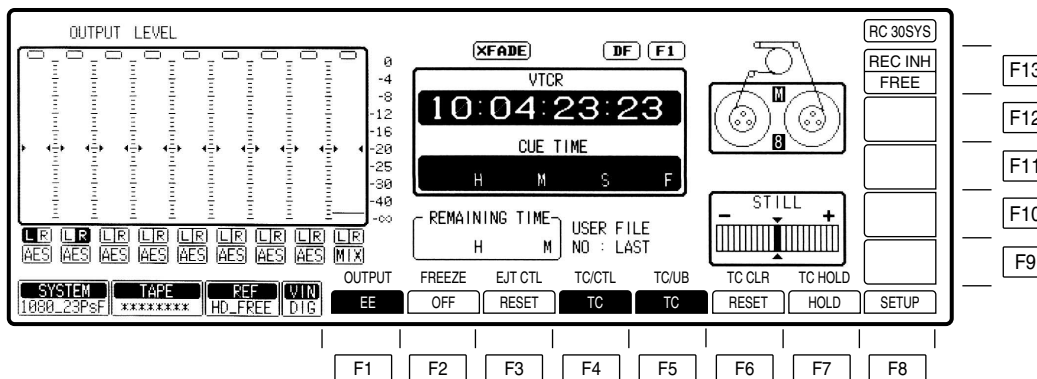
キー	項目	機能
F2		
F3	SYNC PHASE*	3 : 2 変換シーケンスの基準を設定します。 A : A フレームを基準にタイムコード変換します。 B : B フレームを基準にタイムコード変換します。 C : C フレームを基準にタイムコード変換します。 D : D フレームを基準にタイムコード変換します。
F4		
F5	DF MD	1080/23psf (p) 1080/24psf (p) からの 3 : 2 プルダウン出力に対して、TC 変換して出力するドロップフレームを選択します。 DF : ドロップフレームになります。 NDF : ノンドロップフレームになります。
F6	RC_30SYS	VTR の SYSTEM 周波数が 23.98Hz の時、F6 (RC_30SYS) キーが表示されます。 SYSTEM フォーマット 24 での 30 システム編集モード設定を行います。 ON : 30 システム編集 OFF : 24 システム編集
F7	24 TAPE LTC_OUT	VTR の SYSTEM 周波数が 25/50Hz の時、F7 (24 TAPE LTC_OUT) キーが表示されます。 LTC OUT の出力設定を行います (25 システムでの 24 テープ再生時)。 ON : テープフォーマットによる LTC 出力 OFF : 25TC 出力
F8	EXIT	TC/CHR メニューに戻ります。
F9	SUPR_FRQ	タイムコードスーパー表示において、周波数情報を付加するかしないかを選択します。 ON : 周波数情報を付加します。(例 : 24LTCR) OFF : 周波数情報を付加しません。(例 : LTCR)
F10	RC_TC*	リモート端子 (RS-422 等) に出力するタイムコードを選択します。 24TC : オリジナルの 24 フレームカウントのタイムコードを出力します。 30TC : コンバートした 30 フレームカウントのタイムコードを出力します。
F11	SD SUPER	SD モニターに出力するタイムコードを選択します。 24TC : オリジナルの 24 フレームカウントのタイムコードを出力します。 30TC : コンバートした 30 フレームカウントのタイムコードを出力します。 (25TC) : コンバートした 25 フレームカウントのタイムコードを出力します。

* 1080/23p、1080/24p、1080/25p、1080/50i、システムフォーマット時のみ表示されます。30TC 選択時、タイムコードの連続性は 1 倍速走行サーボロック時のみ保証されます。それ以外は不連続になりますのでご注意ください。

TC/CHR CONVERT メニュー

キー	項目	機能
F12	HD SUPER	HD モニターに出力するタイムコードを選択します。 <u>24TC</u> : オリジナルの 24 フレームカウントのタイムコードを出力します。 30TC : コンバートした 30 フレームカウントのタイムコードを出力します。 (<u>25TC</u>) : コンバートした 25 フレームカウントのタイムコードを出力します。
F13	LTC OUT*	LTC OUT の出力設定を行います。 (詳しくは 91 ページを参照してください) (<u>25TC</u>) : VTR の SYSTEM 周波数が 25/50Hz の時、表示されます。 25 フレームカウントのタイムコードを出力します。 30TC : コンバートをした 30 フレームカウントのタイムコードを出力します。 <u>24TC</u> : 24 フレームカウントのタイムコードを出力します。

F6 (RC_30SYS) キーが ON に、F10 (RC_TC) キーが 30TC にそれぞれ設定され、音声インサート編集条件が確定された場合、HOME メニューおよび MANUAL EDIT メニューは以下のように **RC 30SYS** が右上に表示されます。



TC SYNC 値と SYNC PHASE の設定について

1080/23psf (p) 1080/59i (480/59i) 1080/24psf (p) 1080/60i へ変換する場合 TC も同様に変換処理することになりますので変換時に基準となる時間情報 (TC SYNC 値) と変換出力映像の 3:2 PULL DOWN シーケンス (SYNC PHASE) を入力する必要があります。

TC SYNC 値の設定

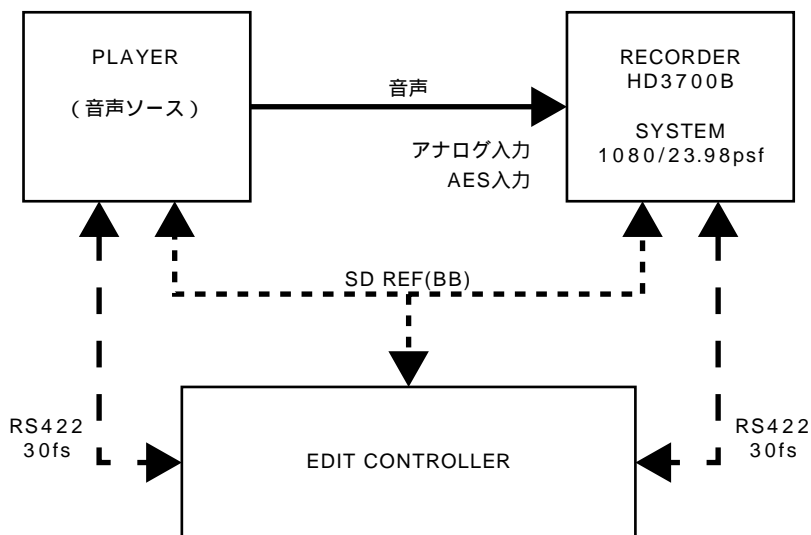
変換時に基準となる変換前の 24 フレームカウントの TC (24TC) 値と、変換後の 30/25 フレームカウントの TC (30TC)/(25TC) 値を入力します。

ノート

1080/25psf 1080/23psf 1080/59i(480/59i)または 1080/25psf 1080/24psf 1080/60i へ変換する場合

変換時の基準となる変換前の 25 フレームカウントの TC (25TC) 値と変換後の 24/30 フレームカウントの TC (24TC)/(30TC) 値を入力します。SYNC PHASE は 24TC 30TC 変換時に有効になります。

VTR システム 23.98Hz、外部 30Hz 環境で 音声インサート編集する機能について

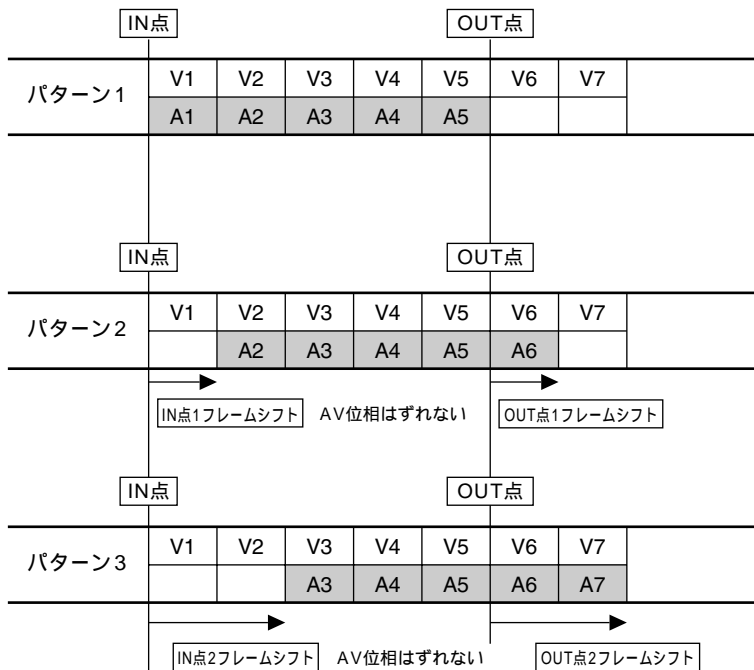


上記システム接続図に示したように、外部機器が 30Hz 環境下の時にでも、HD3700B の 23.98P テープに音声インサート編集をすることができるようになり、編集作業の効率アップが図れます。

VTR のメニュー設定については、後述を参照してください。

< 編集精度について >

HD3700B では、Tape 上の VIDEO と入力 AUDIO の位相をそろえて記録する (A/V 位相のズレは無し) ために、IN/OUT 点精度は以下の 3 パターン存在します。(パターン 2、3 に示したように、IN/OUT 点がずれる場合がありますので、ご注意ください。)



VTR システム 23.98Hz、外部 30Hz 環境で 音声インサート編集する機能について

< 留意事項 >

次の条件を満足していないと、本機能は動作しません。

(a) VTR の SYSTEM 周波数が、23.98Hz に設定されていること。

(b) ブラックバースト REF 信号が接続されていること。

(c) TC/CHR CONVERT メニューが以下の設定となっていること。

RC_30SYS (F6) ON

RC_TC (F10) 30TC

(d) 音声入力、AES 入力またはアナログ入力とし、エンベデッド音声は選択しないようにしてください。

(AV 位相がずれて編集される可能性があります。)

(e) INTERFACE SET UP メニューが以下の設定となっていること。

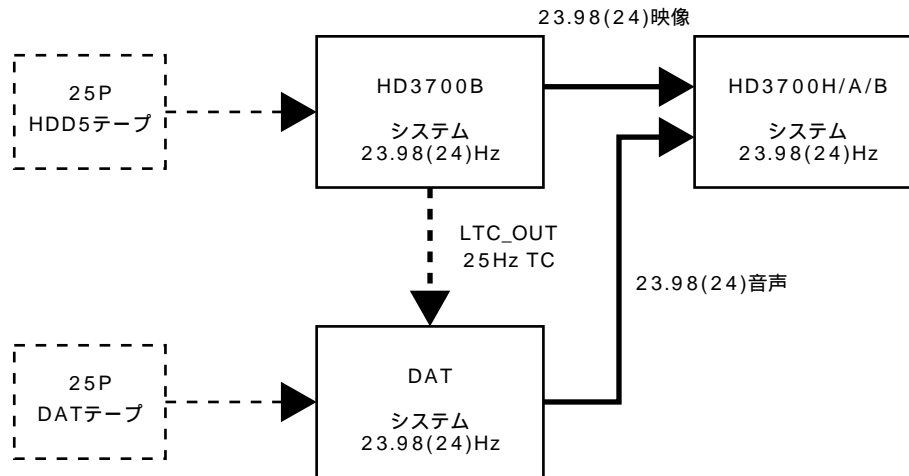
VAR LIMT (F10) OFF

本機能は音声インサートのみ実行できる機能ですので、上記設定が完了した状態では、以下の編集モードは禁止され、設定することができませんのでご注意ください。

- ・アSEMBル編集モード
- ・インサート(ビデオ)編集モード
- ・インサート(CUE 選択)編集モード
- ・インサート(TC 選択)編集モード

編集チャンネル選択を確定した後、外部(9ピンまたは232C)から、またユーザーファイルロード等で禁止条件に該当した場合、EDIT プリセットコマンドやインサート(ビデオ/CUE/TC)をマスク処理して実行しますので、ご注意ください。

VTR システム 23.98/24 (25) Hz で 25P (23.98P/24P) テープを再生する場合の LTC 出力選択機能について



上記に示したように、25Hzで記録されたテープを23.98(24)Hz再生する場合のシステムでは、映像と音声を同期させるために、外部のDAT機器に25HzのTC情報を供給して、VTRに同期運転させることができます。

このようにVTRのシステム周波数が23.98Hzまたは24Hzで、1080/25P記録されたテープを再生する場合、24フレームカウントのTCに加えて、テープに記録されたオリジナルの25フレームカウントのTCをLTC_OUT端子から出力することも選択できるようにした機能です。

逆にVTRのシステム周波数が25Hzで、1080/23.98Pまたは1080/24P記録されたテープを再生する場合、25フレームカウントのTCだけでなく、テープに記録されたオリジナルの24フレームカウントのTCをLTC_OUT端子から出力することもできます。

(AJ-HD3700Hでは、システム周波数25Hzで23.98(24)Pテープ再生時、音声は正常出力されませんのでご注意ください。)

以上のように、VTRシステム周波数と記録済みテープの周波数が異なる状態で、LTC_OUT端子から記録済みテープのオリジナルのTCを選択出力できることで、外部機器との接続運用のシステム性を拡張しています。

VTRのメニュー設定については、88ページを参照してください。

(なお、本機能を利用してLTC_OUT端子から出力するLTC波形は、通常再生時でも記録時と異なるテープ速度での再生となるため規格で定義された波形と異なります。)

MULTI CUE メニュー

MULTI
CUE

キーを押すとメニューが出ます。

The screenshot displays the MULTI CUE menu interface. At the top, it shows 'OUTPUT LEVEL << MULTI CUE >>' and 'LTCR 00:00:00:00'. The main area features a vertical scale from 0 to -∞ with horizontal bars for levels 1 through 6. Below this are two rows of 'L' and 'R' indicators, followed by 'AES' and 'AES MIX' labels. A 'PAGE' indicator shows '1'. At the bottom, there are buttons for 'SYSTEM', 'TAPE', 'REF', 'WIN', and 'DIG'. To the right of the main interface, a vertical column of buttons is labeled F13, F12, F11, F10, and F9. Below the main interface, a row of buttons is labeled F1 through F8.

MULTI CUE メニュー

キー	項目	機能
F1	1 キュー番号の指定	1 のキュー番号の指定。
F2	2 キュー番号の指定	2 のキュー番号の指定。
F3	3 キュー番号の指定	3 のキュー番号の指定。
F4	4 キュー番号の指定	4 のキュー番号の指定。
F5	5 キュー番号の指定	5 のキュー番号の指定。
F6	PROTECT ページロック ON/OFF	F キーと同時に押すと、ON/OFF が切り替わります。 ON : そのページのキュー点の登録、変更、削除は行えません。 OFF : そのページのキュー点の登録、変更、削除が可能になります。
F7		
F8	SET UP	MULTI CUE SET UP メニューへ移行します。
F9	6 キュー番号の指定	6 のキュー番号の指定。
F10	7 キュー番号の指定	7 のキュー番号の指定。
F11	8 キュー番号の指定	8 のキュー番号の指定。
F12	9 キュー番号の指定	9 のキュー番号の指定。
F13	10 キュー番号の指定	10 のキュー番号の指定

MULTI CUE メニュー

ページの切り替え

- ・FキーとF1(1)～F5(5)、F9(6)～F13(10)キーを同時に押すと該当するページを選択できます。
 - ・Fキーと▶キーを同時に押すと、ページアップ。
 - ・Fキーと◀キーを同時に押すと、ページダウン。
- 1ページ目でページダウンすると、10ページ目が表示されます。
10ページ目でページアップすると、1ページ目が表示されます。

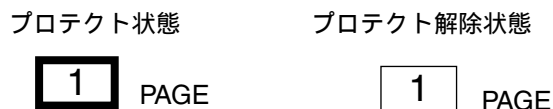


プロテクト

FキーとF6(PROTECT)キーを同時に押すと、表示されているページのプロテクト状態が設定できます。

再度FキーとF6キーを同時に押すとプロテクト状態は解除されます。

プロテクト状態は番号が以下ようになります。



キューの登録

キュー点は最大100個登録できます。

(1)登録するキュー番号を選択します。

F1～F5、F9～F13キーの一つを押します。押された番号が反転します。

(2)タイムコードを入力します。

入力の方法は3通りあります。

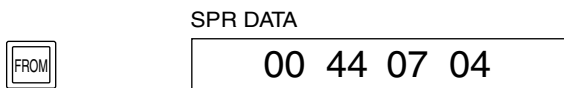
1)サーチダイヤルでキュー点を探し、ENTRYボタンを押します。

2)数字キーでダイレクトにタイムコードを入力し、ENTキーを押します。

3)カーソルを値の取り込む部分に移動させます。

1. FROMキーを押します。

スクラッチパッドレジスタにカーソル位置のタイムコードが取り込まれます。

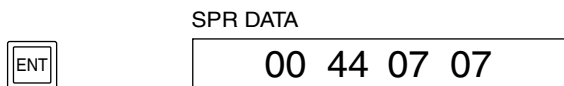


2. +、-、数字キーで加減算します。



3. ENTキーを押します。

演算結果を表示します。



MULTI CUE メニュー

4. 取り込んだタイムコードを表示させる部分にカーソルを移動させます。



5. COPY キーを押して、取り込まれたタイムコードを呼び出します。



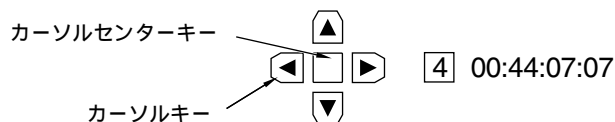
- ・MULTI CUE SET UP メニューの F1 (AUTO STEP) キーを「ON」にしているときは、自動的に次のキュー番号位置が反転します。
- ・登録したキュー点は電源を切ってもメモリーされています。

キュー点の変更

既に登録されているキュー点を変更するには、以下の操作を行います。

(1) 登録するキュー (F1 ~ F5、F9 ~ F13) を押します。

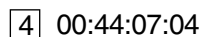
(2) カーソルキーを押して、変更するキューのタイムコードに桁カーソルを移動させます。



(3) カーソルセンターキーを押してカーソルを桁カーソルにした後、数字キーで値を入力します。



(4) ENT キーを押します。



キューデータのクリア

既に登録されているキュー点をクリアするには、以下の操作を行います。

(1) クリアするキュー (F1 ~ F5、F9 ~ F13) を押します。

(2) C キーを押します。

(3) ENT キーを押します。

全キューの削除

F8 (SET UP) キーを押して SET UP メニューの F3 (PAG CLR) と F キーを同時に押します。ページ内のキューがすべて削除されます。また F5 (ALL CLR) と F キーを同時に押すと、全ページのキューが削除されます。(ただし、プロテクト状態のページのキューは削除できません。)

MULTI CUE SET UPメニュー

MULTI
CUE

F8 キーを押すとメニューが出ます。

OUTPUT LEVEL << MULTI CUE : SET UP >> LTCR 00:00:00:00

0
-4
-8
-12
-16
-20
-25
-30
-40
-∞

LR LR LR LIR LIR LR LR LIR LR LR
AES AES AES AES AES AES AES AES MIX

SYSTEM TAPE REF WIN AUTO STEP PAG MODE PAG CLR ALL CLR
1080_23PsF ***** HD_FREE DIG OFF OFF

CUE ROLL 5 SEC
AUTO FRZ OFF
MAX SP. -1<=>+2
CLUTCH OFF
EXIT

F13
F12
F11
F10
F9

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8

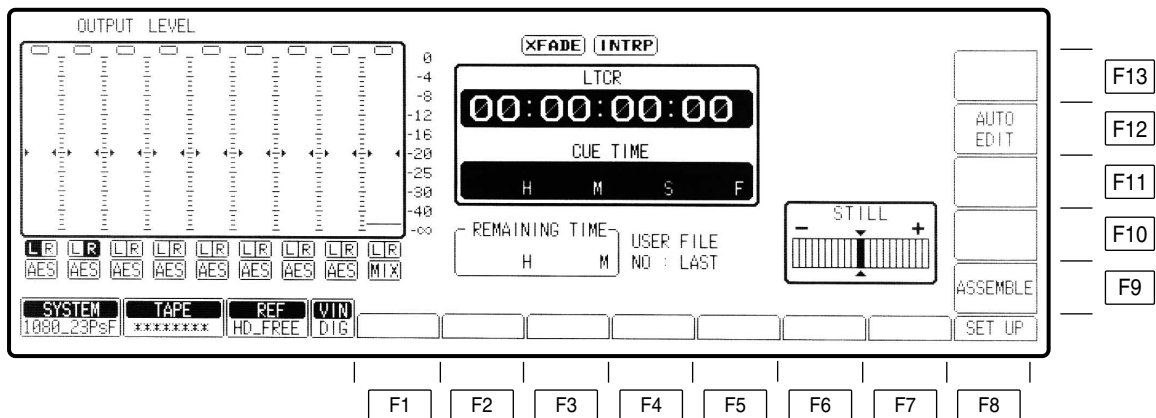
MULTI CUE SET UPメニュー

キー	項目	機能
F1	AUTO STEP オートステップモード ON/OFF	ON : キュー点が登録されると、自動的に次の項目へカーソルが移動します。 OFF : カーソルは移動しません。 ・下記のF2 (PAG MODE) が「ON」の場合、カーソルの移動はページ内のみで行われます。 例えば、キュー番号10のキュー点登録が完了すると、同一ページのキュー番号1のタイムコード入力箇所へカーソルが移動します。 ・下記のF2 (PAG MODE) が「OFF」の場合、カーソルの移動はページ間にわたって行われます。 例えば、キュー番号10のキュー点登録が完了すると、次ページのキュー番号1のタイムコード入力箇所へカーソルが移動します。
F2	PAG MODE カーソルの移動モードの設定	ON : カーソルの移動はページ内のみ限定されます。 OFF : カーソルはページ間にわたって移動可能です。
F3	PAG CLR ページ内キュー データのクリア	Fキーと同時に押すと、ページ内のキューの登録データは全てクリアされます。 ・プロテクトがかかっているページはクリアできません。
F4		
F5	ALL CLR 全キューデータのクリア	Fキーと同時に押すと、全キューデータはクリアされます。 ・プロテクトがかかっているページはクリアできません。
F6 ~ F7		
F8	EXIT	MULTI CUEメニューへ戻ります。
F9	CLUTCH バリアブルモードでのダイヤルクラッチのON/OFF	ON : - 1、0、+ 1、+ 2倍速にダイヤルクラッチ設定。 OFF : クラッチ設定をしません。
F10	MAX SP. バリアブルモードの テープ最高速度選択	- 1 + 2 : - 1 ~ + 2の範囲のテープ速度。 - 1 + 1 : - 1 ~ + 1の範囲のテープ速度。 0 + 1 : 0 ~ + 1の範囲のテープ速度。
F11	AUTO FRZ* オートフリーズ	ON : バリアブルモード時、EXECUTE ボタンを押すとフリーズ画を出 力します。(テープ走行は継続しています。) STOP、PLAY、FF、REW、JOG、VAR、SHTL ボタンを押 すと、フリーズ画は解除されます。 OFF : フリーズ画を再生しません。
F12		
F13	CUE ROLL プリロール時間の選択	プリロール時間を設定します。 1sec 単位で 0 ~ 30sec までプリロール時間を選択できます。

* MULTI CUEメニュー画面で有効になります。

INSERT/ASSEMBLE MANUAL EDITメニュー

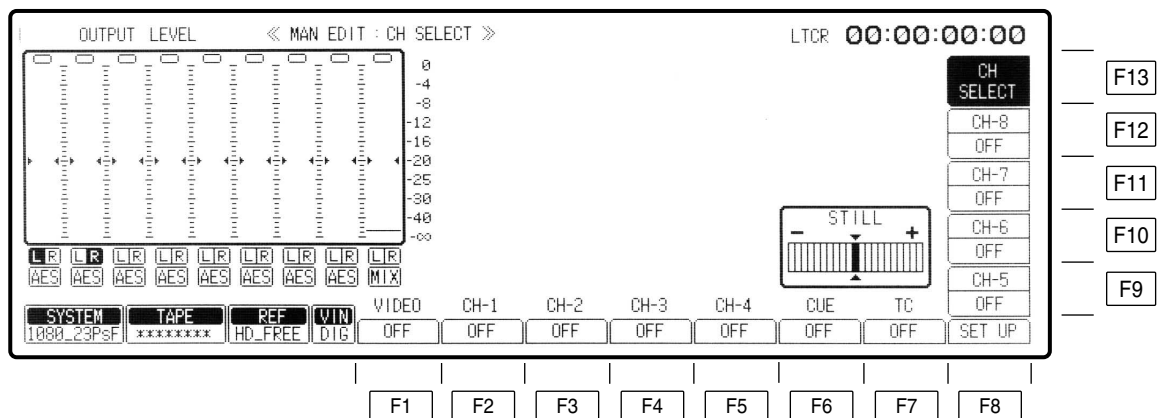
ASSEM (または INSERT) F12 キーを押して「MANUAL EDIT」メニューにします。



キー	項目	機能
F1 ~ F7		
F8	SET UP	MANUAL EDIT SET UPメニューに移行します。
F9	INSERT/ASSEMBLE 編集モードの ON/OFF	編集モードを選択します。 ON : 編集モードをONにします。 OFF : 編集モードをOFFにします。
F10 ~ F11		
F12	AUTO EDIT	AUTO EDITメニューに移行します。
F13	CH SELECT 編集チャンネルの選択	INSERT MANUAL EDIT CH SELECT (編集チャンネル選択)メニュー に移行します。(インサート編集のみ)

INSERT MANUAL EDIT CH SELECT メニュー

INSERT F12 F13 キーを押すとメニューが出ます。



* PCM オーディオが 4ch のフォーマット選択時は、CH-5 ~ CH-8 は表示されません。

INSERT MANUAL EDIT CH SELECTメニュー

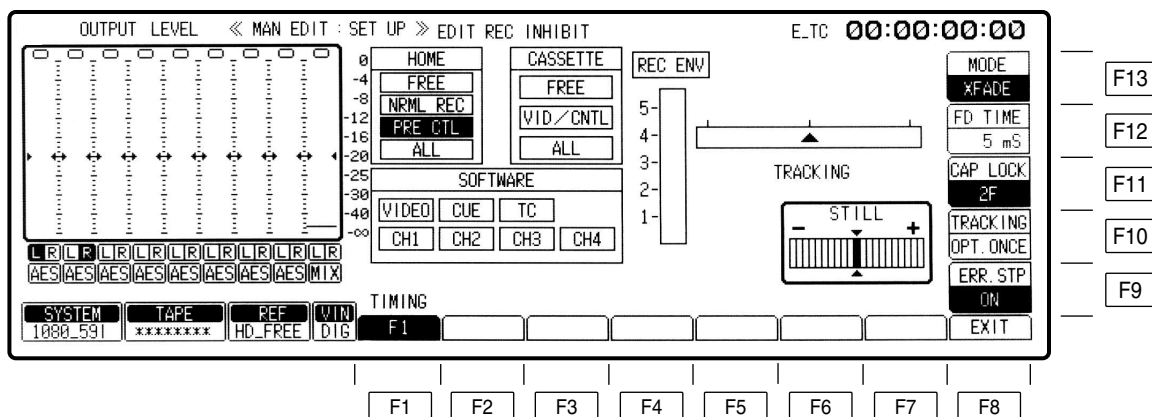
キー	項目	機能
F1	VIDEO ビデオチャンネルの ON/OFF	
F2	CH-1 オーディオチャンネル CH1 のON/OFF	
F3	CH-2 オーディオチャンネル CH2 のON/OFF	編集チャンネルの選択 インサート編集時のみ有効です。
F4	CH-3 オーディオチャンネル CH3 のON/OFF	ON : 編集チャンネルとして選択されます。 OFF : 編集チャンネルとして選択されません。
F5	CH-4 オーディオチャンネル CH4 のON/OFF	・デジタルオーディオチャンネルのみ選択してインサート編集する場合でも、必ず安定した入力ビデオ信号を接続しておいてください。 入力ビデオ信号が乱れると、音声が正常に記録されない場合があります。
F6	CUE アナログキューチャ ンネルのON/OFF	
F7	TC LTC タイムコード チャンネルのON/OFF	
F8	SET UP	MANUAL EDIT SET UP メニューに移行します。
F9	CH-5 オーディオチャンネル CH5 のON/OFF	編集チャンネルの選択
F10	CH-6 オーディオチャンネル CH6 のON/OFF	インサート編集時のみ有効です。 ON : 編集チャンネルとして選択されます。 OFF : 編集チャンネルとして選択されません。
F11	CH-7 オーディオチャンネル CH7 のON/OFF	・デジタルオーディオチャンネルのみ選択してインサート編集する場合でも、必ず安定した入力ビデオ信号を接続しておいてください。
F12	CH-8 オーディオチャンネル CH8 のON/OFF	入力ビデオ信号が乱れると、音声が正常に記録されない場合があります。
F13	CH SELECT	INSERT MANUAL EDIT メニューに移行します。

INSERT/ASSEMBLE MANUAL EDIT SET UP メニュー

ASSEM (または INSERT) F12 キーを押して「MANUAL EDIT」メニューにし、F8 キーを押すとメニューが出ます。

または

SET UP F2 キーを押すとメニューが出ます。



INSERT/ASSEMBLE MANUAL EDIT SET UP メニュー

キー	項目	機能
F1	TIMING* 編集タイミングの設定	編集IN点およびOUT点での記録フィールドのタイミングを設定します。 FキーとF1キーを同時に押すと設定できます。 F1： IN点の奇数フィールドから編集を開始し、OUT点1フレーム前の偶数フィールドを記録して編集を終了します。 F2： IN点の偶数フィールドから編集を開始し、OUT点の奇数フィールドを記録して編集を終了します。 F1/F2： 編集IN点およびOUT点のフィールドは編集コマンドの出るタイミングによって決定されます。 編集タイミングが偶数フィールドで出れば、奇数フィールドで終了し、奇数フィールドで出れば、偶数フィールドで終了します。 ・編集タイミングの設定はAUTO EDIT SET UPメニューでも行えます。 AUTO EDIT SET UPメニューで異なるモードを設定した場合、このメニューで設定したモードも変更されます。 ・CONTROL (REMOTE/LOCAL) スイッチをLOCAL側に設定している時は強制的にF1の設定になります。
F2 ~ F7		
F8	EXIT	MANUAL EDITメニューに戻ります。
F9	ERR. STP エラーストップ	オブティマイズが完了した時のREC ENVに対して編集開始(5フレーム前)のENV値が25%ダウンするとエラーと判断し、以下の動作が選択できます。 ON： オブティマイズモードで編集を実行中、IN点までにエラーが発生した場合、編集を中止し、停止モードになります。 OFF： エラーメッセージだけを表示し、編集は続きます。
F10	TRACKING トラッキング調整	通常時のトラッキング調整は不必要。編集時にトラッキングずれが起こった場合に調整します。 VAR： 手でトラッキングを調整します。 「トラッキングの手動調整」(107ページ)を参照。 FIX： トラッキングを固定します。 OPT. ONCE： カセット挿入後、最初の編集で、IN点までのPLAY中に最適化を行います。それ以後は最適化は行いません。 またEDIT/PLAY中にPLAYボタンとSTAND BYボタンを同時に押すと再度最適化を行い、EDIT/PLAYのたびに最適化します。 OPT. AUTO： 編集のたびに毎回IN点までのPLAY中に最適化を行い、他のメニューに移っても保持されます。 「トラッキングの自動調整」を参照。

* 1080/23p、1080/24p、1080/25p、720/59p フォーマット選択時は表示されません。(強制F1)

INSERT/ASSEMBLE MANUAL EDIT SET UP メニュー

キー	項目	機能
F11	CAP LOCK キャプスタンサーボ ロックの設定	再生時のキャプスタンサーボロックモードを選択します。 4F AUTO (<u>8F AUTO</u> : 1080/23p、1080/24p、1080/25p、 1080/50i、576/50i時) : カラーフレームオートロックモードになります。 再生中、カラーフレームに不連続が生じた場合、本機は再度新しいカラー フレームにロックします。 4F FORCE (<u>8F FORCE</u> : 1080/23p、1080/24p、1080/25p、 1080/50i、576/50i時) : カラーフレーム強制ロックモードになります。 再生中、カラーフレームに不連続が生じても、本機は最初にロックした フィールドの順序を保持します。 <u>2E</u> : フレームロックモードになります。 ・キャプスタンサーボロックモードはHOME SET UP メニューでも設定 できます。互いに異なった設定を行った場合、最後に設定したモードを 優先します。
F12	FD TIME* オーディオフィード 時間の設定	F13 キーが「X FADE」または「V FADE」のとき有効です。 設定できる時間は5、10、15、20、25、50、100ms。 (初期設定は5ms) 設定のしかたは「オーディオフィード時間の選択」(108 ページ) を参照。
F13	MODE* オーディオフィード 編集の設定	オーディオの編集を、先行再生音声と入力音声をクロスフェード、または V フェードさせながら編集することができます。 X FADE : オーディオクロスフェード編集が行えます。 <u>CUT</u> : カット編集 (通常の編集) になります。 V FADE : オーディオのVフェード編集になります。

* EDIT REC STATE がTAPE時は、CUTのみの選択になります。
ただし、Fキーと同時に押すとFADEを選択できますが、この場合EDIT REC STATE設定がEE1に切り替わります。

INSERT/ASSEMBLE MANUAL EDIT SET UP メニュー

EDIT REC INHIBIT モード表示

編集の禁止モードの状態を表示します。

HOME		CASSETTE	
FREE		FREE	
NRML REC		VID/CNTL	
PRE CTL		ALL	
ALL			
SOFTWARE			
VIDEO	CUE	TC	
CH1	CH2	CH3	CH4

・SOFTWARE

チャンネル別に選択された編集禁止モードを表示します。

「SOFTWARE の禁止チャンネル選択」を参照。

VIDEO : ビデオチャンネルの編集を禁止します。

CH1 ~ CH8 : デジタルオーディオチャンネルの編集を禁止し
(CH4) ます。

CUE : キューチャンネルの編集を禁止します。

TC : タイムコードチャンネルの編集を禁止します。

・HOME

HOME メニューの F13 (REC INH) キーで設定された記録禁止モードを表示します。

FREE : 記録可能です。

NRML REC : ノーマル記録モードが禁止されています。

PRE_CTL : ノーマル記録時において上書きを禁止します。

ALL : すべての記録・編集動作は禁止されています。

・CASSETTE

カセットテープ側で設定された記録禁止モードを表示します。

FREE : 記録可能です。

VID/CNTL : ビデオ、コントロール信号が禁止されています。

ALL : すべての記録・編集動作は禁止されています。

記録禁止モードの優先順位

禁止モードには優先順位があり、選択によっては記録できないこともあります。例えば、CASSETTE の「ALL」を選択していると、他のどのような設定にもかかわらず、編集ならびに記録はできません。

第 1 位 CASSETTE

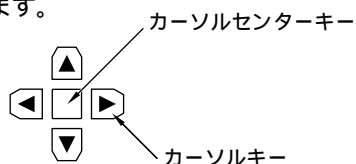
第 2 位 HOME

第 3 位 SOFTWARE

INSERT/ASSEMBLE MANUAL EDIT SET UP メニュー

SOFTWARE の禁止チャンネル選択

- (1) カーソルセンターキーを押します。
カーソルが表示されます。



- (2) カーソルキーを押して、編集を禁止し、チャンネルにカーソルを移動させます。

CH4

- (3) カーソルセンターキーを押します。
表示が反転すれば、編集禁止チャンネルの選択は完了です。
再度カーソルセンターキーを押すと編集禁止は解除されます。

CH4

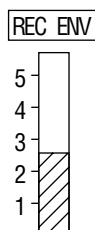
・一つでも編集禁止チャンネルがあると、アSEMBル編集を選択することはできません。

ご注意

- ・CASSETTE EDIT REC INHIBIT または HOME REC INHIBIT のどちらかでも「ALL」または「PRE_CTL」に設定されている場合は、すべての記録編集動作が禁止されます。
- ・CASSETTE EDIT REC INHIBIT が「VIDEO/CNTL」に設定されている場合は、VIDEO チャンネルは常に編集禁止になります。

REC ENV 表示

再生時に回転記録ヘッドから再生される RF エンベロープレベルを表示します。



INSERT/ASSEMBLE MANUAL EDIT SET UP メニュー

トラッキング

- ・トラッキングの自動調整 (オプティマイズ)

トラッキングを自動で最適化するには

F10 (TRACKING) キーを押して「OPT ONCE」または「OPT AUTO」を選択します。

プリロール時間は 5 秒以上に設定してください。

- ・「OPT ONCE」は、カセット挿入後、最初の編集で IN 点までの PLAY 中に 1 回だけ最適化を行います。それ以後は最適化を行わず、値は固定されます。
- ・「OPT AUTO」は、編集のたびに IN 点までの PLAY 中に最適化を行います。

ご注意

- ・「OPT ONCE」は下記のような連続編集をされる場合に適しています。(このような編集の時に、「OPT AUTO」を設定されると、トラッキング誤差が蓄積される可能性があります。)

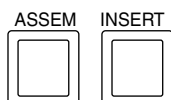
ベース	編集 ①	編集 ②	編集 ③	ベース
-----	------	------	------	-----

- ・「OPT AUTO」は下記のような間欠編集をされる場合に適しています。

ベース	編集 ①	ベース	編集 ②	ベース
-----	------	-----	------	-----

- ・「OPT ONCE」で再度、最適化を行う場合は以下の手順で行ってください。

- (1) INSERT または ASSEMBLE ボタンを押して、F9 キーをハイライトにし、編集モードにします。
INSERT または ASSEMBLE の LED が点灯していることを確認してください。



- (2) PLAY ボタンを押して PLAY モード (EDIT PLAY) にします。

- (3) 「PLAY」 + 「STAND BY」を同時に押すと、オプティマイズを実行します。

ご注意

- (1) オプティマイズ化されたトラッキング値は、他のメニューに移っても保持されています。
- (2) オプティマイズ実行中は以下のメッセージが表示され、トラッキングの値を示すマークが処理の過程を示します。

OPTIMIZING

オプティマイズの処理が完了すると以下のメッセージが表示され、INSERT/ASSEMBLE MANUAL EDIT、HOME メニューの画面に「TRACK OPT」が表示されます。

COMPLETE

INSERT/ASSEMBLE MANUAL EDIT SET UP メニュー

- (3) 次のような場合は、以下のメッセージが表示され
最適化を中止します。
- ・最適化の途中でPLAYモード以外のモードにした場合
 - ・最適化処理が失敗した場合
 - ・テープにVIDEO信号が記録されていない場合
 - ・テープにCTL信号が記録されていない場合

NOT COMPLETE

この時、トラッキング値はセンター値(0)になります。

- (4) 最適化の処理が5秒以上経過しても完了しない場合は、以下のメッセージが表示され最適化を中止します。

TIME OVER

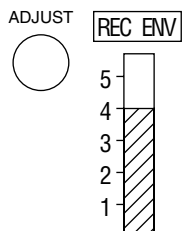
- (5) カセットをEJECTすると最適化値はキャンセルされます。

トラッキングの手動調整

- (1) テープを入れて、再生します。
- (2) F10 (TRACKING) キーを押して「VAR」にします。

TRACKING
VAR

- (3) ADJUST VR を回し、エンベレベルが一番高くなるように調整します。



INSERT/ASSEMBLE MANUAL EDIT SET UP メニュー

オーディオフード時間の選択

(1) F13 (MODE) キーを押して「X FADE」または「V FADE」にします。

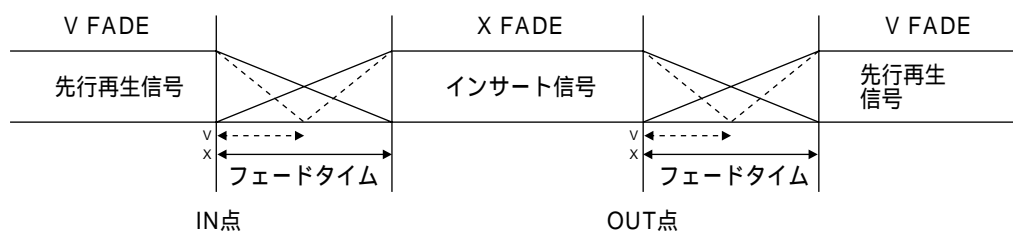
MODE
X FADE

(2) F12 (FD TIME) キーを押します。

FD TIME
10

(3) ADJUST VR を回してオーディオフード時間を選択します。

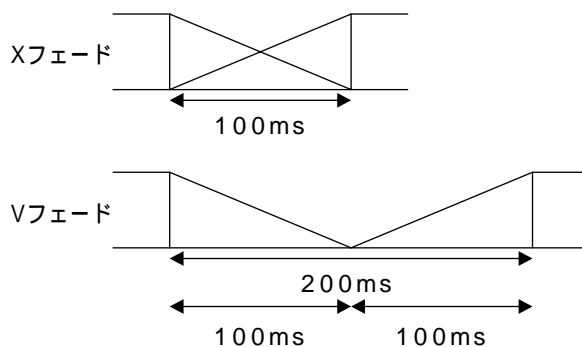
ADJUST
25



実線はXフェード
破線はVフェード

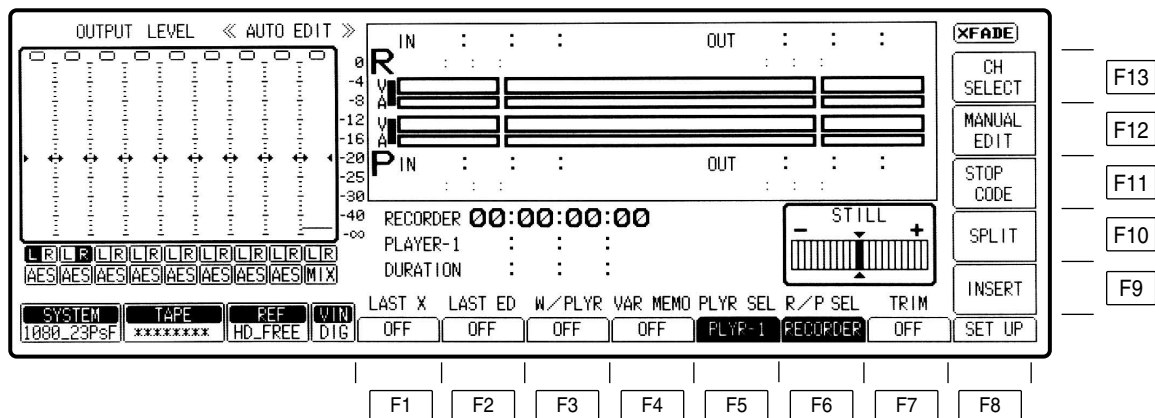
<ノート>

V フェード時間はFD_TIME の設定時間の倍になります。
例えば、FD_TIME を 100ms に設定する場合



INSERT/ASSEMBLE AUTO EDIT メニュー

ASSEM または INSERT F12 キーを押して「AUTO EDIT」メニューにします。



INSERT/ASSEMBLE AUTO EDIT メニュー

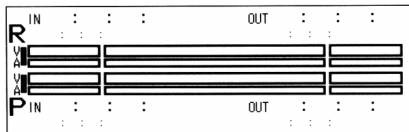
キー	項目	機能
F1	LAST X 最後に入力した編集データの呼び出し	F1 キーを押すと「LOAD」と表示され、最後に入力した編集データを呼び出します。
F2	LAST ED 最後に編集した全データの呼び出し	F2 キーを押すと「LOAD」と表示され、最後に編集した全データを呼び出します。
F3	W/PLYR 接続 VTR のリモートコントロール ON/OFF	RS-422A で接続している VTR をリモートコントロールします。 ON : リモートコントロールが可能です。 OFF : 本機の単独操作になります。 ・このページの F5 (PLYR SEL) キーも参照してください。
F4	VAR MEMO バリエابلメモリー	サーチダイヤルの操作による再生速度・方向をメモリして、自動編集時にその内容を再現させることができます。(自機による再現と接続した再生機をコントロールする場合があります。) ON : バリエابلメモリー機能の使用可能。 OFF : バリエابلメモリー機能の使用不可。
F5	PLYR SEL リモートコントロールする再生機を選択	<u>PLYR-1</u> : REMOTE OUT 端子に接続した VTR をコントロールします。 <u>PLYR-2</u> : REMOTE IN/OUT 端子に接続した VTR をコントロールします。
F6	R/P SEL 操作する VTR の選択	<u>PLAYER</u> : F5 (PLYR SEL) キーで選択されたプレーヤをリモートコントロールします。 <u>RECORDER</u> : 本機 (レコーダ) のみをコントロールします。
F7	TRIM 編集点のフレーム修正	ON : 登録した編集点をフレーム単位で修正します。「トリム操作」を参照。 OFF : トリム機能を解除します。
F8	SET UP	AUTO EDIT SET UP メニューに移行します。
F9	INSERT (または ASSEMBLE) 編集モードの ON/OFF	編集モードを選択します。 ON : 編集モードを ON にします。 OFF : 編集モードを OFF にします。
F10	SPLIT スプリット編集 ON/OFF	インサート編集時、オーディオとビデオの編集点を個々に登録する機能です。 ON : スプリット編集を行います。 OFF : スプリット編集を解除します。 (詳しくはハードウェア取扱説明書の 42、43 ページを参照してください。)
F11	STOP CODE*	INSERT AUTO STOP CODE メニューに移行します。(インサート編集モードのみ)
F12	MANUAL EDIT	MANUAL EDIT メニューに移行します。
F13	CH SELECT 編集チャンネルの選択	INSERT AUTO EDIT CH SELECT (編集チャンネル選択) メニューに移行します。(インサート編集モードのみ)

* 1080/59.94i、525/59.94i、720/59.94p フォーマット選択時のみ設定可能です。(日本国内モデルのみ表示)

INSERT/ASSEMBLE AUTO EDIT メニュー

テープ位置インジケータ

レコーダとプレーヤの編集点 (IN/OUT) とテープ位置を表示します。



- ・ EOT (End Of Tape) と BOT (Beginning Of Tape) はテープが始端 (BOT) と終端 (EOT) にあるときに表示されます。
- ・ スプリット編集時はオーディオとビデオの編集点が別々に表示されます。

デュレーション

RECORDER 00:00:00:00
PLAYER-1 : : :
DURATION : : :

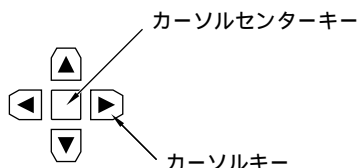
デュレーションが分かっているときは、レコーダとプレーヤの編集点は IN または OUT だけを登録すれば自動的に残りは計算されます。

- (レコーダのタイムコード読み取り値)
- (プレーヤのタイムコード読み取り値)
- (編集される時間)

編集点の登録

(1) 数字キーでダイレクトに入力します。

- 1) カーソルセンターキーを押します。
カーソルがあらわれます。



- 2) カーソルキーを押して、カーソルをデータの入力位置に移動させます。
(図ではプレーヤの IN 点)

IN : : :

P

- 3) カーソルセンターキーを押します。
カーソルは桁カーソルに変わります。

IN 0 : : :

P

- 4) 数字キーで編集点を入力します。

0 0 0 0 3 4 1 4

- 5) ENT キーを押します。

同じようにして、レコーダとプレーヤの IN と OUT 点を登録します。

- ・ 編集点はレコーダとプレーヤの 3 点を登録します。
(デュレーションの項参照)

- ・ データを取り消す場合は：取り消す位置にカーソルを移動し、カーソルセンターキーを押すと桁カーソルになります。C キーを押すと登録点が削除できます。

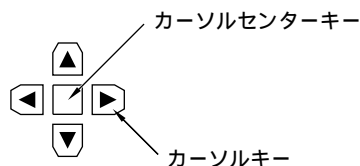
INSERT/ASSEMBLE AUTO EDIT メニュー

(2) サーチダイヤルで編集点を探します。

- 1) サーチダイヤルで編集点を探します。
- 2) ENTRY ボタンを押します。

・トリム操作

(1) カーソルセンターキーを押します。
カーソルがあらわれます。

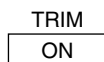


(2) カーソルキーを押して、カーソルを訂正したいデータ部分に移動させます。

IN 00:00:02:14

R

(3) F7 (TRIM) キーを「ON」にします。



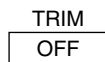
(4) 再度カーソルセンターキーを押して桁カーソルにします。

(5) +、- ボタンを押して、フレーム単位で訂正します。

を一回押すごとに + 1 されます。

を押し続けると自動的に加算され続けます。

(6) F7 (TRIM) キーを押して「OFF」にします。



IN 00:00:02:16

R

ご注意

再生 (プレーヤ) 機 / 編集機 (レコーダ) の編集において各編集点を登録すると、最終編集点 (4 点目) は他の編集点から自動演算され、仮想編集点として登録されます。

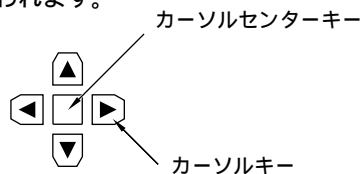
- ・仮想編集点表示の横には「*」マークが表示されます。
- ・仮想編集点をクリアする場合は、他の編集点をクリアすることにより、自動的にクリアされます。

INSERT/ASSEMBLE AUTO EDIT メニュー

スクラッチパッドレジスタで入力します。

- 1) カーソルセンターキーを押します。

カーソルがあらわれます。



- 2) カーソルキーを押して、カーソルを入力させたいタイムコードの IN、OUT 位置に移動させます。

- 3) FROM キーを押します。

カーソル位置のタイムコードをレジスタ内に表示します。

SPR DATA

00 : 14 : 03 : 05

- 4) +、-、数字キーと ENT キーを押して加減算します。

レジスタ内に演算結果を表示します。

- 5) 演算結果をコピーさせたいカーソル位置 (IN または OUT) にカーソルキーを押して、カーソルを移動させます。

- 6) COPY キーを押します。

変更した編集点のタイムコードが表示されます。

- ・ 4) の加減算に不合理な数字を入力した場合は、エラーメッセージが表示されます。

ERROR INVALID TC DATA

- ・ COPY キーを押すまでは訂正は可能です。

- ・ 最後に入力した編集データの呼び出し

- (1) カーソルセンターキーを押します。

カーソルがあらわれます。

- (2) カーソルキーを押して、カーソルを呼び出したいデータ部分に移動させます。

- (3) F1 (LAST X) キーを押して「LOAD」にします。

最後に入力したデータがあらわれます。

IN 00:00:02:16

- ・ 最後に編集した全データの呼び出し

- (1) F2 (LAST ED) キーを押して「LOAD」にします。

最後に編集した全データがあらわれます。

INSERT/ASSEMBLE AUTO EDIT メニュー

バリエブルメモリー機能

1. F3 (W/PLYR) キーを「OFF」に設定します。

W/PLYR
OFF

2. F4 (VAR MEMO) キーを「ON」にします。

VAR MEMO
ON

- ・既にIN、OUT 点が登録されている場合は、IN、OUT 点は自動的にクリアされます。
- ・スピリットモードが「ON」の場合は、強制的に「OFF」になります。
- ・バリエブルメモリー機能を使用するときは、AUDIO IN/OUT 点の登録はできません。

3. 本機の編集 IN 点を入力します。

バリエブルメモリー再生開始点になります。

- ・バリエブルメモリー再生では、OUT 点の設定は不要です。

4. サーチダイヤルで初速度を設定します。

初速度はサーチインジケータに表示されます。

5. PREROLL と EXECUTE ボタンを同時に押して、操作を開始します。

テープは、プリロール点まで走行し、初速度で再生が開始されます。

6. 編集 IN 点を通過すると、EXECUTE ボタンが点滅を開始します。

7. サーチダイヤルを回して、テープの速度を記憶します。

- ・ EXECUTE ボタンが点滅している間は、メモリーが可能です。
メモリー容量がいっぱいになると、EXECUTE ボタンが点灯し、それ以上の記憶はできません。
- ・初速度、メモリー内容を変更する時は、再度ステップ 4 より実行してください。

8. バリエブルメモリーを終了する時は、STOP ボタンを押します。

9. メモリー内容を再生する時は、EXECUTE ボタンを押すと、メモリー内容を再現します。

IN 点通過からメモリー内容で再生し、メモリー内容の最後のスピードで STOP ボタンを押すまで走行します。

メモリーされた内容は、F4 (VAR MEMO) ボタンを「OFF」から「ON」にすると消えます。

また、電源スイッチを「OFF」にするとメモリーは消えます。

INSERT/ASSEMBLE AUTO EDIT メニュー

バリアブルメモリー編集

本機の RS-422A REMOTE OUT、REMOTE IN/OUT 端子に接続されている VTR サーチダイヤルの操作により再生速度・方向をメモリーして、自動編集時にその内容を再現させ、本機（レコーダ）に記憶することができます。

- 1.F3 (W/PLYR) キーを「ON」に設定します。

W/PLYR
ON

REMOTE OUT 端子に接続されている VTR をリモートコントロールする場合は、ASSEMBLE/INSERT AUTO EDIT メニュー F5 (PLYR SEL) を PLAY-1 に設定します。
REMOTE IN/OUT 端子に接続されている VTR をリモートコントロールする場合は、ASSEMBLE/INSERT AUTO EDIT メニュー F5 (PLYR SEL) を PLAY-2 に設定します。

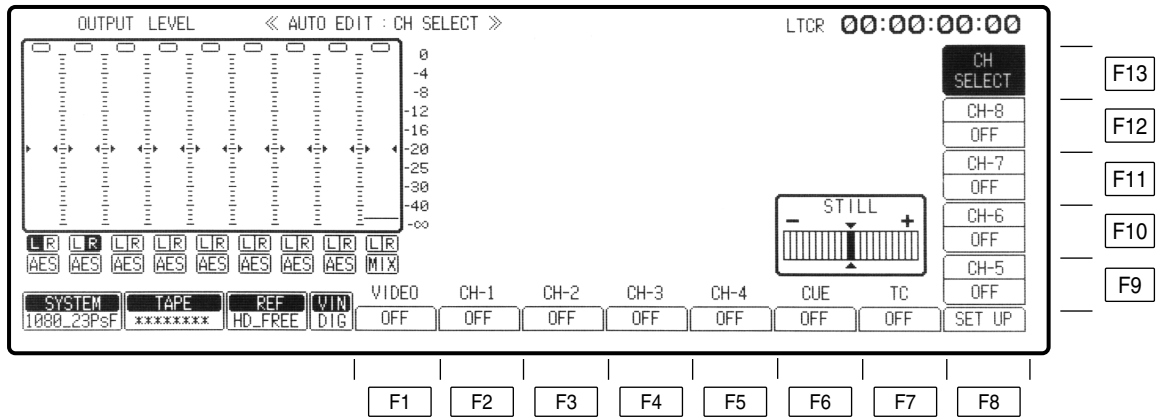
- 2.F4 (VAR MEMO) キーを「ON」にします。

VAR MEMO
ON

- 3.RECORDER の VIDEO の IN 点、OUT 点と PLAYER の IN 点を登録します。
- 4.F6 (R/P SEL) キーで PLAYER を選択し、サーチダイヤルで初速度を設定します。
初速度はサーチインジケータに表示されます。
- 5.PREVIEW ボタンを押します。
テープは、プリロール点まで走行し、初速度で再生が開始されます。
- 6.編集 IN 点を通過すると、EXECUTE ボタンが点滅します。
- 7.RECORDER 側のサーチダイヤルで RECORDER の OUT 点まで速度を記憶させます。
RECORDER の OUT 点まで EXECUTE ボタンが点滅している間は、メモリーが可能です。
メモリー容量が一杯になると、EXECUTE ボタンが点灯し、それ以上の記憶はできません。
- 8.メモリー内容をプレビューするときは、PREVIEW/REVIEW ボタンを押すと、メモリー内容を再現します。
調相は行いません。編集タイミングの調整は INSERT/ASSEMBLE AUTO EDIT SET UP メニューの F9 (DLY_STRT) キーで調整してください。
- 9.プレビュー中にメモリーされた内容を変更するときは、サーチダイヤルを操作すると、EXECUTE ボタンが点滅し、その内容が記憶されます。
- 10.メモリーされた初速度を変更するときは、STOP ボタンを押します。
F6 (R/P SEL) キーを「PLAYER」にして STOP ボタンを押しながら、サーチダイヤルで初速度を設定してください。初速度を変更した場合は、メモリー内容はクリアされますので、ステップ 5 より再度操作してください。
- 11.バリアブルメモリー自動編集をするときは、REC/EDIT ボタンを押します。メモリー内容で PLAYER を再生し本機（レコーダ）に記録します。
- 12.レビューしたい場合は、REC/EDIT ボタンを押して、編集終了後に、PREVIEW/REVIEW ボタンを押すと、レビューします。
 - ・メモリーされた内容は F10 (VAR MEMO) キーを「OFF」から「ON」にすると消えます。
 - ・電源スイッチを「OFF」にすると、メモリーは消えます。

INSERT AUTO EDIT CH SELECT メニュー

INSERT **F12** **F13** キーを押すとメニューが出ます。

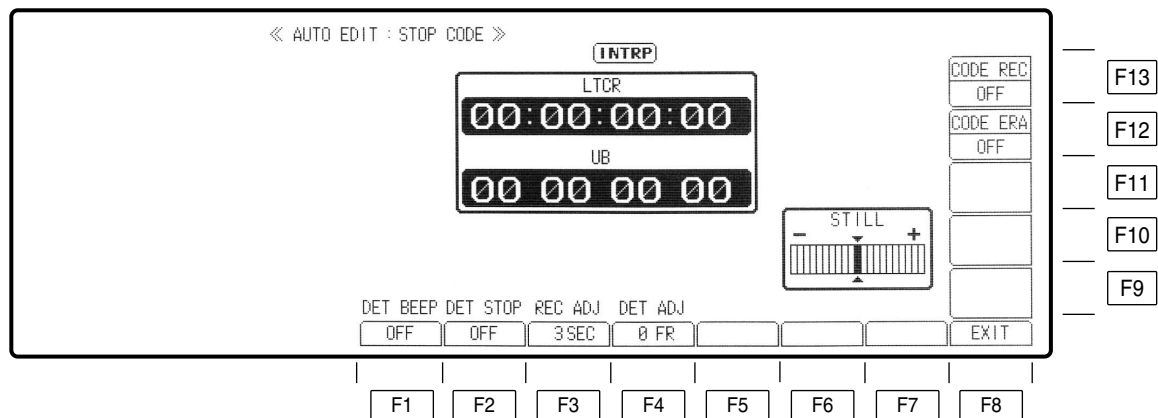


INSERT AUTO EDIT CH SELECT メニュー

キー	項目	機能
F1	VIDEO ビデオチャンネルの ON/OFF	
F2	CH-1 オーディオチャンネル CH1 の ON/OFF	
F3	CH-2 オーディオチャンネル CH2 の ON/OFF	編集チャンネルの選択 インサート編集時のみ有効です。
F4	CH-3 オーディオチャンネル CH3 の ON/OFF	ON : 編集チャンネルとして選択されます。 OFF : 編集チャンネルとして選択されません。
F5	CH-4 オーディオチャンネル CH4 の ON/OFF	・デジタルオーディオチャンネルのみ選択してインサート編集する場合でも、必ず安定した入力ビデオ信号を接続しておいてください。 入力ビデオ信号が乱れると、音声が正常に記録されない場合があります。
F6	CUE アナログキューチャン ネルの ON/OFF	
F7	TC LTCタイムコード チャンネルの ON/OFF	
F8	SET UP	AUTO EDIT SET UP メニューに移行します。
F9	CH-5 オーディオチャンネル CH5 の ON/OFF	編集チャンネルの選択
F10	CH-6 オーディオチャンネル CH6 の ON/OFF	インサート編集時のみ有効です。 ON : 編集チャンネルとして選択されます。 OFF : 編集チャンネルとして選択されません。
F11	CH-7 オーディオチャンネル CH7 の ON/OFF	・デジタルオーディオチャンネルのみ選択してインサート編集する場合でも、必ず安定した入力ビデオ信号を接続しておいてください。
F12	CH-8 オーディオチャンネル CH8 の ON/OFF	入力ビデオ信号が乱れると、音声が正常に記録されない場合があります。
F13	CH SELECT	INSERT AUTO EDIT メニューに移行します。

INSERT AUTO EDIT STOP CODE メニュー

INSERT **F12** キーを押して「AUTO EDIT」メニューにし、**F11** キーを押すとメニューが出ます。



キー	項目	機能
F1	DET BEEP ブザー音の選択	STOP CODE を検出したときのブザー音を選択します。 ON : ブザー音を鳴らします。 OFF : ブザー音を鳴らしません。
F2	DET STOP 動作の検出	STOP CODE 検出後の VTR の動作を選択します。 ON : VTR は停止します。 OFF : VTR は動作を継続します。
F3	REC ADJ 記録位置の設定	SOM 点から何秒前に STOP CODE を記録するかを設定します。 1 SEC、2 SEC、 <u>3 SEC</u> 、4 SEC、5 SEC から選択します。
F4	DET ADJ 停止位置の設定	STOP CODE を検出した時、テープ走行を停止する位置を、通常の停止位置から SOM 点に近づく方向に 0 ~ 30 フレームの範囲でフレーム単位で設定します。
F5 ~ F7		
F8	EXIT	INSERT AUTO EDIT メニューに移行します。
F9 ~ F11		
F12	CODE ERA 消去モードの選択	STOP CODE を消去するかどうかを選択します。 ON : STOP CODE を消去します。 OFF : STOP CODE を消去しません。
F13	CODE REC 記録モードの選択	STOP CODE を記録するかどうかを選択します。 ON : STOP CODE を記録します。 OFF : STOP CODE を記録しません。

* STOP CODE は 1080/59.94i、525/59.94i、720/59.94p フォーマット選択時のみ設定可能です。

INSERT AUTO EDIT STOP CODE メニュー

AUTO_EDIT メニューの F11 (STOP CODE) キーを押すと AUTO_EDIT_STOP_CODE メニューに移行します。
(通常の編集はできなくなりますのでご注意ください。)

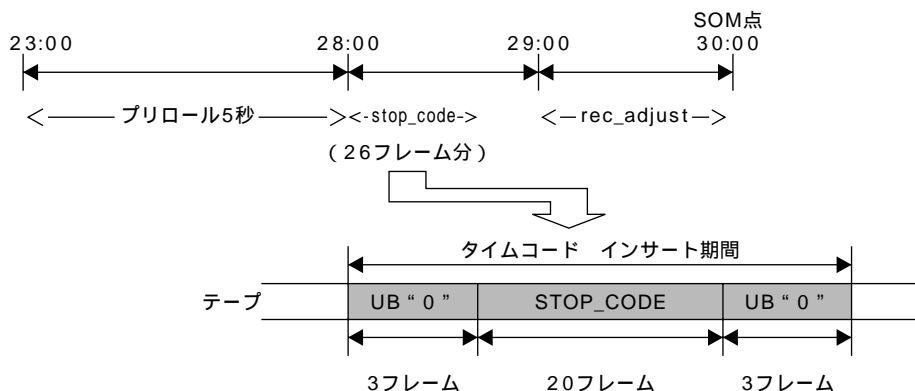
1. ストップコードの記録

PLAY、JOG モードなどで SOM 点を頭出しし、F13 (CODE REC) キーを押して ON に設定した後、REC/EDIT ボタンを押します。

REC/EDIT ボタンを押したところを SOM 点として、F3 (REC_ADJ) 時間 + 6 秒前にプリロールしてから記録動作を始め、下図のようにユーザビット “ 0 ” ストップコードを記録してから VTR は自動停止します。

(REC INHIBIT 状態では、本動作は実行されませんのでご注意ください。)

PQ_REC の動作説明 (REC_ADJ を 1 秒に設定した場合)



注) STOP コードについてはリニア系トラックに書き込む関係上、前後の UB “ 0 ” は、のりしろ部分となります。

ストップコード記録動作中は REC/EDIT ボタンが点滅または点灯します。動作を途中で止めるには STOP ボタンを押します。

記録開始位置を指定するには F3 (REC_ADJ) [1、2、3、4、5sec (下線は DEFAULT 設定)] キーを押して、SOM 点の何秒前からストップコードを記録するかを設定します。

[実際の記録開始位置は、SOM 点から REC_ADJ 時間 + 1 秒の位置 (上図の 28:00) から開始します。]

ストップコードの記録確認

記録を確認するには PREVIEW/REVIEW ボタンを押します。

ストップコード記録開始位置の 5 秒前にプリロールし、再生を開始します。

ストップコードが正常に検出された場合には、F2 (DET_STOP) [OFF、ON (下線は DEFAULT 設定)] キーの設定にかかわらず確認音が 1 秒鳴り、F4 (DET_AJD) [0 ~ 30 FRAME (下線は DEFAULT 設定)] キーの設定にしたがって停止します。

ストップコードの記録点を通り過ぎても停止しない場合は、改めて記録操作を行ってください。

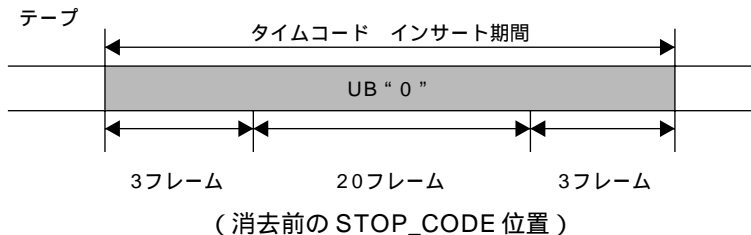
(PREVIEW/REVIEW ボタンを押して記録を確認する場合は AUTO_EDIT : STOP_CODE メニューのみ有効です。)

INSERT AUTO EDIT STOP CODE メニュー

2. ストップコードの消去

「ストップコード検出による停止」モードで消去したいストップコードで停止させ、F12 (CODE ERA) キーを押してONに設定し、REC/EDIT ボタンを押します。

VTRはストップコード記録点の5秒前にプリロールしてから消去動作を始め、下図のようにユーザビット“0”を記録してから自動停止します。



ストップコード記録動作中はREC/EDIT ボタンが点滅または点灯します。

動作を途中で止めるにはSTOP ボタンを押します。

ストップコードの消去確認

PREVIEW/REVIEW ボタンを押します。VTRは記録点の5秒前にプリロールし、再生を開始します。ストップコードが記録されていた点で停止する場合には、改めて消去操作を行ってください。

(PREVIEW/REVIEW ボタンでの記録確認は、AUTO_EDIT_STOP_CODE メニュー時のみ有効です。また、消去後のPREVIEW/REVIEW ボタンでの確認では、STOP_CODEを検出するまでPLAY動作を継続しますのでSTOP_CODEの消去確認後はSTOP ボタンを押してVTRを停止させてください。)

INSERT AUTO EDIT STOP CODE メニュー

3. ストップコードの検出 (F1、F2 キー)

ストップコードが書き込んだテープを再生する時、F1 (DET_BEEP)、F2 (DET_STOP) キーの設定によって下記の動作になります。

F1 : DET_BEEP	F2 : DET_STOP	ストップコード検出時の VTR の動作
OFF	OFF	何もしません。
OFF	ON	停止します。(NORMAL_PLAYのみ)
ON	OFF	1 秒間ブザーがなります。
ON	ON	停止する (NORMAL PLAY) と同時に 1 秒間ブザーが鳴ります。

INSERT/ASSEMBLE AUTO EDIT SET UP メニュー

ASSEM (または **INSERT**) を押して「AUTO EDIT」メニューにし、**F8** キーを押すとメニューが出ます。

または

SET UP **F2** キーを押すとメニューが出ます。

The screenshot shows the 'AUTO EDIT : SET UP' menu interface. At the top, it displays 'OUTPUT LEVEL' and 'E.TC 00:00:00:00'. The main area contains several sections: 'HOME' with buttons for FREE, NRML REC, PRE CTL, and ALL; 'CASSETTE' with buttons for FREE, VID/CNTL, and ALL; 'SOFTWARE' with buttons for VIDEO, CUE, TC, CH1, CH2, CH3, and CH4; 'TRACKING' with a horizontal bar and a 'STILL' meter; and a right-hand column of buttons including MODE (XFADE), FD TIME (5 mS), CAP LOCK (2F), TRACKING (OPT. ONCE), DLY STRT (0FR), and EXIT. At the bottom, there are 'TIMING' buttons for V PREV, A PREV, PLR SYNC, PREROLL, POSTROLL, and REACTION, along with 'SYSTEM' (1080_59I), 'TAPE' (*****), 'REF' (HD_FREE), and 'WIN' (DIG) buttons. Below the interface, function keys F1 through F8 are shown, with F13, F12, F11, F10, and F9 also indicated on the right side of the screen.

INSERT/ASSEMBLE AUTO EDIT SET UP メニュー

キー	項目	機能
F1	TIMING* ¹ 編集タイミングの設定	<p>編集 IN 点および OUT 点での記録フィールドのタイミングを設定します。 F キーと F1 キーを同時に押すと設定できます。</p> <p><u>F1</u> : IN 点の奇数フィールドから編集を開始し、OUT 点 1 フレーム前の偶数フィールドを記録して編集を終了します。</p> <p><u>F2</u> : IN 点の偶数フィールドから編集を開始し、OUT 点の奇数フィールドを記録して編集を終了します。</p> <p><u>F1/F2</u> : 編集 IN 点および OUT 点のフィールドは編集コマンドの出るタイミングによって決定されます。 編集タイミングが偶数フィールドで出れば、奇数フィールドで終了し、奇数フィールドで出れば、偶数フィールドで終了します。 ただし、本機単独で MANUAL EDIT を行う場合は強制的に F1 になります。互いに異なった選択をした場合、最後の選択が優先されますのでご注意ください。</p> <p>・TIMING の設定は MANUAL SET UP メニューの F1 (TIMING) キーでも行えます。</p>
F2	V PREV ビデオプレビュー	<p>プレビュー中のデュレーション (IN 点と OUT 点の間) 間のビデオ信号を選択します。</p> <p><u>VVV</u> : ビデオ入力信号をモニタします。 <u>VBV</u> : ブラック信号をモニタします。</p>
F3	A PREV オーディオプレビュー	<p>プレビュー中のデュレーション (IN 点と OUT 点の間) 間のオーディオ信号を選択します。</p> <p><u>SSS</u> : オーディオ入力信号をモニタします。 <u>SMS</u> : ミュート音をモニタします。</p>
F4	PLR SYNC プレーヤシンク	<p>VTR 対 VTR の編集で、調相機能を働かせ、編集精度を ± 0 (TC 選択時) にするかどうかを選択します。</p> <p><u>ON</u> : 調相機能を働かせ、編集精度を ± 0 (TC 選択時) とします。ただし、CF モードでの編集で、CF が合わない時、プレーヤーの IN 点は強制的に + 1 ~ + 3 (8F 設定時) します。</p> <p><u>OFF</u> : 調相機能は働きません。</p>
F5	PREROLL プリロールタイムの選択	<p>秒単位でプリロールタイムを設定します。 0 ~ 30 秒の範囲で選択が可能です。(初期設定は 5 秒)</p>
F6	POSTROLL ポストロールタイムの選択	<p>秒単位でポストロールタイムを設定します。 0 ~ 30 秒の範囲で選択が可能です。(初期設定は 2 秒)</p>
F7	REACTION タイムラグによる 時間補正	<p>ENTRY ボタンを押してから実際の動作までのリアクションタイムを補正します。 補正範囲は 0 フレームから 30 フレーム*²まで 1 フレーム単位で行えます。 (初期設定は 0 フレーム)</p> <p>・ENTRY ボタンで編集点を設定したとき、ボタンを押した瞬間からリアクションタイムを引いた値が編集点になります。</p> <p>操作</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. F7 (REACTION) キーを押します。 2. ADJUST VR で調整します。 3. F7 キーを押します。

*¹ 1080/23p、1080/24p、1080/25p、720/59p フォーマット選択時は表示されません。(強制 F1)

*² フォーマットにより異なります。

INSERT/ASSEMBLE AUTO EDIT SET UP メニュー

キー	項目	機能
F8	EXIT	AUTO EDIT メニューに戻ります。
F9	DLY STRT 再生立ち上がり ディレイスタート	再生コマンドを出してから実際の動作までのタイミングをフレーム単位で設定します。(他のサーボリファレンスの異なる VTR との同期を取りやすくするために使用します。) 設定範囲は ± 30 フレーム * ¹ まで 1 フレーム単位で行えます。(初期設定は 0 フレーム) (- は早くなり、LOCAL 時プリロール時間を補正し実現します。 + は遅れを表し、REMOTE 時、LOCAL 時とも動作します。)
F10	TRACKING トラッキング調整	通常時のトラッキング調整は不必要。編集時にトラッキングずれが起こった場合に調整します。 VAR : 手でトラッキングを調整します。 「トラッキングの手動調整」(107 ページ) を参照。 FIX : トラッキングを固定します。 OPT. ONCE : カセット挿入後、最初の編集で、IN 点までの PLAY 中に最適化を行います。それ以後は最適化は行いません。再度最適化を行うこともできます。「トラッキングの自動調整」(106 ページ) を参照。また EDIT/PLAY 中に PLAY ボタンと STAND BY ボタンを同時に押すと再度最適化を行い、EDIT/PLAY のたびに最適化します。 OPT. AUTO : 編集のたびに毎回 IN 点までの PLAY 中に最適化を行い、他のメニューに移っても保持されます。「トラッキングの自動調整」(106 ページ) を参照。
F11	CAP LOCK キャプスタンサーボ ロックの設定	再生時のキャプスタンサーボロックモードを選択します。 4F AUTO (8F AUTO : 1080/23p、1080/24p、1080/25p、1080/50i 時、576/50i) : カラーフレームオートロックモードになります。再生中、カラーフレームに不連続が生じた場合、本機は再度新しいカラーフレームにロックします。 4F FORCE (8F FORCE : 1080/23p、1080/24p、1080/25p、1080/50i 時、576/50i) : カラーフレーム強制ロックモードになります。再生中、カラーフレームに不連続が生じても、本機は最初にロックしたフィールドの順序を保ちます。 2F : フレームロックモードになります。 ・キャプスタンサーボロックは HOME SET UP メニューでも設定できます。両方の設定が異なる場合は、最後に設定したモードを優先します。
F12	FD TIME* ² オーディオフィード 時間の設定	F13 キーが「X FADE」または「V FADE」のとき有効です。 設定できる時間は 5、10、15、20、25、50、100ms。 (初期設定は 5ms) 設定のしかたは「オーディオフィード時間の設定」(108 ページ) を参照。
F13	MODE* ² オーディオフィード 編集の設定	オーディオの編集を、先行再生音声と入力音声をクロスフェード、または V フェードさせながら編集することができます。 X FADE : オーディオクロスフェード編集が行えます。 CUT : カット編集 (通常の編集) になります。 V FADE : オーディオの V フェード編集になります。

*¹ フォーマットにより異なります。

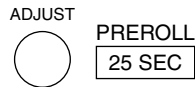
*² EDIT REC STATE が TAPE 時は、CUT のみの選択となります。

ただし、F キーと同時に押すと FADE を選択できますが、この場合 EDIT REC STATE 設定が EE1 に切り替わります。

INSERT/ASSEMBLE AUTO EDIT SET UP メニュー

プリロールタイムの選択

- (1) F5 (PREROLL) キーを押します。
- (2) ADJUST VR で設定します。
最大 30 秒まで選択可能。



- (3) F5 キーを押します。
- ・ HOME SET UP メニューのプリロールタイム設定と異なる場合は、最後に選択したプリロールタイムを優先します。

DLY STRT の設定

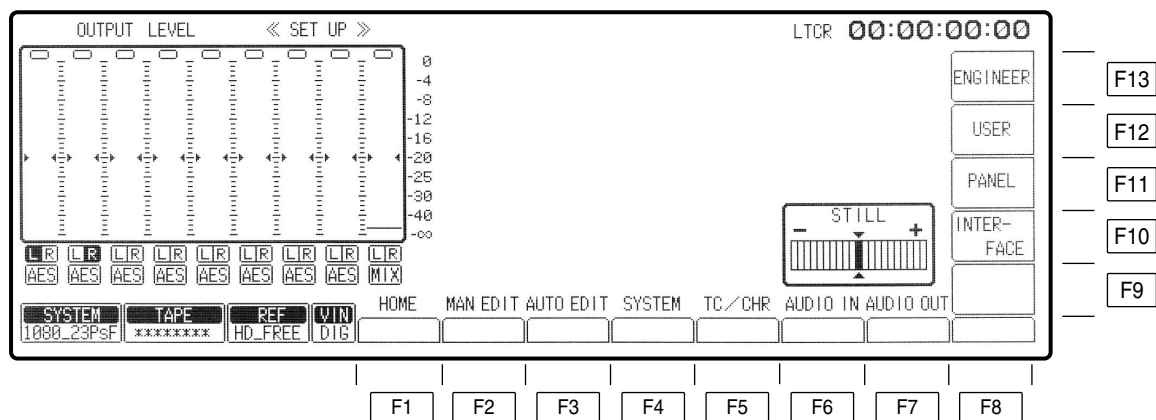
- (1) F9 (DLY STRT) キーを押します。
 - (2) ADJUST VR で設定します。
 - (3) F9 キーを押します。
- ・他の VTR との立ち上がりタイミングが異なる場合、同期をとるときに設定します。
 - ・本機を VTR 対 VTR のマスター機 (レコーダ) として使用する場合は + または - 方向の調整が可能です。リモートモード (コントローラ接続時または VTR 対 VTR でのプレーヤ側) で使用するときは + 方向 (遅らす方向) のみ可能です。

EDIT REC INHIBIT の設定

INSERT/ASSEMBLE MANUAL EDIT SET UP メニュー (104 ページ) と同じです。

SET UP メニュー

SET UP キーを押すとメニューが出ます。



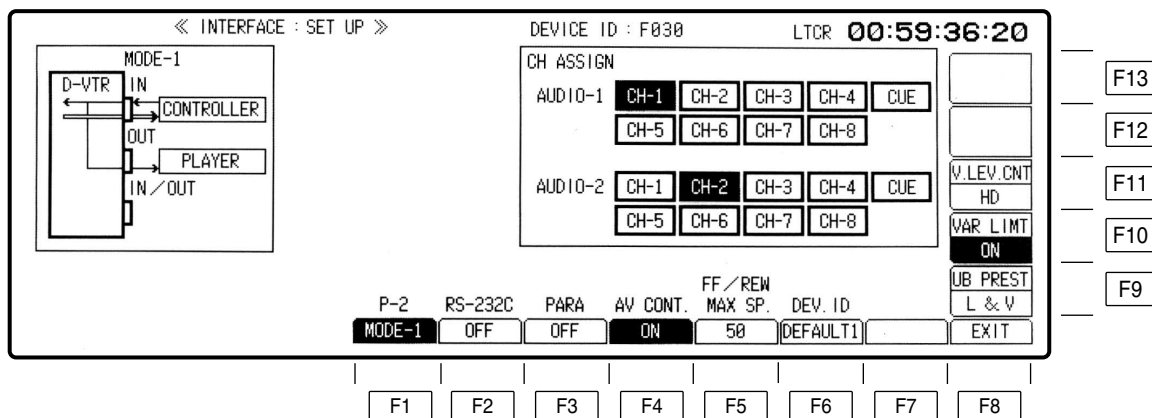
キー	項目	機能
F1	HOME	HOME SET UP メニューへ移行します。
F2	MAN EDIT	ASSEMBLE(またはINSERT)MANUAL EDIT SET UP メニューへ移行します。
F3	AUTO EDIT	ASSEMBLE(またはINSERT)AUTO EDIT SET UP メニューへ移行します。
F4	SYSTEM	SYSTEM SET UP メニューへ移行します。
F5	TC/CHR	TC/CHR SET UP メニューへ移行します。
F6	AUDIO IN	AUDIO IN SET UP メニューへ移行します。
F7	AUDIO OUT	AUDIO OUT SET UP メニューへ移行します。
F8 ~ F9		
F10	INTERFACE	INTERFACE SET UP メニューへ移行します。
F11	PANEL	PANEL SET UP メニューへ移行します。
F12	USER	USER SET UP メニューへ移行します。
F13	ENGINEER*	ENGINEER SET UP メニューへ移行します。

* F キーと F13 キーを同時に押すと ENGINEER メニューが表示されます。

INTERFACE SET UP メニュー

SET UP

F10 キーを押すとメニューが出ます。



INTERFACE SET UP メニュー

キー	項目	機能
F1	P-2 RS-422A コントロールモード の設定	RS-422A REMOTE 端子に接続された機器をリモートコントロールするとき、システムの構成によって 4 種類のモードを選択することができます。各モードの信号の流れはメニューに表示されます。「モードと端子の関係表」(130 ページ) 参照。 <u>MODE-1</u> : REMOTE OUT、REMOTE IN/OUT 端子の接続 VTR をコントロールします。 <u>MODE-2</u> : 本機と同じモードで、2 台以上の VTR をコントロールします。 <u>MODE-3</u> : REMOTE OUT 端子の接続 VTR をコントロールできます。 <u>MODE-4</u> : 本機と同じモードで 2 台以上の VTR をコントロールできます。 <u>OFF</u> : RS-422A でコントロールしません。
F2	RS-232C	<u>ON</u> : 設定およびコントロールができます。 <u>OFF</u> : 設定およびコントロールができません。 BAUD RATE : ボーレートの設定。300、600、1200、2400、4800、9600 のボーレートの設定ができます。 DATA LENGTH : データ長の設定。7、8 のデータ長の設定ができます。 START BIT : スタートビットの設定。スタートビットは 1 (固定) STOP BIT : ストップビットの設定。ストップビットは 1、2 PARITY : パリティビットの設定。パリティビットは NON、ODD、EVEN
F3	PARA 50P パラレル リモート ON/OFF	<u>ON</u> : コントロールができます。 <u>OFF</u> : コントロールはできません。
F4	AV CONT. V/A コントロール	<u>ON</u> : V/A コントロールからの制御を受けつけます。 <u>OFF</u> : V/A コントロールからの制御を禁止します。 AV コントロールのパラメータは 1200 ボーレート固定です。
F5	FF/REW MAX SP FF/REW 最高速度 設定	FF、REW のテープ速度を 50、32 倍速に切り替えます。 <u>50</u> : FF/REW の最高速度を ± 50 倍速に設定します。 <u>32</u> : FF/REW の最高速度を ± 32 倍速に設定します。
F6	DEV. ID デバイスタイプ	C、F、F6 の各キーを同時に押すと設定できます。 RS-422A 上でのコントローラに返すデバイス ID を選択できます。 デバイス ID は DEFAULT1、DEFAULT2、ID-1、ID-2、ID-3、USER の 6 種類あり、使用しているコントローラに合うように選択してください。 USER 設定デバイス ID を変更するときは、サービスマンにご相談ください。 <u>DEFAULT1</u> : “ F * ¹ 30 ” で応答します。(例えばシステム周波数が 59Hz の時は「F030」) <u>DEFAULT2</u> : “ F * ² 4C ” で応答します。 ID-1 : “ 4 * ¹ 03 ” で応答します。 ID-2 : “ 0 * ¹ 20 ” で応答します。 ID-3 : “ F * ¹ 19 ” で応答します。 USER : “ ユーザー設定の任意の値 ” で応答します。

*1 システム周波数が 50Hz、25Hz 設定の時は “ 1 ”、それ以外の周波数は “ 0 ”。

*2 システム周波数が 23Hz、24Hz 設定の時は “ 2 ”、50Hz、25Hz 時は “ 1 ”、それ以外の周波数は “ 0 ”。ただしシステム周波数が 23Hz でも RC_TC 設定が 30TC を選択しているとき (87 ページ参照) は “ 0 ” となります。

INTERFACE SET UP メニュー

キー	項目	機能
F7	PREREAD* ¹ リモートコマンド からのプリリード 設定	Fキーを押しながらF7キーを押すと変更可能です。 VIDEO：ビデオのプリリード設定が可能です。 AUDIO：オーディオのプリリード設定が可能です。 V&A：ビデオとオーディオのプリリード設定が可能です。
F8	EXIT	SET UPメニューに戻ります。
F9	UB PREST リモートコマンド からのUB設定	外部(RS-422/232C)から、TCG UBプリセットコマンドを設定します。 L&V：ユーザズビットをLTCとVITCに記録します。 LTC：ユーザズビットをLTCに記録します。 VITC：ユーザズビットをVITCに記録します。
F10	VAR LIMT* ²	外部(RS-422/232C)からVARコマンドに対して最大速度を設定します。 FキーとF10キーを同時に押すと設定できます。 ON：-1～+2倍速で制限します。 OFF：-1.5～+2.5倍速で制限します。(約2倍速以上また-1倍速以下はAT ON TRACKしないサーチ映像になります。)
F11	V. LEV. CNT	外部(RS-422、V/Aコントローラ)からのビデオコンポーネント調整コマンドに対してVTRのHD/SD出力のどちらを可変するかを選択します。 NORMAL：HD/SDコマンドを識別し、それぞれのレベルを可変します。 HD：強制的にHD出力レベルを可変します。 SD：強制的にSD出力レベルを可変します。 BOTH：HD出力/SD出力レベルを連動して可変します。

F12 ~ F13

*¹システムフォーマットがSDフォーマット(525/59i、625/50i)の時のみ表示します。

*²<ノート>

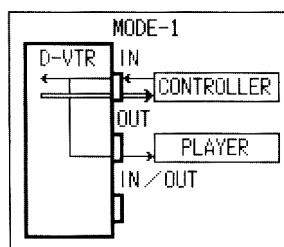
エディティングコントローラ(例えばBVE-9100など)と接続してスロー編集を行う場合は「OFF」に設定してください。-1倍速近辺や+2倍速近辺でのスロー編集では調相できない場合があります。

INTERFACE SET UP メニュー

モードと端子の関係表

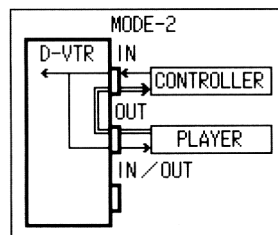
MODE	ソース機として編集機にリモートコントロールされる場合、またはコントローラを用いて編集を行う場合の接続 (リモート)			本機のフロントパネル操作で編集を行う場合の接続 (ローカル)		
	IN	OUT	IN/OUT	IN	OUT	IN/OUT
MODE-1	コントローラ	プレーヤ 1	不可	不可	プレーヤ 1	不可
MODE-1	コントローラ	プレーヤ 1	不可	不可	不可	プレーヤ 2
MODE-2	コントローラ	プレーヤ 1	不可	不可	不可	不可
MODE-3	不可	プレーヤ 1	コントローラ	不可	プレーヤ 1	不可
MODE-3	不可	プレーヤ 1	コントローラ	不可	不可	プレーヤ 2
MODE-4	不可	プレーヤ 1	コントローラ	不可	不可	不可

MODE-1 の接続図

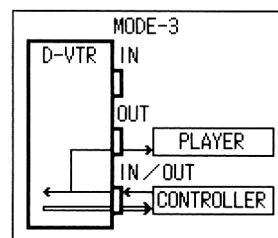


◁ — コマンド
 ◁ — 返信データ

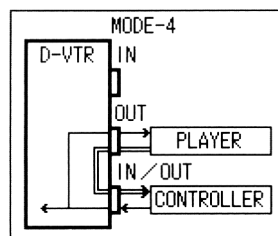
MODE-2 の接続図



MODE-3 の接続図



MODE-4 の接続図



INTERFACE SET UP メニュー

RS-232C パラメータ設定

- (1) F2 (RS-232C) キーを押して「ON」にします。
パラメータの表示が出ます。

BAUD RATE : 300、600、1200、2400、4800、9600
DATA LENGTH : 7、8 ビット
START BIT : 1 ビットに固定
STOP BIT : 2、1 ビット
PARITY : NONE、ODD、EVEN

- (2) カーソルセンターキーを押します。
入力領域が点滅します。

- (3) カーソルキーを押して、入力領域を選択します。
F キーとカーソルキーを同時に押すと、ブロック移動します。

BAUD RATE :

- (4) カーソルセンターキーを押して、パラメータを設定します。

BAUD RATE :

- (5) ENT キーを押して設定を確定させます。

V/A コントロールパラメータ設定

V/A コントロールパラメータは 1200 ボーレート固定です。

INTERFACE SET UP メニュー

CH ASSIGN オーディオチャンネルの設定

アナログオーディオのCH1、CH2のプリセットコマンドしか持っていないコントローラからのコマンドを読み替え、デジタルオーディオCH1～CH4（8CHフォーマットの場合はCH1～CH8）CUEチャンネルへの割り付けを行います。

- (1) カーソルセンターキーを押して、カーソルを表示させます。
入力領域が点滅します。

- (2) Fキーとカーソルキーを同時に押し、カーソルをCH ASSIGNのブロックに移動させます。

AUDIO-1	<input type="text" value="CH-1"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
AUDIO-2	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

- (3) カーソルキーを押して、選択する位置にカーソルを移動させます。

AUDIO-1	<input type="text"/>	<input type="text" value="CH-2"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
AUDIO-2	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

- (4) カーソルセンターキーを押して、表示をON/OFFします。
ONの場合は反転します。

AUDIO-1	<input type="text"/>	<input type="text" value="CH-2"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
AUDIO-2	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

- (5) ENTキーを押して設定を確定させます。

PANEL SET UP メニュー

SET UP

F11 キーを押すとメニューが出ます。

The screenshot displays the 'PANEL : SET UP' menu. At the top left, it shows 'OUTPUT LEVEL' with a scale from 0 to -40 and several vertical sliders. Below this are labels for 'L', 'R', and 'AES' channels. The top right shows 'LTCR 00:00:00:00'. On the right side, there is a 'VAR' section with 'CLUTCH OFF' and 'MAX SP. -1<=>+2'. Below that is a 'STILL' section with a horizontal bar and a vertical cursor. At the bottom, there are several rows of settings: 'SYSTEM 1000_23Psf', 'TAP *****', 'REF HD_FREE', 'VIN DIG', 'KEY OFF', 'ALARM OFF', 'JOG MAX SP. -1<=>+2', 'SHTL L/C/R X 8.X 4 ON', 'MAX SP. A SCALE 50', and '-20 dB'. On the far right, function keys F9 through F13 are indicated with lines pointing to specific menu items: F13 to CLUTCH, F12 to MAX SP., F11 to OP MAP, F10 to UNITY LD, and F9 to STANDARD. At the bottom of the screen, a row of function keys F1 through F8 is shown.

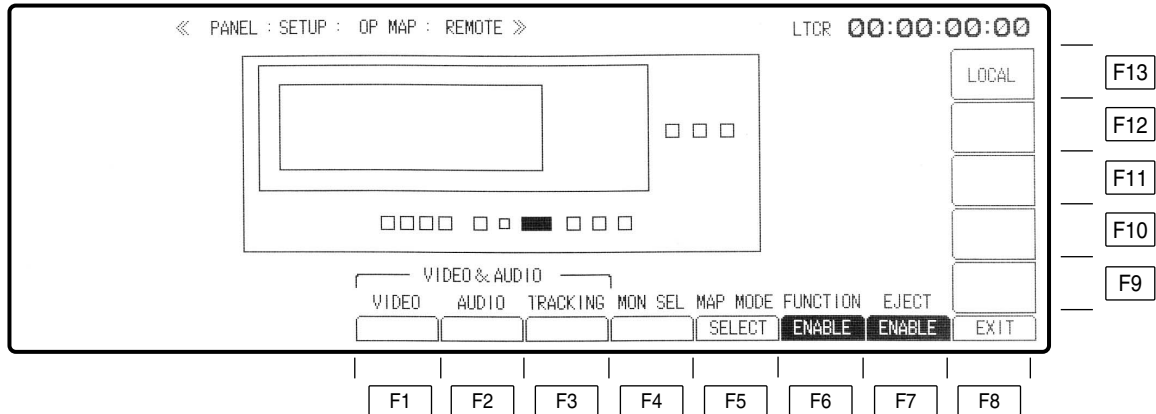
PANEL SET UPメニュー

キー	項目	機能
F1	SOUND KEY ファンクションキー、 IN/OUTキーの クリック音選択	OFF：クリック音はしません。 HIGH：大きいクリック音。 LOW：小さいクリック音。
F2	SOUND ALARM エラー発生時の 警告音選択	OFF：警告音はしません。 HIGH：大きい警告音。 LOW：小さい警告音。
F3	JOG MAX SP ジョグの最高速度	- 2 + 2：- 2 ~ + 2 の速度範囲。 - 1 + 1：- 1 ~ + 1 の速度範囲。 - 1 + 2：- 1 ~ + 2 の速度範囲。
F4	SHTL L/C/R シャトルのダイヤル クラッチ ON/OFF	OFF：クラッチなし。(F5 キーも OFF になります。) ON：左端、中央、右端の 3 点にクラッチを設定します。
F5	SHTL × 8、× 4 シャトルのダイヤル × 8、× 4 クラッチ選択	OFF：クラッチはありません。 × 8： ± 8 倍速の位置にクラッチ。 × 8、× 4： ± 4、± 8 倍速の 4 つの位置にクラッチ。 × 4： ± 4 倍速の位置にクラッチ。
F6	SHTL MAX SP シャトルの最高速度	50：シャトルの最高速度を通常再生の 50 倍速にします。 32：シャトルの最高速度を通常再生の 32 倍速にします。 16：シャトルの最高速度を通常再生の 16 倍速にします。
F7	A SCALE オーディオレベルメー タスケールの設定	- 20 (- 18) dB：基準レベルが - 20 (- 18) になります。* 0dB： 基準レベルが 0 になります。 *オーディオ基準レベルを - 18dB に設定している時は - 18 となります。
F8	EXIT	SET UP メニューに戻ります。
F9	TC INPUT タイムコード入力 モード	STANDARD：10 時の桁から入力するモードになります。 REVERSE： フレームの桁から入力するモードになります。 TC をマニュアルで入力する全てのモードで有効となります。
F10	UNITY LD	ALL A&V： デジタルオーディオ記録再生系のレベルとビデオの再生系 (SYSTEM 系を除く) が全てユニティ (UNITY) の時、 UNITY ランプが点灯します。 AUDIO PB： デジタルオーディオ再生系のレベルが全て UNITY の時、 UNITY ランプが点灯します。
F11	OP MAP	OP MAP REMOTE メニューへ移行します。
F12	VAR MAX SP バリアブルの 最高速度	- 1 + 2：- 1 ~ + 2 の速度範囲。 - 1 + 1：- 1 ~ + 1 の速度範囲。 0 + 1： 0 ~ + 1 の速度範囲。
F13	VAR CLUTCH バリアブルモードの クラッチ ON/OFF	OFF：クラッチはありません。 ON： - 1/0/+ 1/+ 2 の倍速位置にクラッチ。

PANEL SET UP (OP MAP REMOTE) メニュー

SET UP **F11** **F11** キーを押して「OP MAP REMOTE」メニューにします。

このメニューはリモートモード時に、本機のフロントパネル上で操作可能なボタン、キー、つまみなどの設定、表示を行います。



PANEL SET UP (OP MAP REMOTE) メニュー

キー	項目	機能
F1	VIDEO ビデオのレベル調整	VIDEO OUT メニューのレベル調整機能を選択します。キーを押すと、ハイライト表示になります。
F2	AUDIO オーディオのレベル調整	AUDIO REC、PB レベル調整機能を選択します。キーを押すと、ハイライト表示になります。
F3	TRACKING トラッキング調整	トラッキング調整を選択します。キーを押すと、ハイライト表示になります。
F4	MON SEL モニター選択	オーディオ信号のモニター選択 L/R ボタンを選択します。キーを押すとハイライト表示になります。
F5	MAP MODE キー操作可能	ALL : 全てのキーのリモート操作ができます。 SELECT : 選択したキーのリモート操作ができます。
F6	FUNCTION 機能全体の可能 / 不可能	ENABLE : 可能 DISABLE : 不可能
F7	EJECT リモート時の EJECT ボタンの 有効 / 無効設定	ENABLE : EJECT の操作可能。 DISABLE : EJECT の操作不可能。
F8	EXIT	SET UP メニューに戻ります。
F9 ~ F12		
F13	LOCAL	OP MAP LOCAL メニューに移行します。

PANEL SET UP (OP MAP REMOTE) メニュー

F5 (MAP MODE) と F6 (FUNCTION) キーの関係

F5(MAP MODE)	F6(FUNCTION)	設 定 内 容	
		操作キー (STOP、PLAY など)	ファンクションキー (F1 ~ F13、ボリュームなど)
ALL	ENABLE	このメニューの設定にかかわらず、全て可能。	このメニューの設定にかかわらず、全て可能。
	DISABLE	このメニューの設定にかかわらず、全て禁止。	このメニューの設定にかかわらず、全て禁止。
SELECT	ENABLE	このメニューで選択されたキーのみ可能。	このメニューの F1 ~ F4 で選択された機能および他の特定機能のみ可能。
	DISABLE	このメニューの設定にかかわらず、全て禁止。	同上

ご注意

- ・このメニューで、F6 キーを「ENABLE」に設定していても、本機がリモートモードで LOCAL DISABLE コマンドを受けると F6 キーは「DISABLE」に変わります。
(ただし、EJECT ボタンは F7 (EJECT) キーに従います。)
- ・出荷時は、F6 キーは「ENABLE」、F5 キーは「SELECT」に設定されています。

OP MAP の設定方法

- ・ディスプレイ上に表示されているコントロールパネルのグラフィックに、マークされているボタンやキーは、実際のコントロールパネル上のボタンと対応しています。
コントロールパネル上で押したキーやボタンに対応した部分がハイライト表示されます。
- ・JOG、VAR、SHTL ボタンを押すと、サーチダイヤルが表示されます。
- ・F1 (VIDEO) キーを押すと、ADJUST VR が表示されます。
- ・F2 (AUDIO) キーを押すと、ADJUST VR が表示されます。
- ・F3 (TRACKING) キーを押すと、ADJUST VR が表示されます。
- ・F4 (MON SEL) キーを押すと、L/R ボタンが表示されます。

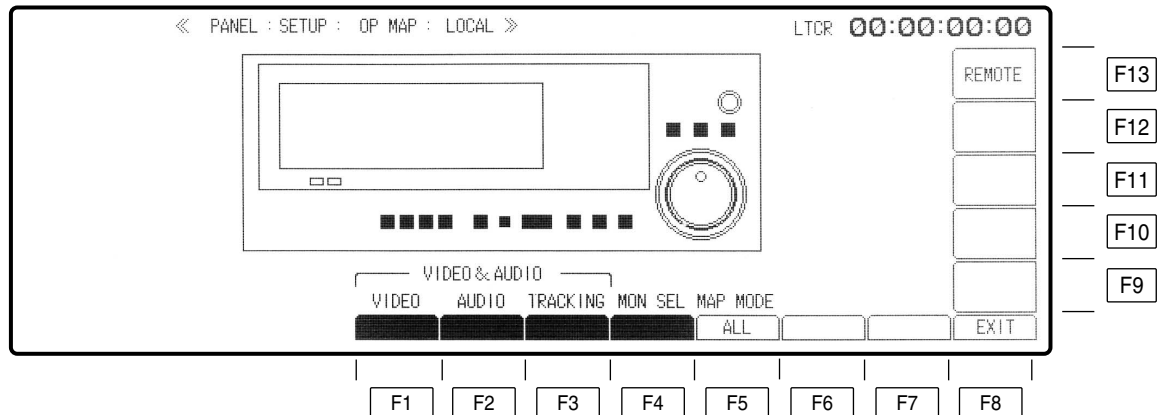
PANEL SET UP (OP MAP LOCAL) メニュー

SET UP **F11** **F11** **F13** キーを押して「OP MAP LOCAL」メニューにします。

ローカルモード時に、本機フロントパネル上で操作を不可能にするボタン、キー、つまみなどの設定、表示を行います。

設定や調整値を不用意に触って、変化させてしまうことを防ぐことができます。

- ・初期設定は全て操作可能です。



PANEL SET UP (OP MAP LOCAL) メニュー

キー	項目	機能
F1	VIDEO ビデオのレベル調整	VIDEO OUT メニューのレベル調整機能を選択します。キーを押すと、ハイライト表示になります。
F2	AUDIO オーディオのレベル調整	AUDIO REC、PB レベル調整機能を選択します。キーを押すと、ハイライト表示になります。
F3	TRACKING トラッキング調整	トラッキング調整を選択します。キーを押すと、ハイライト表示になります。
F4	MON SEL モニター選択	オーディオ信号のモニター選択 L/R ボタンを選択します。キーを押すとハイライト表示になります。
F5	MAP MODE キー操作可能	<u>ALL</u> : OP MAP の設定にかかわらず、全てのキーの操作ができます。 SELECT : OP MAP で設定した機能のみの操作ができます。
F6 ~ F7		
F8	EXIT	SET UP メニューに戻ります。
F9 ~ F12		
F13	REMOTE	OP MAP REMOTE メニューに移行します。

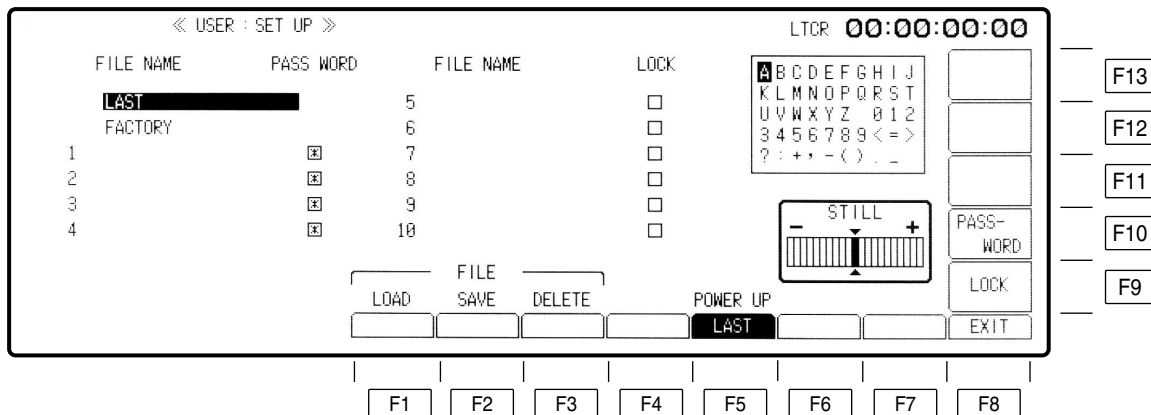
OP MAP の設定方法

- ・ディスプレイ上に表示されているコントロールパネルのグラフィックに、マークされているボタンやキーは、実際のコントロールパネル上のボタンと対応しています。
コントロールパネル上で押したキーやボタンに対応した部分がハイライト表示されます。
- ・JOG、VAR、SHTL ボタンを押すと、サーチダイヤルが表示されます。
- ・F1 (VIDEO) キーを押すと、ADJUST VR が表示されます。
- ・F2 (AUDIO) キーを押すと、ADJUST VR が表示されます。
- ・F3 (TRACKING) キーを押すと、ADJUST VR が表示されます。
- ・出荷時は F5 (MAP MODE) キーは「ALL」に設定されていますので、全ての操作が可能です。

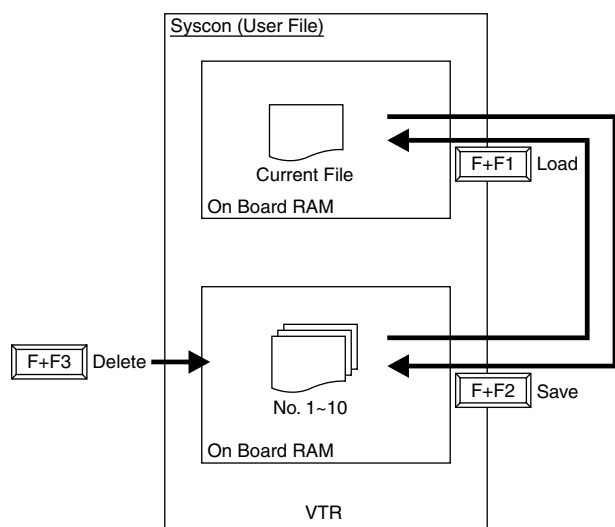
USER SET UPメニュー

SET UP

F12 キーを押すとメニューが出ます。



ユーザーファイル (SET UP メニュー)



STEP UP. USERメニューのファンクション設定について

キー	項目	機能
F1	LOAD	Fキーと同時に押します。 ユーザーファイル 選択したユーザーファイル呼び出します。 の呼び出し
F2	SAVE	Fキーと同時に押します。 ユーザーファイル 選択したユーザーファイルを登録します。 の保存
F3	DELETE	Fキーと同時に押します。 ユーザーファイル 選択したユーザーファイルを削除します。 の削除
F4		
F5	POWER UP	LAST : ラストファイル呼び出します。 電源投入時の ファイルの呼び出し FACTORY : ファクトリーファイル呼び出します。 呼び出します。* 1 ~ 10 : ユーザーファイル呼び出します。
F6 ~ F7		
F8	EXIT	SET UPメニューに戻ります。
F9	LOCK	Fキーと同時に押します。 カーソルで選んだファイルがロックされ、更新、削除はできません。 再度押すとロックは解除されます。ユーザーファイル5 ~ 10に使用します。
F10	PASSWORD	パスワードを設定するとき押します。 パスワード キーを押した後、4文字のパスワードを入力します。 ユーザーファイル1 ~ 4に使用します。
F11 ~ F13		

* SYSTEM SET UPメニュー(146 ~ 148ページ)のF1 ~ F7で設定される項目はファクトリーファイルをロードしても書き替わりません。

USER SET UP メニュー

ユーザーファイルの保存

本機には 12 のファイルが用意されています。

2 つは最新電源遮断時の状態が保存される LAST ファイルと工場出荷時（初期設定）の状態が保存される FACTORY ファイルで、予め予約されています。これら 2 つのファイルの削除と更新はできません。

10 のファイルはユーザーファイルとして、ユーザーが自由に設定したメニューの内容を保存することができます。呼び出し、削除、更新も自由に行えます。

(1) 各メニューの設定を保存させたい状態にしておきます。

- ・ UNITY と VAR の設定がある場合、UNITY に設定されていても、VAR の値も同時に保存されます。

(2) カーソルキーを押して、希望するファイル番号を選択します。

FACTORY	
<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> *
<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> *
<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> *
<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> *

カーソルは前回指定した場所に出ます。

(3) ファイル名を入力します。

最大 20 文字まで入力できます。

1. EDITOR 1

(4) F キーと F2 (SAVE) キーを同時に押してファイルを保存します。

ファイル名の入力

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	
3	4	5	6	7	8	9	<	=	>
?	;	+	-	()	.	_		

・ 0 ~ 9 : 数字キーを押します。

・ アルファベットは以下の操作をします。

1) カーソルセンターキーを押します。

2) ADJUST VR で桁カーソルを左右に移動させ、希望する文字を選択します。

F とカーソルキーを同時に押すと、カーソルを上下左右に移動させることができます。

3) ENT キーを押すとカーソル上の一文字が入力されます。

4) カーソルセンターキーを押して、文字入力を終了します。

5) F キーと F2 (SAVE) キーを同時に押してファイルを保存します。

・ 一文字の訂正は BS キーを押します。

入力を最初からやり直すとき C キーを押します。

1 ~ 4 のファイルを登録するにはパスワードが必要です。

(1) F10 (PASSWORD) キーを押します。

(2) パスワード 4 文字を入力します。

・ パスワードについては、サービスマンにご相談ください。

USER SET UP メニュー

ユーザーファイルのロック

ファイルを保護し、削除や更新をできなくするモードです。

(1) カーソルキーを押して、ロックするファイルを選択します。

1. EDITOR 1

(2) 1 ~ 4 のファイルはパスワードを入力します。

5 ~ 10 のファイルは F と F9 キーを同時に押します。

ファイルがロックされると、反転表示になります。

1. EDITOR 1

・ファイルのロックを解除するときは、

1 ~ 4 のファイルはパスワードを入力すると、ロックが解除されます。

1. カーソルキーを押してロックを解除するファイルを選びます。

2. F10 (PASSWORD) キーを押します。

3. パスワード 4 文字を入力します。

入力したパスワードが正しい場合、ロックが解除されます。

パスワードが正しくない場合、ロックは解除されません。

5 ~ 10 のファイルは再度 F と F9 キーを同時に押すと、ロックが解除されます。

1. EDITOR 1

ユーザーファイルの更新

(1) カーソルキーを押して、更新するファイルを選択します。

・ファイルがロックされているときは、ロックを解除します。

1. EDITOR 1

↑ ロック解除
(反転表示のときは
ロックを解除します。)

(2) ファイルの内容を変更します。

例えば HOME メニューの F4 (TC/CTL) キーを押して TC から CTL1 に変更します。

(3) F と F2 (SAVE) キーを同時に押します。この後、HOME メニューの F4 (TC/CTL) キーを押して TC に再度変更します。

ファイルは変更された内容で保存されます。

F と F1 (LOAD) キーを同時に押し、HOME ボタンを押して HOME メニューに入ると上に述べた変更項目 F4 (TC/CTL) キーは CTL1 に変更されています。

・更新前の内容は消去されます。

USER SET UP メニュー

ユーザーファイルの削除

不要なファイルを削除します。

(1) カーソルキーを押して、削除するファイルを選択します。

5. EDITOR 2 (ロック状態)

(2) 削除するファイルのロックが解除されていることを確認します。

ロック状態のときは、ユーザーファイルのロックを参照し、ロックを解除します。

5. EDITOR 2 (ロック解除)

(3) F と F3 (DELETE) キーを同時に押します。

ファイルは削除されます。

・ファイルのロックが解除されていないとファイルは削除できません。

ユーザーファイルの呼び出し

保存したファイルを呼び出します。

(1) カーソルキーを押して、呼び出すファイルを選択します。

1. EDITOR 1

(2) F と F1 (LOAD) キーを同時に押すと選択したファイルが呼び出されます。

呼び出したファイルを確認します。

電源投入時の自動ファイル呼び出し

電源を入れると、自動的にファイルを呼び出します。

(1) F5 (POWER UP) キーを押します。

キーを押すたびに、ファイルが出てきます。

次回に電源を入れた時、自動的にえらんだファイルが出ます。

・初期設定はLAST ファイルです。

USER SET UP メニュー

ユーザーファイル名の複写

同じファイル名をつけるとき、そのファイル名を複写します。

(1) カーソルキーを押して、複写するファイル名を選択します。

1. EDITOR 1

(2) FROM キーを押します。

1. EDITOR 1

(3) カーソルキーを押して、複写先のファイル番号を選択します。

5.

(4) COPY キーを押します。
ファイル名が複写されます。

5. EDITOR 1

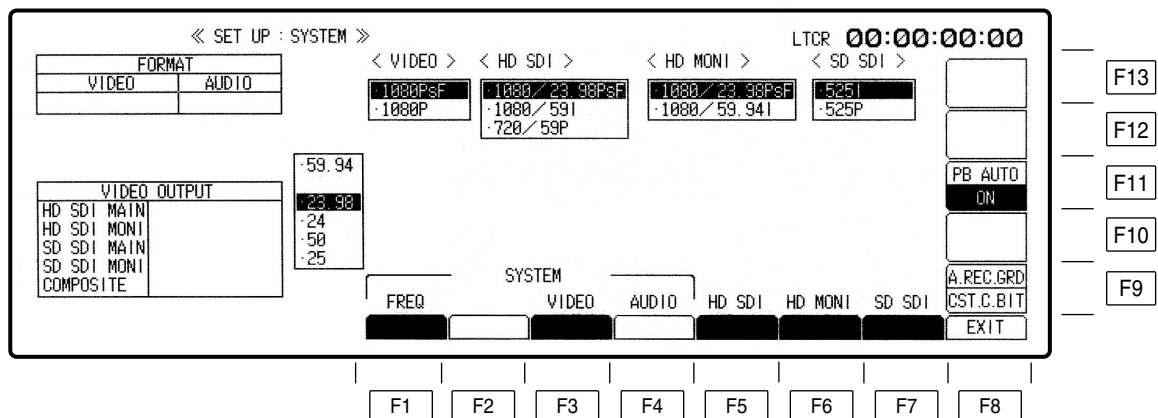
(5) F と F2 (SAVE) キーを同時に押します。

- ・この機能はファイル名だけを複写します。
ファイルの内容の複写はできませんのでご注意ください。

SYSTEM SET UP メニュー

SET UP **F4** キーを押すとメニューが出ます。

メニュー内に現在設定されているシステムフォーマットおよび映像出力フォーマットが表示されます。



SYSTEM SET UP メニュー (149 ~ 150 ページの設定フローチャートおよび出力状態表を参照してください。)

別売品 HD-SD フォーマットコンバータ基板 AJ-UDC3700AG または AJ-UDC3700P の有無により動作が異なります。

以下の手順に示すように、システム周波数、ビデオ記録フォーマット、オーディオ記録フォーマット、各出力端子の出力フォーマットを順に選択し、システムフォーマットを設定します。

キー	項目	機能
F1	FREQ* SYSTEM の周波数 選択	システムの周波数を選択します。 F1 キーを押すと、周波数選択ウィンドウが開きます。 カーソルキーを使用して周波数を選択します。 59.94 : 59.94Hz システムを選択します。 23.98 : 23.98Hz システムを選択します。 24 : 24Hz システムを選択します。 50 : 50Hz システムを選択します。 25 : 25Hz システムを選択します。 ENT キーを押すことにより確定になります。 59.94 または 50 を選択した場合は、ビデオの記録フォーマット選択ウィンドウが開きます。 23.98、24 または 25 を選択した場合は、PsF か P (Non PsF) を選択するウィンドウが開きます。
F2		
F3	VIDEO ビデオの記録フォー マット選択	ビデオの記録フォーマットを選択します。 F3 キーを押すと、ビデオの記録フォーマット選択ウィンドウが開きます。 カーソルキーを使用してフォーマットを選択します。システム周波数設定が 59.94 の時は以下のメニューから選択します。 1080I : 1080/59.94i の記録フォーマットを選択します。 525I : 525/59.94i の記録フォーマットを選択します。 720P : 720/59.94p の記録フォーマットを選択します。 同様にシステム周波数設定が 50 の時は以下のメニューから選択します。 1080I : 1080/50i の記録フォーマットを選択します。 625I : 625/50i の記録フォーマットを選択します。 ENT キーを押すことにより確定になります。 1080I、720P、525I を選択した場合は、オーディオの記録フォーマット選択ウィンドウが開きます。 システム周波数設定が 23.98、24、25 の時は PsF 信号か P 信号かを選択します。確定は ENT キーを押します。

* FREQ 設定はカセット EJECT 状態でしか受け付けません。

カセット挿入状態で変更しようとした場合は、“EJECT CASSETTE TO CHANGE FORMAT” とワーニングが表示されます。

SYSTEM SET UP メニュー

キー	項目	機能
F4	AUDIO オーディオの記録 フォーマット選択	<p>オーディオの記録フォーマットを選択します。</p> <p>F4 キーを押すと、オーディオの記録フォーマット選択ウィンドウが開きます。</p> <p>カーソルキーを使用してフォーマットを選択します。(1080/59i、720/59p、480/59i フォーマット選択時のみ選択可能です。)</p> <p>24bit/8CH : オーディオ 8ch フォーマットを選択します。</p> <p>20bit/4CH : オーディオ 4ch フォーマットを選択します。</p> <p>ENT キーを押すことにより確定になります。</p> <p>システムフォーマットを 720P に選択した場合は、SD_SD1_MAIN 出力の選択ウィンドウが開きます。</p> <p>システムフォーマットを 1080i に選択した場合は、システムフォーマットを確定し、選択ウィンドウを閉じます。</p>
F5	HD SDI	<p>HD_SD1_MAIN 出力フォーマットを選択します。</p> <p>F5 キーを押すと、HD_SD1_MAIN の出力フォーマット選択ウィンドウが開きます。</p> <p>カーソルキーを使用してフォーマットを選択します。(システム周波数設定が 23.98PsF または 1080/24PsF 設定のみ選択可能です。)</p> <p>1080/23.98PsF(1080/24PsF): 1080/23.98PsF(1080/24PsF) を出力します。</p> <p>1080/59.94i(1080/60i) : 1080/59.94i(1080/60i) を出力します。</p> <p>720/59.94P(720/60P) : 720/59.94p(720/60p) を出力します。</p> <p>1080/23.98PsF(1080/24PsF) を選択した場合は、HD_SD1 モニター出力の選択ウィンドウが開きます。</p> <p>1080/59i または 720/59P を選択した場合は、SD_SD1_MAIN 出力の選択ウィンドウが開きます。</p> <p>それ以外を選択した場合は、ENT キーを押すことにより確定になります。同時にウィンドウを閉じます。</p>
F6	HD MONI	<p>HD_SD1 モニターに出力するフォーマットを選択します。</p> <p>F6 キーを押すと、HD_SD1 モニター出力の選択ウィンドウが開きます。</p> <p>カーソルキーを使用して出力フォーマットを選択します。(HD_SD1 メイン出力がシステムフォーマットと同一設定で 1080/23.98PsF、1080/24PsF の時のみ選択可能です)</p> <p>1080/23.98PsF(1080/24PsF): 1080/23.98PsF(1080/24PsF) を出力します。</p> <p>1080/59.94i(1080/60i) : 1080/59.94i(1080/60i) を出力します。</p> <p>1080/23.98PsF(1080/24PsF) を選択した場合は、SD_SD1_MAIN の出力フォーマット選択ウィンドウが開きます。</p> <p>それ以外を選択した場合は、ENT キーを押すことにより確定になります。同時にウィンドウを閉じます。</p>

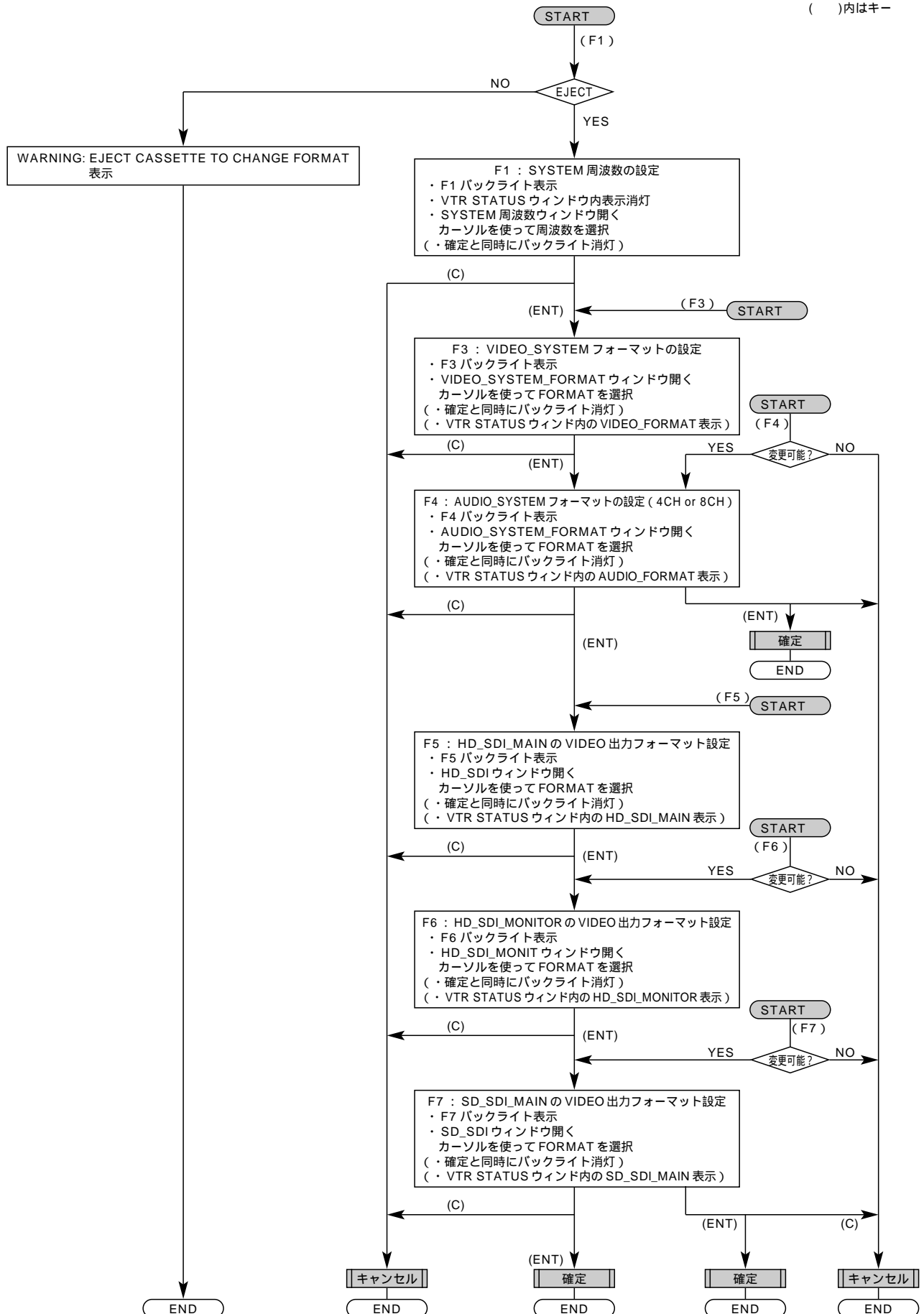
任意の選択ウィンドウが開いた状態で、C キーを押すことにより選択状態を以前設定したデータに戻すことができます。(ENT キーを押して確定した状態でも、関連したウィンドウが開いた状態では上記のような動作になります。)

SYSTEM SET UP メニュー

キー	項目	機能
F7	SD SDI	SD_SD_I_MAIN に出力するフォーマットを設定します。 F7 キーを押すと、SD_SD_I_MAIN 出力の選択ウィンドウが開きます。 カーソルキーを使用して出力フォーマットを選択します。[システムフォーマットが 720/59.94P または 1080/23.98PsF (HD_SD_I_MAIN とモニターが同一フォーマット設定) のみ選択可能です。] <u>525I</u> : 525i を出力します。 525P : 525p を出力します。 ENT キーを押すことにより確定になります。同時にウィンドウを閉じます。
F8	EXIT	SET UP メニューに戻ります。
F9	A. REC. GRD	記録 / 編集時、カセット側の Cbit 設定で記録 / 編集の禁止動作を選択します。 <u>CST.C.BIT</u> : Cbit 設定と SYSTEM メニュー設定に相違がある場合は、記録 / 編集動作に移行せず、同時にオペレーションエラーを表示します。 FREE : SYSTEM メニュー設定に従い、記録 / 編集動作に移行します。Cbit 設定と SYSTEM メニューに相違があり、記録 / 編集動作を実行しようとした場合は、オペレーションメッセージが表示されます。
F10		
F11	PB AUTO	テープ再生時にカセット側の Cbit 設定で 4CH / 8CH モード切り替えを選択します。 <u>ON</u> : Cbit 設定により再生時の 4CH / 8CH モードを自動的に切り替えます。(Cbit が UP 状態では 4CH、DOWN 状態では 8CH で動作します。) テープ記録フォーマットとカセットの Cbit 設定に相違がある場合は、ワーニングメッセージが表示されます。 <u>OFF</u> : Cbit の状態に関係なく SYSTEM メニューで設定されたモードで再生します。テープ記録フォーマットと SYSTEM メニュー設定に相違がある場合はワーニングメッセージが表示されます。
F12 ~ F13		

SYSTEM SET UP メニュー

()内はキー



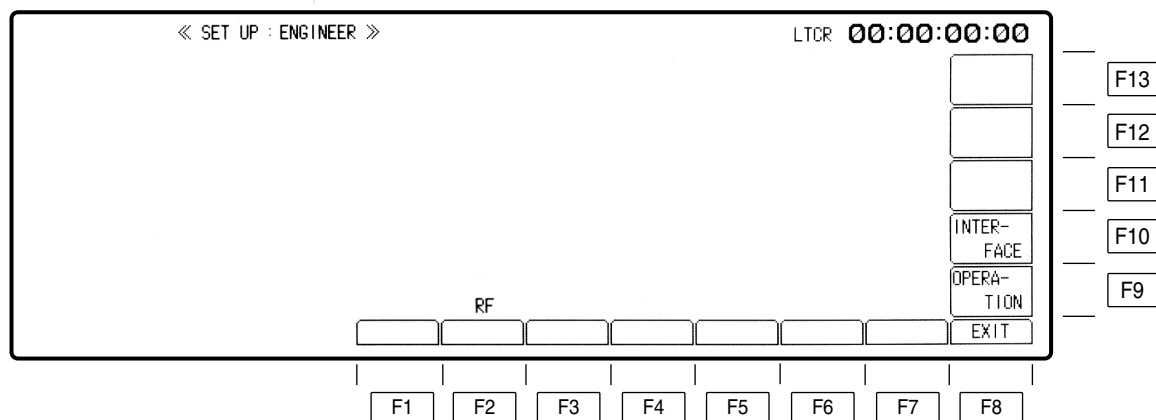
SYSTEM SET UP メニュー

SYSTEM FORMAT&ビデオ出力状態表

オプション ボード AJ-JDC3700AG	SYSTEM フォーマットフロント設定						HD_SDI OUT	HD_MONI OUT	SD_SDI OUT	SD_SDI_MONI	CMPST	REF									
	FREQ	VIDEO	AUDIO	HD_SDI	HD_MONI	SD_SDI						HD_REF	SD_REF								
有り	59.94	1080i	4ch (20bit)	(1080/59.94i)	(1080/59.94i)	(525i)	1080/59.94i	1080/59.94i	525/59.94i	525/59.94i	NTSC	59.94i	BB59								
			8ch (24bit)																		
		720p	4ch (20bit)	(720/59.94p)	(720/59.94p)	525i	720/59.94p	720/59.94p	525/59.94i												
			525p			525/59.94p															
			525i			525/59.94i															
			525p			525/59.94p															
	525i	4ch (20bit)	(1080/59.94i)	(1080/59.94i)	(525i)	1080/59.94i	1080/59.94i	525/59.94i													
		8ch (24bit)																			
	23.98	1080psf	(8ch (24bit))	1080/23.98psf	1080/23.98psf	525i	1080/23.98psf	1080/23.98psf	525/59.94i	525/59.94i	NTSC	47.96i	BB59								
						525p			525/59.94p												
						1080/59.94i			(****)					1080/59.94i	無信号	無信号	無信号				
				1080/59.94i	(1080/59.94i)	1080/59.94i	1080/59.94i	525i	1080/59.94i					1080/59.94i	525/59.94i						
								525p							525/59.94p						
								525i							525/59.94i						
	720/59.94p	(720/59.94p)	720/59.94p	720/59.94p	525i	720/59.94p	720/59.94p	525/59.94i													
					525p			525/59.94p													
					525i			525/59.94i													
	1080p	(8ch (24bit))	(1080/23.98p)	(1080/23.98p)	(525i)	1080/23.98p	1080/23.98p	525/59.94i													
	24	1080psf	(8ch (24bit))	1080/24psf	1080/24psf	(****)	1080/24psf	1080/24psf	無信号	無信号	無信号	48.00i	無信号								
														1080/60i	(1080/60i)	1080/60i	1080/60i				
720/60p														(720/60p)	720/60p	720/60p					
1080p				(8ch (24bit))	(1080/24p)		(1080/24p)	1080/24p						1080/24p	1080/24p	1080/24p					
								1080/24p								1080/24p					
								1080/24p								1080/24p					
50	1080i	(8ch (24bit))	(1080/50i)	(1080/50i)	(625i)	1080/50i	1080/50i	625/50i	625/50i	PAL	50i	BB50									
	625i	(8ch (24bit))	(625/50i)	(625/50i)	(625i)																
25	1080psf	(8ch (24bit))	1080/25psf	(1080/25psf)	(625i)	1080/25psf	1080/25psf	1080/25p	1080/25p												
	1080p		1080/25p	(1080/25p)																	
なし	59.94	1080i	4ch (20bit)	(1080/59.94i)	(1080/59.94i)	(****)	1080/59.94i	1080/59.94i	無信号	無信号	無信号	59.94i	BB59								
			8ch (24bit)																		
		720p	4ch (20bit)	(720/59.94p)	(720/59.94p)		720/59.94p	720/59.94p													
			8ch (24bit)																		
			525i											(****)	(****)	(525i)	無信号	無信号	525/59.94i	525/59.94i	NTSC
			8ch (24bit)																		
	23.98	1080psf	(8ch (24bit))	1080/23.98psf	(1080/23.98psf)	(****)	1080/23.98psf	1080/23.98psf	無信号	無信号	無信号	47.96i	BB59								
		1080p		1080/23.98p	(1080/23.98p)		1080/23.98p	1080/23.98p													
	24	1080psf	(8ch (24bit))	1080/24psf	(1080/24psf)	(****)	1080/24psf	1080/24psf	無信号	無信号	無信号	48.00i	無信号								
		1080p		1080/24p	(1080/24p)		1080/24p	1080/24p													
	50	1080i	(8ch (24bit))	(1080/50i)	(1080/50i)	(****)	1080/50i	1080/50i	無信号	無信号	無信号	50i	BB50								
		625i	(8ch (24bit))	(****)	(****)	(625i)	無信号	無信号						625/50i	625/50i	PAL					
	25	1080psf	(8ch (24bit))	1080/25psf	(1080/25psf)	(****)	1080/25psf	1080/25psf	無信号	無信号	無信号	50i	BB50								
		1080p		1080/25p	(1080/25p)		1080/25p	1080/25p													

ENGINEER SET UP メニュー

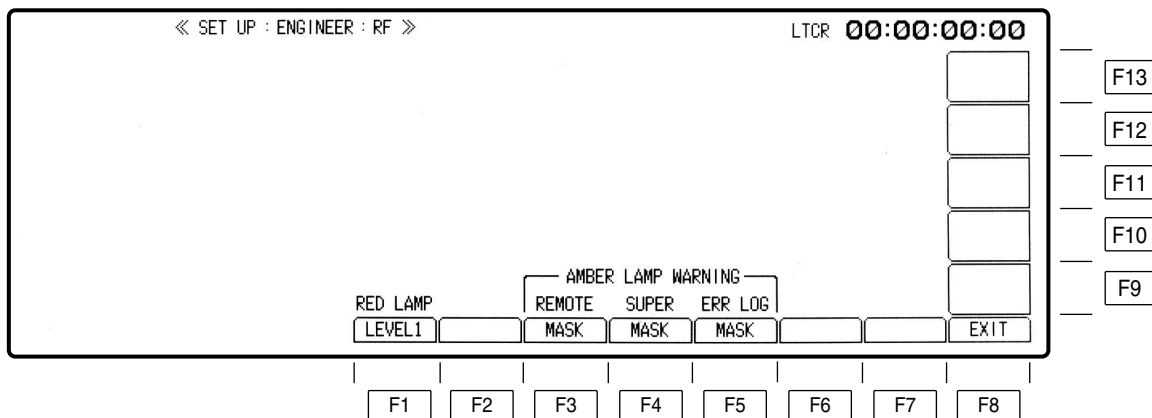
SET UP F13 キーと F キーを同時に押し、再度 F13 キーを押すと再度メニューが出ます。



キー	項目	機能
F1		
F2	RF	RF ENGINEER SET UP メニュー - に移行します。
F3 ~ F7		
F8	EXIT	SET UP メニュー - に戻ります。
F9	OPERATION	OPERATION ENGINEER SET UP メニューに移行します。
F10	INTERFACE	INTERFACE ENGINEER SET UP メニューに移行します。
F11 ~ F13		

RF ENGINEER SET UP メニュー

SET UP F13 キーと F キーを同時に押し、 F13 キーを押した後 F2 キーを押すとメニューが出ます。



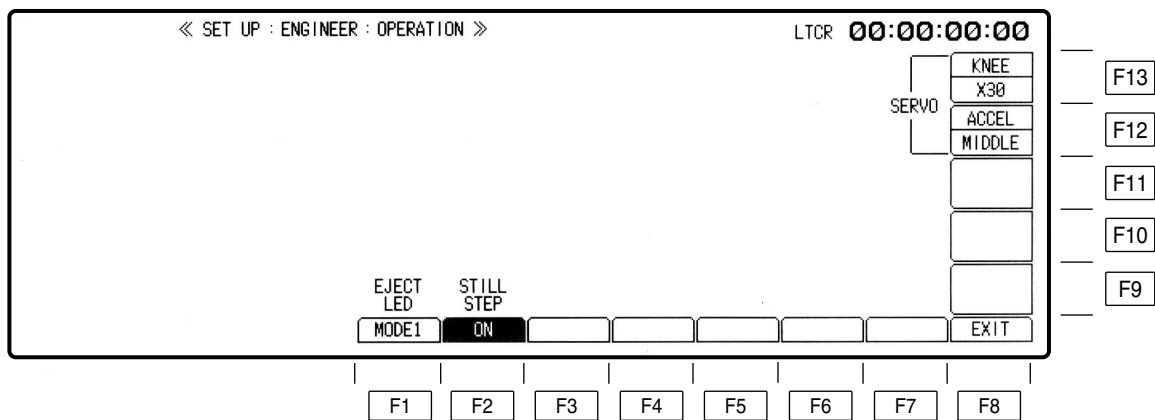
RF ENGINEER SET UPメニュー

Conceal V ワーニング感度設定とワーニング表示出力設定を行います。

キー	項目	機能
F1	RED LAMP	フロントパネルのREDランプ点灯仕様を選択します。このランプ点灯時には、スーパーワーニング表示、エラーログ記録、リモート出力 (RS232C/RS422/PARALLEL) も連動します。 LEVEL0 : . . . (検出感度を厳しくした設定 : エラー 1 個でRED点灯) LEVEL1 : . . . (標準出荷設定) LEVEL2 : . . . (検出感度を少し緩和した設定) LEVEL3 : . . . (検出感度をさらに緩和した設定)
F2		
F3	REMOTE	RS232C、RS422、PARALLELのワーニングアンバー情報 (CONCEAL_A、CONCEAL_V、HIGH_ERROR_RATE) を出力するかマスクするかを選択します。REDランプ点灯時は、本設定に関係なく出力されません。 ACTIVE : フロントパネルのAMBERワーニングランプ点灯時、外部リモートにも出力します。 MASK : フロントパネルのAMBERワーニングランプ点灯しても、外部リモートには出力しません。
F4	SUPER	スーパーのワーニングアンバー情報 (CONCEAL_A、CONCEAL_V、HIGH_ERROR_RATE) を出力するかマスクするかを選択します。REDランプ点灯時は、本設定に関係なく出力されません。 ACTIVE : フロントパネルのAMBERワーニングランプ点灯時、スーパー表示を行います。 MASK : フロントパネルのAMBERワーニングランプ点灯しても、スーパー表示しません。
F5	ERR LOG	ワーニングアンバー情報 (CONCEAL_A、CONCEAL_V、HIGH_ERROR_RATE) をエラーログに記録するかマスクするかを選択します。REDランプ点灯時は、本設定に関係なくエラーログに記録されません。 ACTIVE : フロントパネルのAMBERワーニングランプ点灯時、エラーログに残します。 MASK : フロントパネルのAMBERワーニングランプ点灯しても、エラーログに残りません。
F6 ~ F7		
F8	EXIT	ENGINEER SET UPメニューに戻ります。
F9 ~ F13		

OPERATION ENGINEER SET UPメニュー

SET UP F13 キーと F キーを同時に押し、F13 キーを押した後 F9 キーを押すとメニューが出ます。

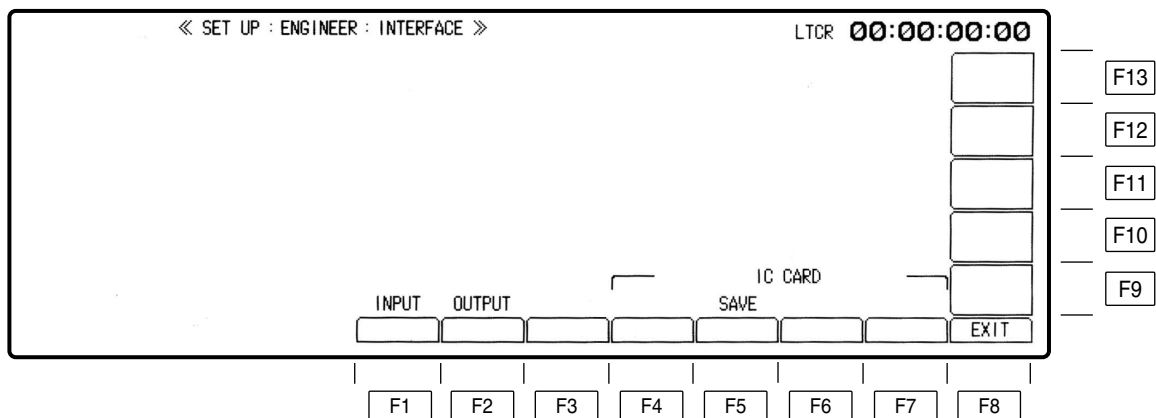


OPERATION ENGINEER SET UP メニュー

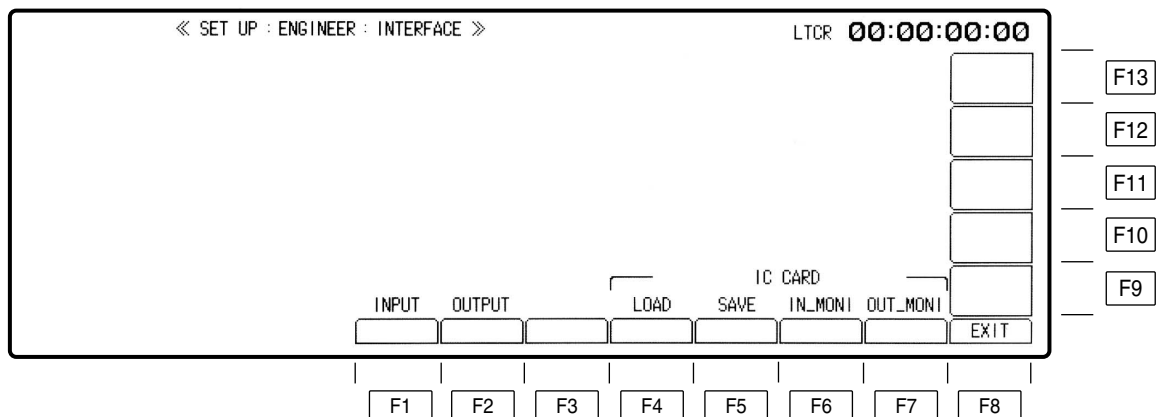
キー	項目	機能
F1	EJECT LED	EJECT ボタンの LED の点灯条件を選択できます。 <u>MODE 1</u> : EJECT モードに移行した時からカセットを排出する期間、またアンローディング完了状態の時に点灯します。(アンローディング期間および EJECT 状態で点灯。) <u>MODE 2</u> : EJECT モードに移行した時からカセットを排出されるまでの間に点灯します。(アンローディング期間のみ点灯。)
F2	STILL STEP	<u>ON</u> : HOME SET UP メニューの F12 (STILL) キーでスチルモードの持続時間を 5 MIN に設定した状態で、この F2 を ON にすると、テープを前後に移動させながら、スチル時間を 30 分に延長させることができます。2 分経過毎にテープを 1 フレーム相当量移動させ、本モード開始位置から ± 2 フレーム相当範囲内で停止しています。30 分経過後はテープ保護のため、テンション解除 (ルージング) モードになります。上記のテープ STEP 送り動作期間中は、CUE オーディオが出力されますので、ご注意ください。スチルタイマー設定が 5 MIN 以外の場合は、本機能は動作しません。 <u>OFF</u> : STILL STEP 機能を動作させません。 スチルモードの持続時間が経過するとテープテンション解除モード (ルージング) に移行します。
F3 ~ F7		
F8	EXIT	ENGINEER SET UP メニューに戻ります。
F9 ~ F11		
F12	ACCEL	FF/REW (SHTL モード時) 動作時、F13 (KNEE) で選択した倍速未満でのリール速度の加速の度合いを選択します。 <u>MAX</u> : 常に最大加速します。 <u>MIDDLE</u> : KNEE までの加速度を中程度にします。(DEFAULT 値です。) <u>MIN</u> : KNEE までの加速度を低くします。 ・ MAX 選択時は常に最大加速のため KNEE はありません。 ・ L カセット使用時は KNEE はありません。
F13	KNEE	FF/REW (SHTL モード時) 動作時、F12 (ACCEL) で選択した加速から最大加速に移行する倍速を選択します。 <u>× 8</u> : 8 倍速 <u>× 15</u> : 15 倍速 <u>× 20</u> : 20 倍速 <u>× 30</u> : 30 倍速

INTERFACE ENGINEER SET UPメニュー

SET UP F13 キーと F キーを同時に押し、F10 キーを押すとメニューが出ます。
(ICカードを装填していない場合は下記のようなメニューとなります。)



(ICカードを装填している場合は下記のようなメニューとなります。)

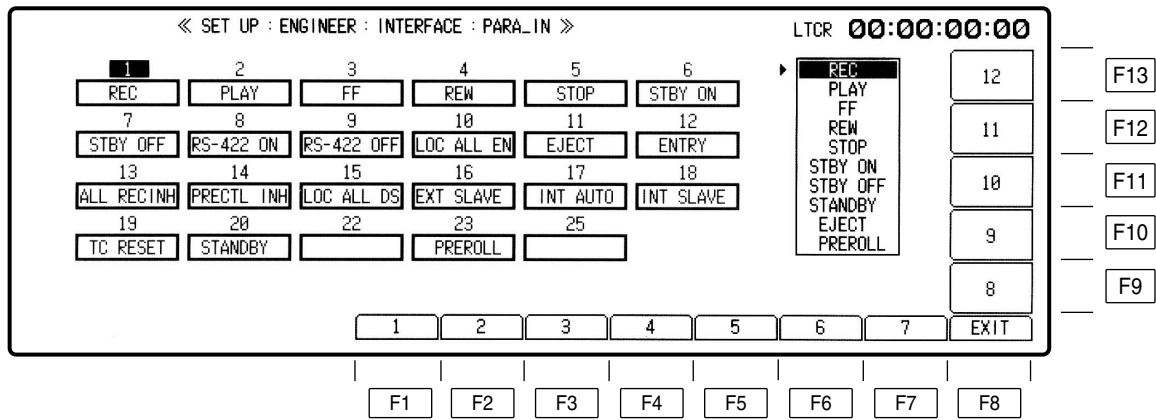


INTERFACE ENGINEER SET UPメニュー

キー	項目	機能
F1	INPUT	ENGINEER INTERFACE PARA_IN メニューに移行します。 ハードウェア編の取扱説明書 48 ~ 50 ページ記載のリアコネクタ PARALLEL I/O (50P) 端子の INPUT 信号割付を変更することができます。
F2	OUTPUT	ENGINEER INTERFACE PARA_OUT メニューに移行します。 ハードウェア編の取扱説明書 48 ~ 50 ページ記載のリアコネクタ PARALLEL I/O (50P) 端子の OUTPUT 信号割付を変更することができます。
F3		
F4	LOAD	(IC カード装填時で有効データが格納されている時のみ表示されます。) F キーと F4 キーを同時に押すと、IC カードに格納されている 50 ピン入出力データを VTR へロードします。本ロード操作を実行すると、現状のデータは消去されますので、操作の際はご注意ください。
F5	SAVE	F キーと F5 キーを同時に押すと、VTR に設定された 50 ピン入出力状態データを IC カードへセーブします。本セーブ操作を実行すると、IC カードに格納されているデータは消去 (上書き) されますので、操作の際はご注意ください。
F6	IN_MONI	(IC カード装填時で有効データが格納されている時のみ表示されます。) F6 キーを押すと、IC カードに格納されている 50 ピン入出力状態データの、INPUT 設定に関するデータを表示します。(モニター機能で、設定することはできません。)
F7	OUT_MONI	(IC カード装填時で有効データが格納されている時のみ表示されます。) F7 キーを押すと、IC カードに格納されている 50 ピン入出力状態データの、OUTPUT 設定に関するデータを表示します。(モニター機能で、設定することはできません。)
F8	EXIT	ENGINEER SET UP メニューに戻ります。
F9 ~ F13		

PARA_IN INTERFACE ENGINEER SET UP メニュー

SET UP F13 キーと F キーを同時に押し、F10 キーを押した後 F1 キーを押すとメニューが出ます。



PARA_IN INTERFACE ENGINEER SET UP メニュー

下記の **F1** ~ **F13** キーでアサインするピンを決定した後、カーソルキー () でコマンドを選択し、**ENT** キーを押して確定させます。

コマンドやステータスの詳細な内容につきましては、取扱説明書 (ハードウェア編: 48 ~ 50 ページ) をご参照ください。

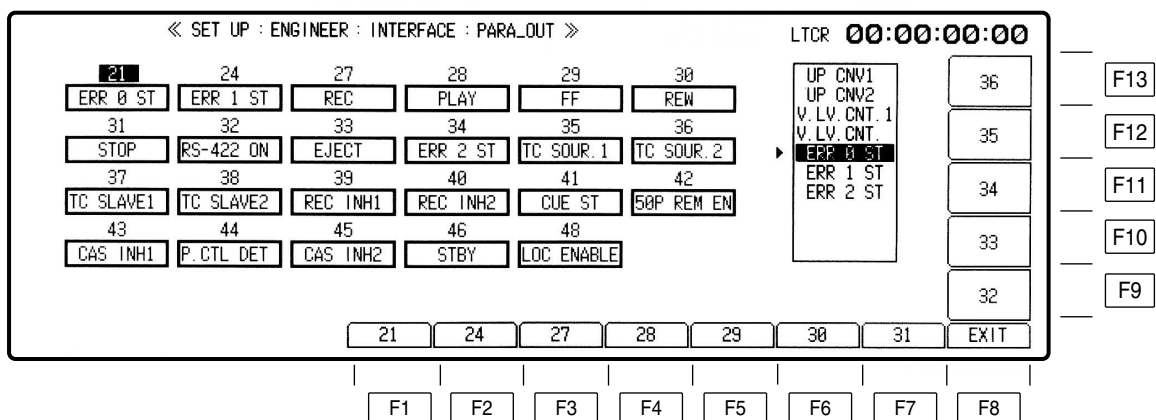
F キーを押している期間は、**F1** ~ **F12** までの表示が下記のカッコ内の数値表示に切り替わり 13 ~ 25 ピン割付操作が行えます。

キー	項目	機能
F1	1 (13)	F1 キーを押すと 1 ピン (13 ピン) が選択され白又キ表示となり、割付可能状態となります。
F2	2 (14)	F2 キーを押すと 2 ピン (14 ピン) が選択され白又キ表示となり、割付可能状態となります。
F3	3 (15)	F3 キーを押すと 3 ピン (15 ピン) が選択され白又キ表示となり、割付可能状態となります。
F4	4 (16)	F4 キーを押すと 4 ピン (16 ピン) が選択され白又キ表示となり、割付可能状態となります。
F5	5 (17)	F5 キーを押すと 5 ピン (17 ピン) が選択され白又キ表示となり、割付可能状態となります。
F6	6 (18)	F6 キーを押すと 6 ピン (18 ピン) が選択され白又キ表示となり、割付可能状態となります。
F7	7 (19)	F7 キーを押すと 7 ピン (19 ピン) が選択され白又キ表示となり、割付可能状態となります。
F8	EXIT	INTERFACE ENGINEER SET UP メニューに戻ります。
F9	8 (20)	F9 キーを押すと 8 ピン (20 ピン) が選択され白又キ表示となり、割付可能状態となります。
F10	9 (22)	F10 キーを押すと 9 ピン (22 ピン) が選択され白又キ表示となり、割付可能状態となります。
F11	10 (23)	F11 キーを押すと 10 ピン (23 ピン) が選択され白又キ表示となり、割付可能状態となります。
F12	11 (25)	F12 キーを押すと 11 ピン (25 ピン) が選択され白又キ表示となり、割付可能状態となります。
F13	12	F13 キーを押すと 12 ピンが選択され白又キ表示となり、割付可能状態となります。

* 50 ピンアサインのデータは、ユーザーファイルにセーブ/ユーザーファイルにロードされないデータです。ただし、IC カードに対しては 1 ファイルのみロード/セーブ操作が行えます。この場合は現状のデータが消去される可能性がありますので、取扱にご注意ください。

PARA_OUT INTERFACE ENGINEER SET UP メニュー

SET UP [F13] キーと [F] キーを同時に押し、[F10] キーを押した後 [F2] キーを押すとメニューが出ます。



PARA_OUT INTERFACE ENGINEER SET UP メニュー

下記の **F1** ~ **F13** キーでアサインするピンを決定した後、カーソルキー () で信号 (ステータス) を選択し、**ENT** キー押しで確定させます。

コマンドやステータスの詳細な内容につきましては、取扱説明書 (ハードウェア編: 48 ~ 50 ページ) をご参照ください。

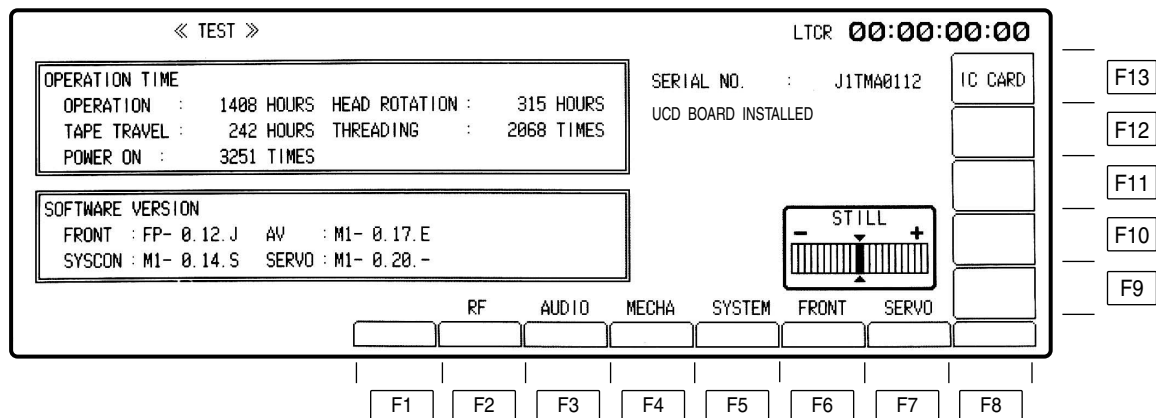
F キーを押している期間は、**F1** ~ **F12** までの表示が下記のカッコ内の数値表示に切り替わり 37 ~ 48 ピン割付操作が行えます。

キー	項 目	機 能
F1	21 (37)	F1 キーを押すと 21 ピン (37 ピン) が選択され白ヌキ表示となり、割付可能状態となります。
F2	24 (38)	F2 キーを押すと 24 ピン (38 ピン) が選択され白ヌキ表示となり、割付可能状態となります。
F3	27 (39)	F3 キーを押すと 27 ピン (39 ピン) が選択され白ヌキ表示となり、割付可能状態となります。
F4	28 (40)	F4 キーを押すと 28 ピン (40 ピン) が選択され白ヌキ表示となり、割付可能状態となります。
F5	29 (41)	F5 キーを押すと 29 ピン (41 ピン) が選択され白ヌキ表示となり、割付可能状態となります。
F6	30 (42)	F6 キーを押すと 30 ピン (42 ピン) が選択され白ヌキ表示となり、割付可能状態となります。
F7	31 (43)	F7 キーを押すと 31 ピン (43 ピン) が選択され白ヌキ表示となり、割付可能状態となります。
F8	EXIT	INTERFACE ENGINEER SET UP メニューに戻ります。
F9	32 (44)	F9 キーを押すと 32 ピン (44 ピン) が選択され白ヌキ表示となり、割付可能状態となります。
F10	33 (45)	F10 キーを押すと 33 ピン (45 ピン) が選択され白ヌキ表示となり、割付可能状態となります。
F11	34 (46)	F11 キーを押すと 34 ピン (46 ピン) が選択され白ヌキ表示となり、割付可能状態となります。
F12	35 (48)	F12 キーを押すと 35 ピン (48 ピン) が選択され白ヌキ表示となり、割付可能状態となります。
F13	36	F13 キーを押すと 36 ピンが選択され白ヌキ表示となり、割付可能状態となります。

* 50 ピンアサインのデータは、ユーザーファイルにセーブ/ユーザーファイルにロードされないデータです。ただし、IC カードに対しては 1 ファイルのみロード/セーブ操作が行えます。この場合は現状のデータが消去される可能性がありますので、取扱にご注意ください。

TEST メニュー

TEST キーを押すとメニューが出ます。



キー	項目	機能
F1		
F2	RF	RF TEST メニューに移行します。
F3	AUDIO	AUDIO TEST メニューに移行します。
F4	MECHA	MECHA TEST メニューに移行します。
F5	SYSTEM	SYSTEM TEST メニューに移行します。
F6	FRONT	TEST FRONT メニューに移行します。
F7	SERVO	SERVO TEST メニューに移行します。
F8 ~ F12		
F13	IC CARD	TEST IC CARD メニューに移行します。

TEST メニュー

OPERATION TIME 表示

VTR の使用頻度を表示します。

OPERATION : 総通電時間
HEAD ROTATION : ヘッドドラム通算回転時間
TAPE TRAVEL : テープ通算走行時間
THREADING : ローディング / アンローディング総繰り返し回数
POWER ON : 電源投入回数

OPERATION TIME			
OPERATION	: 1515 HOURS	HEAD ROTATION	: 370 HOURS
TAPE TRAVEL	: 225 HOURS	THREADING	: 3870 TIMES
POWER ON	: 9043 TIMES		

SOFTWARE VERSION

各ソフトウェアのバージョンを表示します。

FRONT : フロントソフトウェア
SYSCON : シスコンソフトウェア
AV : AV コントロールソフトウェア
SERVO : サーボソフトウェア

SOFTWARE VERSION			
FRONT	: FP-0.04.F	AV	: M1-0.13.0
SYSCON	: M1-0.13.M	SERVO	: M1-0.13.-

シリアル番号表示

本機のシリアル番号を表示します。

SERIAL NO :

UDC ボード表示

本体に装着されているオプションの UDC ボードが装着されていることを表示します。

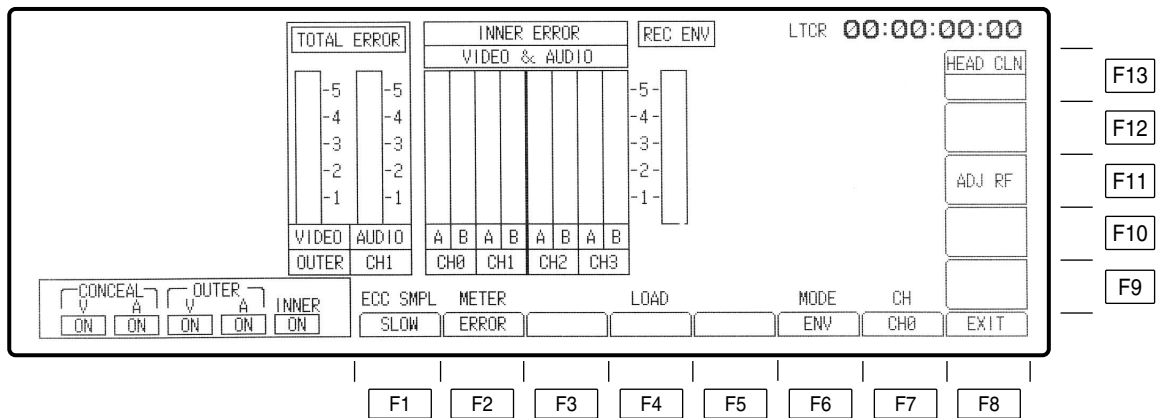
UDC BOARD INSTALLED

UDC ボード (オプション) が未装着の場合

UDC BOARD NOT INSTALLED

RF TEST メニュー

TEST F2 キーを押すとメニューが出ます。



RF TEST メニュー

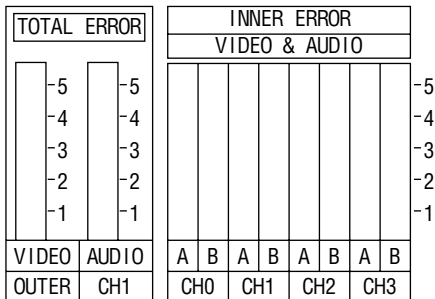
キー	項目	機能
F1	ECC SMPL エラーレート測定 時間の変更	FAST : 測定間隔は 20 フィールド。 SLOW : 測定間隔は 2 秒。
F2	METER エラーレートの レベル表示切替	ERROR : インナーエラーのレベルを表示します。 ENV : エンベロープのレベルを表示します。
F3		
F4	LOAD デフォルト値のロード	全ての RF 調整値を出荷時の設定に戻します。 (F キーと同時に押すと動作します。)
F5		
F6	MODE	ウェーブフォームモニター (WFM) 出力を選択します*。 EYE : アイパターンを出力します。 ENV : エンベロープを出力します。 CONFI : コンフィ CTL を出力します。 R/P : R/P の CTL を出力します。 TC : TC 波形を出力します。
F7	CH	EYE/ENV の CH を選択します*。 CH0 : CH0 の EYE または ENV を選択します。 CH1 : CH1 の EYE または ENV を選択します。 CH2 : CH2 の EYE または ENV を選択します。 CH3 : CH3 の EYE または ENV を選択します。
F8	EXIT	TEST メニューに戻ります。
F9 ~ F10		
F11	ADJ RF RF 調整値表示	RF の調整値が表示され、F6、F7、F11、F12 の機能が RF 調整値表示 モードに変わります。 「RF 調整値の表示」(167 ページ)を参照してください。
F12		
F13	HEAD CLN マニュアルヘッド クリーニング	押している間、ヘッドクリーニングを実行します。 (最大 20 秒でしかヘッドクリーニングは動作しません。) 操作 1. VTR を PLAY モードにします。 2. F13 (HEAD CLN) キーを押します。 ヘッドクリーニングは PLAY、JOG、VAR モードの時などに動作します。

* F11 で RF 調整値表示モードに入った時は、直前の WFM 選択が保持されます。

RF TEST メニュー

エラーレート表示

エラーレート（エラー発生率）には 1）TOTAL ERROR と 2）INNER ERROR の表示があります。



1) TOTAL ERROR (トータルエラー)

記録時は、同時再生信号のエラーレートを表示します。

再生時は、再生信号のエラーレートを表示します。

オーディオのチャンネル切り替えはカーソルセンターキーを押して切り替えます。

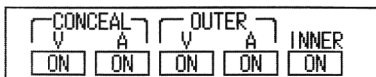
2) INNER ERROR (インナーエラー)

8 個のヘッドについて、インナーエラー訂正後のエラーレートを表示します。

「VIDEO & AUDIO」と「AUDIO」の切り替えは以下のように行います。

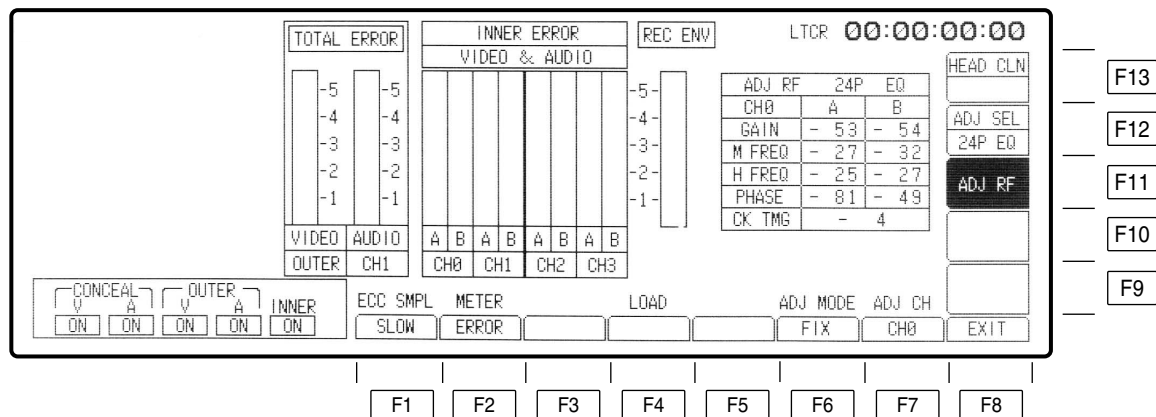
1. カーソルセンターキーを押してカーソルを表示します。
2. F キーとカーソルキー（◀または▶）を同時に押し、カーソルを INNER ERROR に移動します。
3. カーソルセンターキーを押して「AUDIO & VIDEO」または「AUDIO」を選びます。
4. ENT キーを押して確定させます。

訂正・修正の状態



- ・上記のエラーレート表示から F キーとカーソルキーを同時に押してハイライト表示部分を移動させます。
- ・カーソルで CONCEAL V..A.、OUTER V.A または INNER に合わせ、カーソルセンターキーを押すと ON/OFF の切り替えが可能です。
- ・本設定はテストメニューを抜けると強制的に ON となりますが、再生映像・音声にノイズが入りますので、通常は絶対 OFF にしないでください。

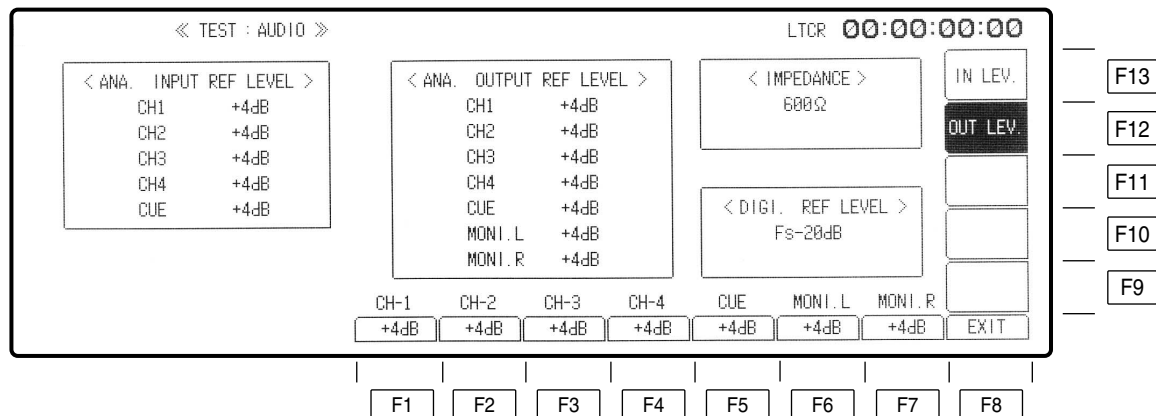
RF 調整値の表示メニュー



キー	項目	機能
F1 ~ F5		
F6	ADJ MODE アジャストモード	FIX : 現在の調整値を保持します。リモート調整によりパラメータを再調整することはできませんが、本機で値を変更することはできません。
F7	ADJ CH	表示するチャンネルを選択します。 EQ/REC/PLL : CH0、CH1、CH2、CH3
F8 ~ F10		
F11	ADJ RF RF 調整値表示	F11 キーを押すと、F12 キーに ADJ SEL が表示され、選択したパラメータの現調整値が表示されます。F6 キーで調整モードを、F7 キーでチャンネルを選びます。
F12	ADJ SEL	<p>選択した RF の調整値が表示されます。</p> <p>EQ : 再生イコライザの調整値を表示します。</p> <p>REC : 記録調整値を表示します。</p> <p>PLL : PLL の相対速度調整値を表示します。</p> <p>F12 キーを押すと、***** EQ ***** PLL ***** REC ***** EQ ...とトグルに表示が切り替わります。</p> <p>F キーと F12 キーを同時に押すと 6014 ** 6018 ** 501 ** 24P ** 625 ** D3 ** 6014 ** ...とトグルに表示が切り替わります。これらの調整値は各フォーマットの RF 系調整値を表示します。(サービスマン調整用です。)</p>

AUDIO TEST メニュー

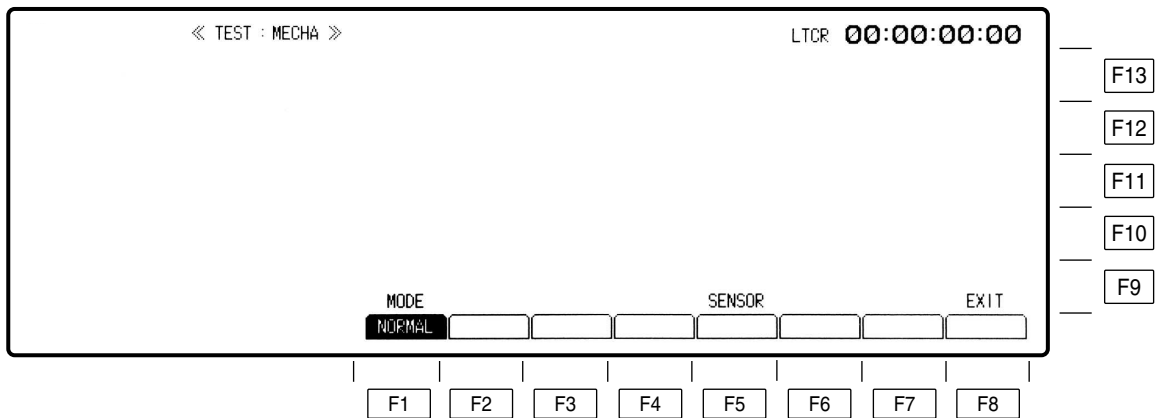
TEST F3 キーを押すとメニューが出ます。



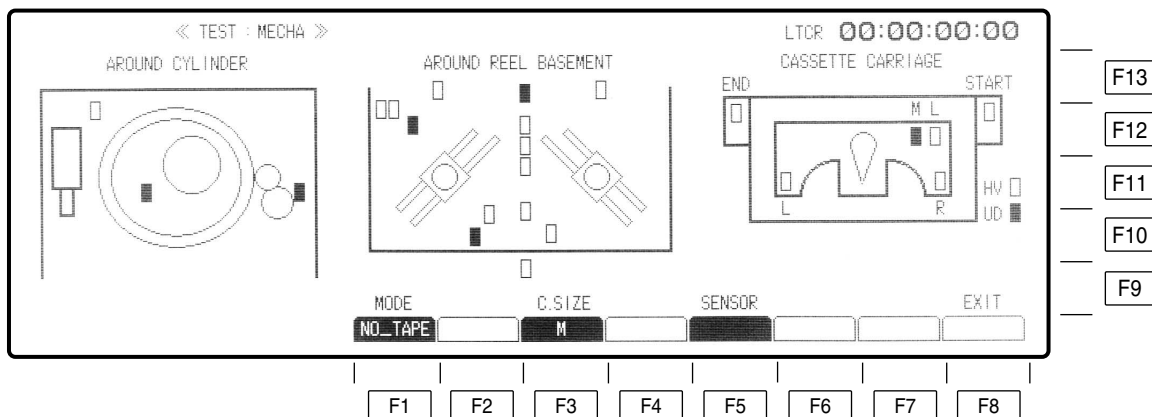
キー	項目	機能
F1	CH-1	CH1 アナログ入出力の基準レベルを設定します。
F2	CH-2	CH2 アナログ入出力の基準レベルを設定します。
F3	CH-3	CH3 アナログ入出力の基準レベルを設定します。
F4	CH-4	CH4 アナログ入出力の基準レベルを設定します。
F5	CUE	CUE 入出力の基準レベルを設定します。
F6	MONI. L	モニター L チャンネルの出力基準レベルを設定します。
F7	MONI. R	モニター R チャンネルの出力基準レベルを設定します。
F8	EXIT	TEST メニューに戻ります。
F9	REF. LEV	PCM オーディオ基準レベルを設定します。(サービスマンモード時のみ可能) ・F キーと F9 キーを同時に押すと基準レベル (Fs) が -18dB と -20dB でトグル変化します。
F10	IMPED.	入力インピーダンスを設定します。(サービスマンモード時のみ可能) ・F キーと F10 キーを同時に押すと入力インピーダンスが 600 と HIGH でトグル変化します。
F11		
F12	OUT LEV.	アナログ出力基準レベル設定モードにします。 ・F キーと BS キーと F12 キーを同時に押すと F1 ~ F7 のメニュー名称を表示し、切り替えを受け付けます。
F13	IN LEV.	アナログ入力基準レベル設定モードにします。 ・F キーと BS キーと F12 キーを同時に押すと F1 ~ F5 のメニュー名称を表示し、切り替えを受け付けます。

MECHA TEST メニュー

TEST **F4** キーを押すとメニューが出ます。



F5 キーを押すと下のメニューが出ます。



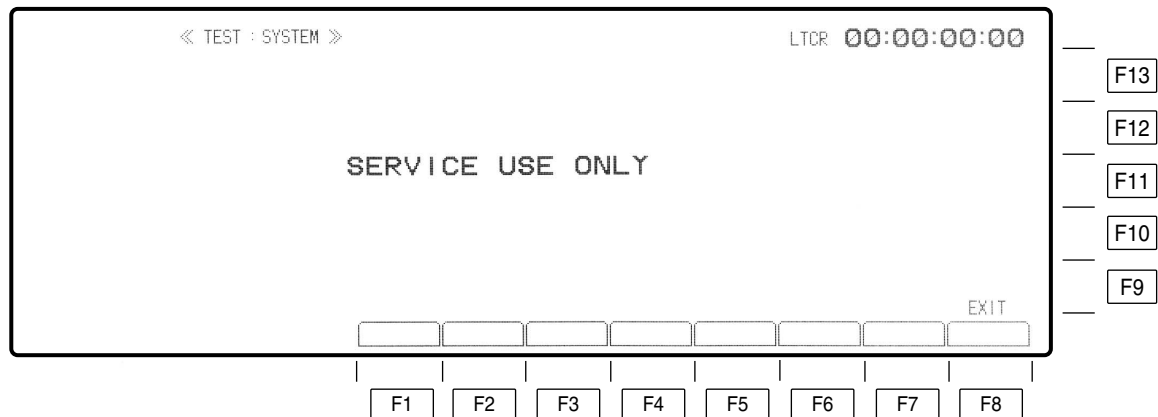
MECHA TEST メニュー

キー	項目	機能
F1	MODE テープなしローディング	<u>NORMAL</u> : 通常動作です。 NO-TAPE : カセットテープなしでローディングが可能です。STOP ボタンを押すと、ローディングを開始します。カセットはF3キーで選択します。中止するときはEJECT ボタンを押します。
F2		
F3	C.SIZE カセットサイズを選択	F1 キーで「NO-TAPE」を選んだときの想定カセットのサイズを選択します。L/M/S の各サイズのカセットテープを選びます。
F4		
F5	SENSOR センサーの動作確認	キーを押してハイライトされると、メニューにセンサー画面を表示します。シリンダ、リール台、フロントローディングの各周辺のセンサー動作を確認します。特にサービスマンのチェック用キーです。 F8 (EXIT) キーを押して元の画面に戻ってください。
F6 ~ F7		
F8	EXIT	TEST メニューに戻ります。
F9 ~ F13		

SYSTEM TEST メニュー

TEST **F5** キーを押すとメニューが出ます。

このメニューはサービスマン用の調整用キーです。一般のユーザーの方が操作することはできません。
F8 キーを押して TEST メニューに戻ってください。



キー	項目	機能
F1 ~ F7		
F8	EXIT	TESTメニューに戻ります。
F9 ~ F13		

SERVO TEST メニュー

TEST F7 キーを押すとメニューが出ます。

The screenshot displays the SERVO TEST menu with the following sections:

- REEL TORQUE:**

LOADING	+122
T-REEL FWD	+112
LOOSING	+120
- AT:**

	A CH	B CH
NATURAL POS	- 65	- 59
STRN DC OS	+ 26	+ 4
STRN GAIN	+101	+ 67
RESONANCE	+ 65	+ 90
DRIVE GAIN	+110	+110
GROUP DELAY	+111	+103
- TOTAL ERROR:** Two vertical bar graphs for VIDEO and AUDIO, both ranging from -5 to -1.
- INNER ERROR VIDEO & AUDIO:** A grid of 12 vertical bar graphs for channels A and B across three channels (CH0, CH1, CH2, CH3).
- REC ENV:** A vertical bar graph ranging from -5 to -1.
- LTCR 00:59:36:20**
- TRACKING:** A horizontal bar graph with a value of 0.
- MECHA:**
 - HSW: NORMAL LINEAR
 - TC DELAY: AUTO OFF
- Function Keys (Right Side):**
 - F13: ADJ ENABLE
 - F12: BIMORPH INIT
 - F11: X VALUE + 69
 - F10: TRACKING OPT. ONCE
 - F9: MECHA
- Bottom Row:** TORQUE, DATASEND, MEASURE (OFF), AT, METER (ERROR +1892), PG SHIFT, ADJ RATE (FINE), EXIT
- Bottom Row (Function Keys):** F1, F2, F3, F4, F5, F6, F7, F8

SERVO TEST メニュー

キー	項目	機能
F1	TORQUE リールトルク調整	サービスマンの調整用キーです。
F2	DATA SEND トルクデータの転送	サービスマンの調整用キーです。
F3	MEASURE メジャー	サービスマンの調整用キーです。
F4	AT ATヘッドの調整	サービスマンの調整用キーです。
F5	METER	<u>ERROR</u> : インナーエラーのレベルを表示します。 <u>ENV</u> : エンベロープのレベルを表示します。
F6	PG SHIFT PGシフターの調整	サービスマンの調整用キーです。
F7	ADJ RATE アジャストレート	サービスマンの調整用キーです。
F8	EXIT	TESTメニューに戻ります。
F9	MECHA メカ調整	サービスマンの調整用キーです。
F10	TRACKING トラッキング調整	通常時のトラッキング調整は不必要です。編集時にトラッキングずれの場合に調整します。 <u>VAR</u> : 手動でトラッキングを調整します。「トラッキングの手動調整」(107ページ)を参照。 <u>FIX</u> : トラッキングを手動調整のセンター位置に固定します。 <u>OPT. ONCE</u> : カセット挿入後、最初の編集で、IN点までのPLAY中に最適化を行います。それ以後は最適化は行いません。再度最適化を行うこともできます。「トラッキングの自動調整」(106ページ)を参照。 <u>OPT. AUTO</u> : 編集のたびに毎回IN点までのPLAY中に最適化を行います。「トラッキングの自動調整」を参照。
F11	X VALUE	サービスマンのX値調整用キーです。
F12	BIMORPH INIT AT圧電素子の ヒステリシス除去	サービスマンの調整用キーです。
F13	ADJ ENABLE	サービスマンの調整用キーです。

SERVO TEST メニュー

エラーレート表示

エラーレートには 1) TOTAL ERROR と 2) INNER ERROR の表示があります。

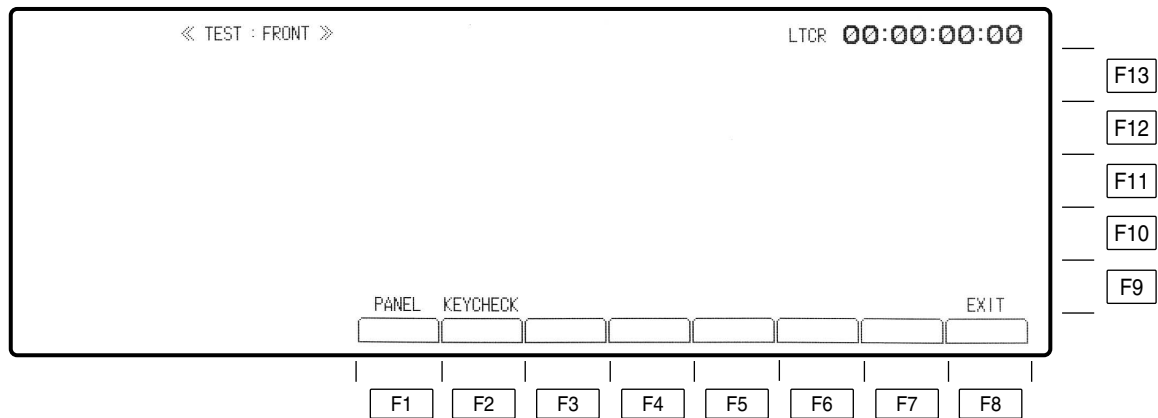
詳しくは RF TEST メニューのエラーレート表示の説明 (166 ページ) を参照してください。

トラッキング調整

トラッキングの調整は INSERT/ASSEMBLE MANUAL EDIT SET UP メニュー (106 ページ) を参照してください。

TEST FRONT メニュー

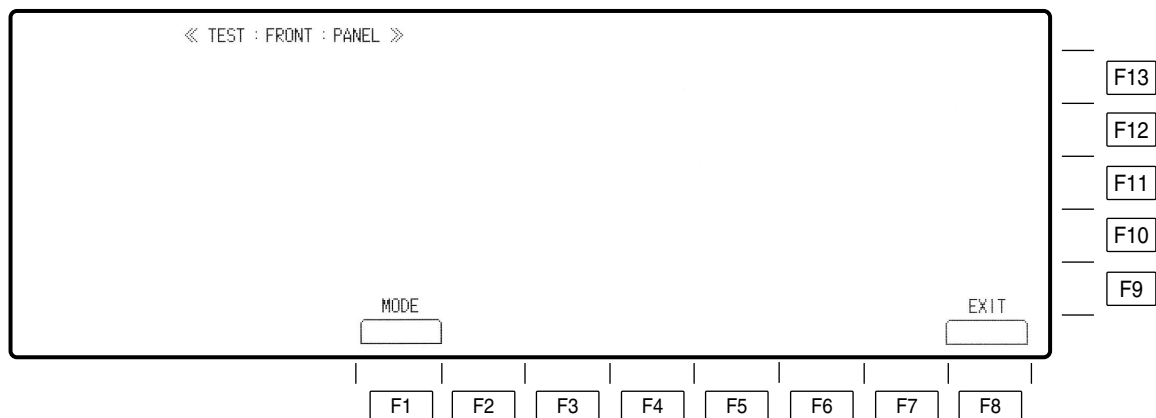
TEST **F6** キーを押すとメニューが出ます。



キー	項 目	機 能
F1	PANEL ディスプレイの表示 チェック	TEST FRONT PANEL メニューに移ります。
F2	KEYCHECK フロントパネルのキー チェック	TEST KEY CHECK メニューに移ります。
F3 ~ F7		
F8	EXIT	TEST メニューに戻ります。
F9 ~ F13		

TEST FRONT PANEL メニュー

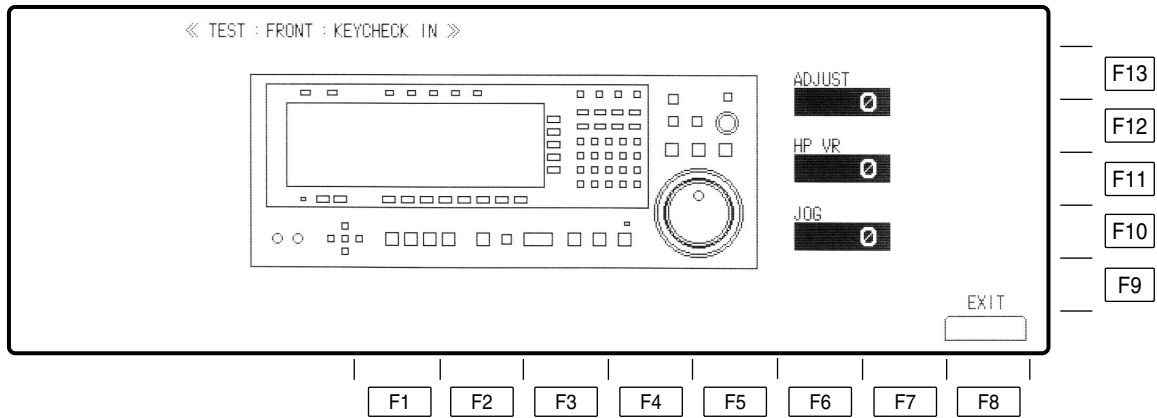
TEST F6 F1 キーを押すとメニューが出ます。



キー	項 目	機 能
F1	MODE 表示ドットチェック	ディスプレイパネル全体を一定パターンで点灯させ、表示ドットのチェックを行います。キーを押すたびに、12種類のパターンを表示します。
F2 ~ F7		
F8	EXIT	TEST FRONT メニューに戻ります。
F9 ~ F13		

TEST FRONT KEY CHECK IN メニュー

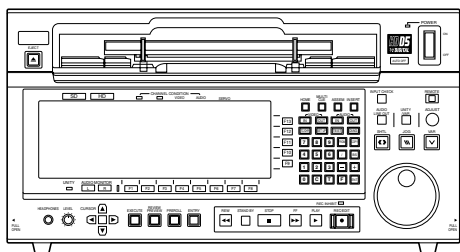
EJECT時、**TEST** **F6** **F2** キーを押すとメニューが出ます。



キー	項目	機能
F1 ~ F7		
F8	EXIT	TEST FRONT メニューに戻ります。
F9 ~ F13		

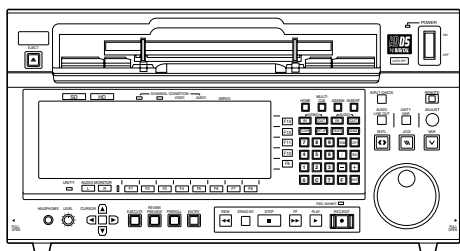
TEST FRONT KEY CHECK IN メニュー

ダイヤル/つまみ



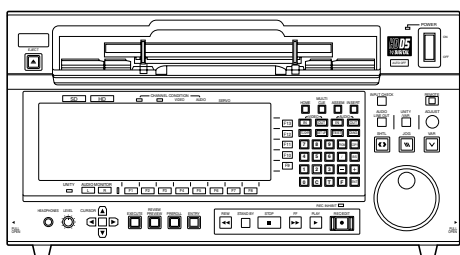
ADJUST VR、ヘッドホンつまみ、サーチダイヤルを回すと、カウントされたパルス数を表示します。

LED



F1 キーを押すたびにパネル上の LED を順番に点灯させ、LED のチェックを行います。

キー

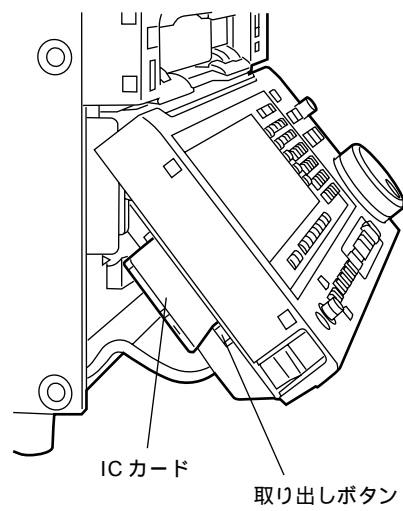


パネル上のキー（ボタン）を押すと、メニュー画面の該当するキーがハイライトされ、同時にブザーが鳴ります。これで、フロントアイコンがキーを認識したことを確認できます。

IC カードの挿入

フロントパネルの左側の裏にICカードの挿入口があります。

TEST IC CARD メニューを使用するときはICカードを挿入してからご使用ください。



TEST IC CARD メニュー

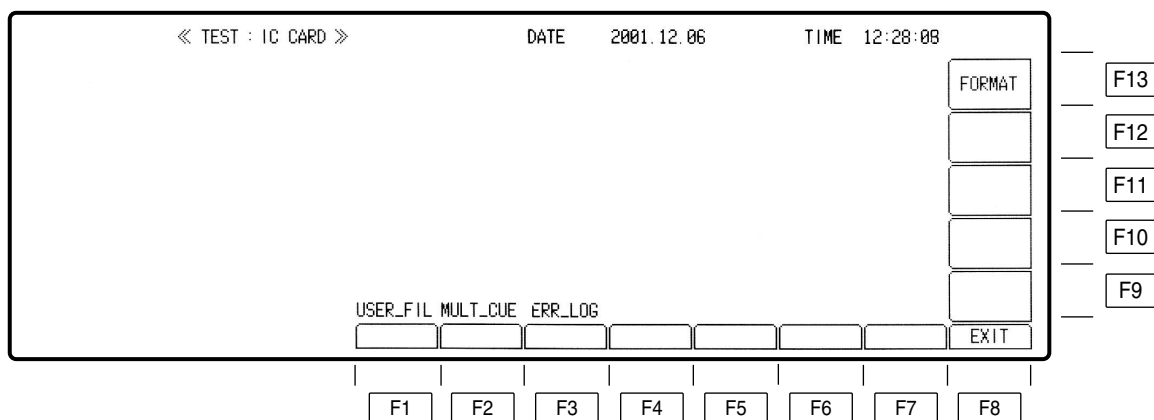
準備

本機ではエラーログ発生時、TC 情報に加えてエラーログの発生した日時・時刻の情報も記録させることができます。このためには、日付・時刻の初期登録が必要です。また 1 週間以上、本機の電源を「切」にした場合は、再登録が必要となりますのでご注意ください。

日付・時刻の登録方法

TEST **F13** キーを押すとメニューが出ます。

1. カーソルセンターキーを押します。
フロントパネルの中央上部にある年表示が白抜き表示となります。
2. 数字キーで日付・時刻を変更します。
変更する箇所はカーソル (◀、▶) キーで白抜き位置を移動させ、数字キーで変更します。
3. 日付・時刻情報の変更・登録が終わると、ENT キーを押して情報を確定させます。



TEST IC CARD メニュー

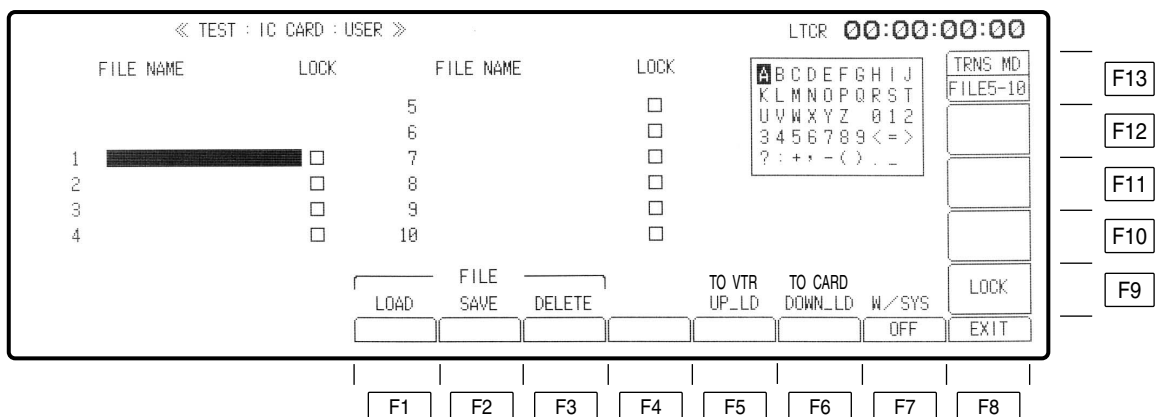
キー	項目	機能
F1	USER_FIL	ICカードを使ったユーザーファイルの管理を行います。 F1 キーを押すと、TEST IC CARD USER FILE メニューに移行します。 ・カレント（現在のデッキの状態）のロード/セーブ、及び全登録ファイルのロード/セーブ機能があります。 ・デッキにユーザーファイルを転送するとき、SYS_H、SYS_SCを一緒に送るかどうかを選択することができます。
F2	MULT_CUE	100個のCUE_POINT (MULTI_CUE) をICカードにロード/セーブします。 F2 キーを押すと、TEST IC CARD MULTI CUE メニューに移行します。 ・全てのページを一度に転送または転送するページを選択することができます。
F3	ERR_LOG	ワーニング発生時、デッキモード、タイムコード時間、種類、実時間（日付、時刻）をメモリーする機能があります。 F3 キーを押すと、TEST IC CARD ERROR_LOG メニューに移行します。 ・50ステップのデータをメモリーする機能があります。 ・メモリーバッファ一杯になったとき、新規ワーニングを、古いものを消して更新するかどうかの切り替え機能があります。 ・このデータをICカードにメモリーする機能があります。 ・ICカードのデータをモニターする機能があります。
F4 ~ F7		
F8	EXIT	TESTメニューに戻ります。
F9 ~ F12		
F13	FORMAT	ICカードのフォーマットを行います。ICカードのデータは全て消えますので注意してください。 FキーとCキーとF13 (FORMAT) キーの同時押しでICカードのフォーマットを行います。

<ノート>

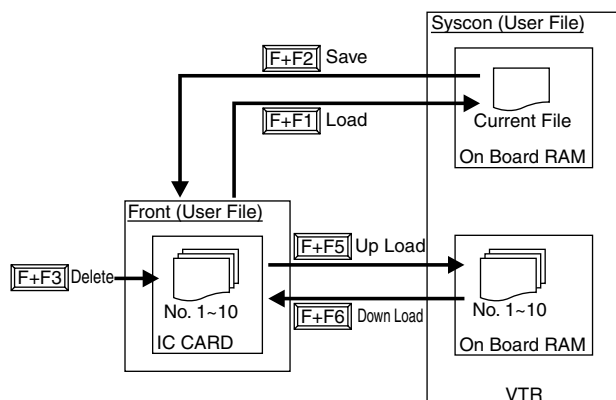
本機でフォーマットしたICカードを、AJ-HD2000、AJ-HD2700、AJ-HD3000、AJ-HD3700H、AJ-HD3700A等の他機種へ装備することは避けてください。逆に、他機種でフォーマットされたICカードを本機へ装備することも避けてください。ファイル構造が異なりVTRの動作異常を引き起こす可能性があります。

TEST IC CARD USER メニュー

TEST F13 F1 キーを押すとメニューが出ます。



ユーザーファイル (TESTメニュー)

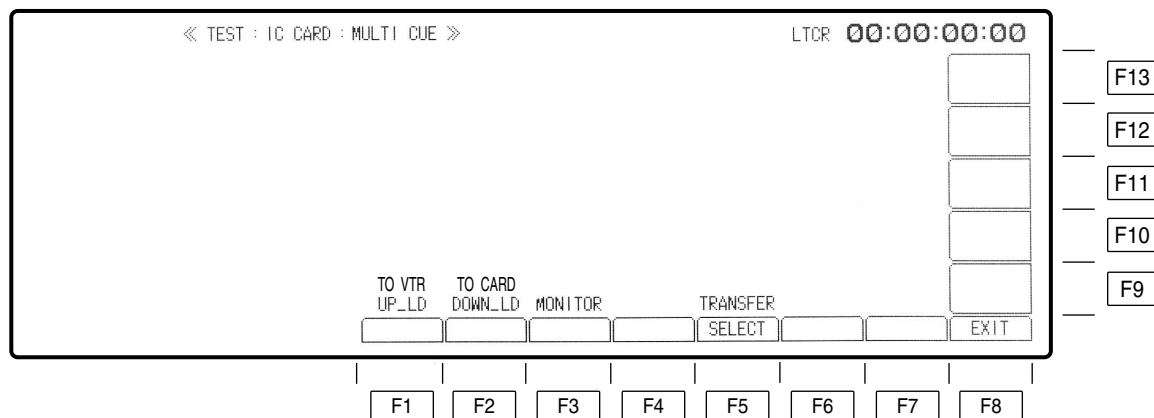


< TEST : IC CARD : USERメニューのファンクション設定について >

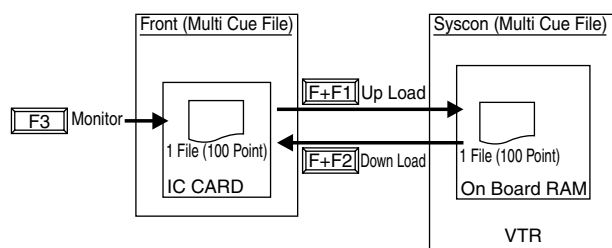
キー	項目	機能
F1	LOAD	Fキーと同時に押します。 ICカードのユーザーファイル呼び出します。
F2	SAVE	Fキーと同時に押します。 ICカードにユーザーファイルを登録します。
F3	DELETE	Fキーと同時に押します。 ICカードのユーザーファイルを削除します。
F4		
F5	TO VTR UP_LD	Fキーと同時に押します。 ICカードからVTRへ登録されているファイルをロードします。
F6	TO CARD DOWN_LD	Fキーと同時に押します。 VTRからICカードへ登録されているファイルをロードします。
F7	W/SYS	ICカードからVTRへユーザーファイルを転送時、SYS_H、SYS_SCを上書きするしないの選択をします。
F8	EXIT	TEST : IC_CARDメニューに戻ります。
F9	LOCK	ユーザーファイルのロック解除、設定を行います。
F10		
F11		
F12		
F13	TRNS MD	ICカードからVTRへ登録されているファイルをロードする場合、FILE5から10か全てをロードするかを選択します。Fキーを押しながらF13キーを押すと“ALL”への切り替えができます。

TEST IC CARD MULT CUE メニュー

TEST F13 F2 キーを押すとメニューが出ます。



マルチキューファイル (TESTメニュー)

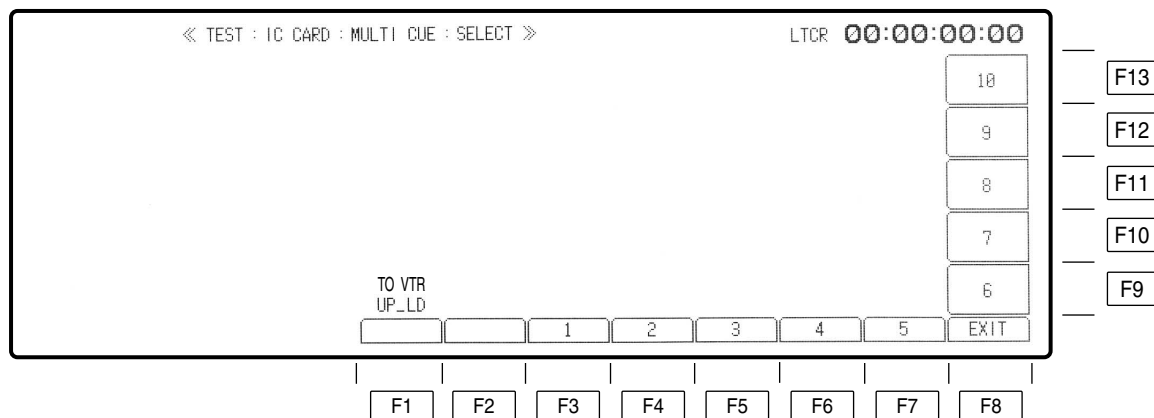


< TEST : IC CARD : MULTI CUEメニューのファンクション設定について >

キー	項目	機能
F1	TO VTR UP_LD	Fキーと同時に押します。 ICカードからVTRへ登録されている ファイルをロードします。
F2	TO CARD DOWN_LD	Fキーと同時に押します。 VTRからICカードへ登録されている ファイルをロードします。
F3	MONITOR	ICカードにセーブされている MULTI_CUEデータを表示します。
F4		
F5	TRANSFER	ICカードからVTRへUP_LDする とき、全て転送するか、ページ毎に選択 するかを切り替えます。
F6		
F7		
F8	EXIT	TEST : IC_CARDメニューに戻ります。
F9 ~ 13		

TEST IC CARD MULTI CUE SELECT メニュー

TEST F13 F2 F と F1 キーを同時に押すとメニューが出ます。

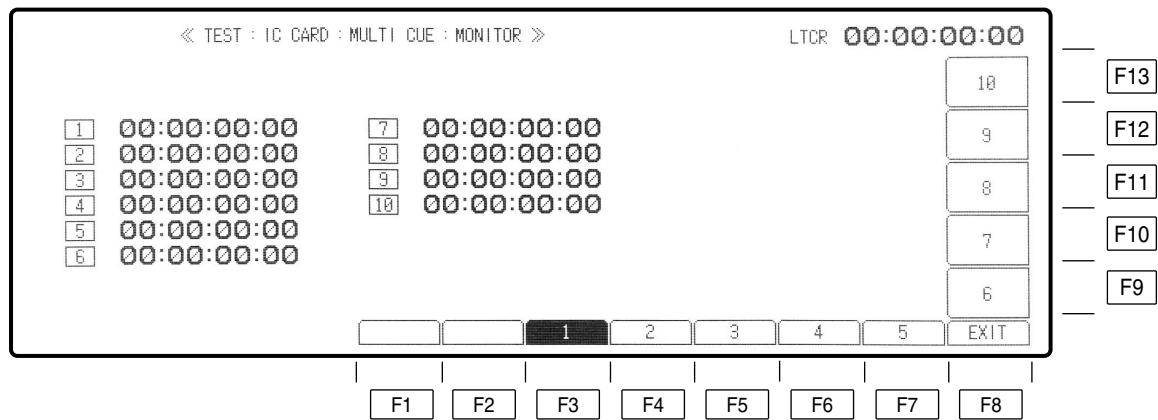


< TEST : IC CARD : MULTI CUE : SELECT メニューの
ファンクション設定について >

キー	項目	機能
F1	TO VTR UP_LD	F キーと同時に押します。 IC カードから VTR へ選択されている ファイルをロードします。
F2		
F3 ~ 7	1 ~ 5	転送するページを選択します。
F8	EXIT	TEST : IC_CARD : MULTI CUE メニュー に戻ります。
F9 ~ 13	6 ~ 10	転送するページを選択します。

TEST IC CARD MULTI CUE MONITOR メニュー

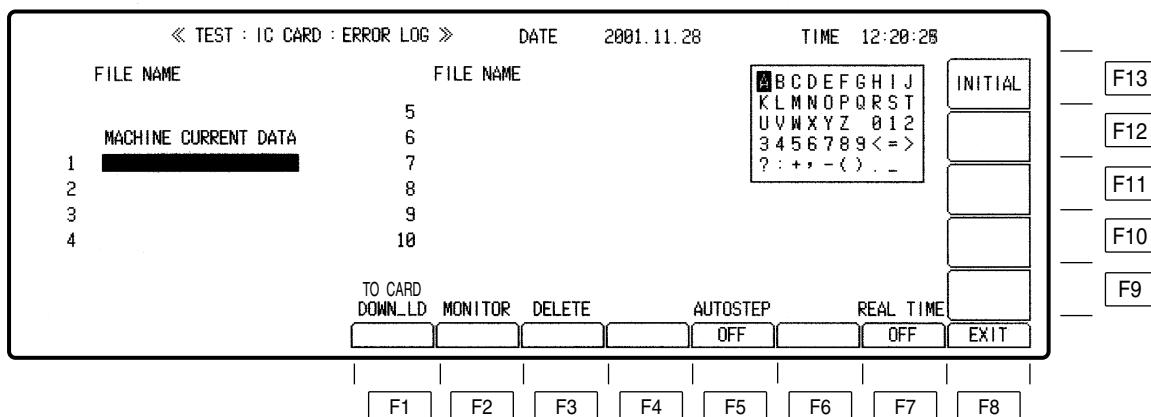
TEST F13 F2 F3 キーを押すとメニューが出ます。



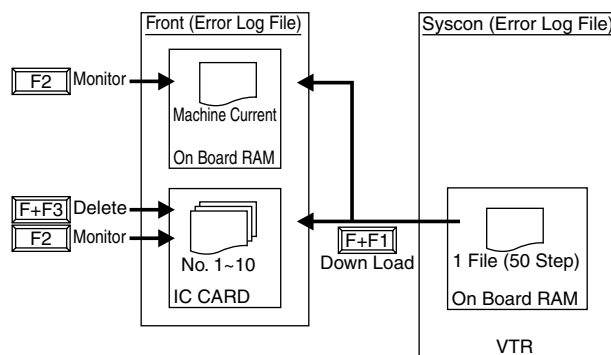
キー	項 目	機 能
F1 ~ F2		
F3 ~ F7	1 ~ 5 キュー番号の指定	
F8	EXIT	TEST IC CARD MULTI CUE メニューに戻ります。
F9 ~ F13	6 ~ 10 キュー番号の指定	

TEST IC CARD ERROR LOG メニュー

TEST F13 F3 キーを押すとメニューが出ます。



エラーログファイル



< TEST : IC CARD : ERROR LOG メニューのファンクション設定について >

キー	項目	機能
F1	TO CARD DOWN_LD	Fキーと同時に押します。 VTRからICカードへ登録されている ファイルをロードします。 MACHINE CURRENT DATAが選択 されている場合は、“TO FRONT”と 表示します。 ロード完了後、自動的に MONITOR メニューに移行します。
F2	MONITOR	メモリにセーブされている ERROR_LOGデータを表示します。
F3	DELETE	Fキーと同時に押します。 ICカードにセーブされている ERROR_LOGデータを消去します。
F4		
F5	AUTOSTEP	ワーニングがバッファ容量を越えた とき、古い物から順に消して更新する かどうか選択をします。
F6		
F7	REAL TIME	MONITORメニューにて REAL TIME を表示するしないを選択します。
F8	EXIT	TEST : IC_CARDメニューに戻ります。
F9		
F10		
F11		
F12		
F13	INITIAL	Fキーを押しながら F13 キーを押すと 現在、VTRにメモリーしている過去の ERROR_LOGデータを消去します。

TEST IC CARD ERROR LOG MONITOR メニュー

TEST **F13** **F3** **F2** キーを押すとメニューが出ます。

VTRの現在のLOG データを確認する場合は、“ MACHINE CURRENT DATA ” をダウンロードした後にモニターします。

《 TEST : IC CARD : ERROR LOG : MONITOR 》		DATE	2001.12.06	TIME	12:27:48
NO	WARNING	MODE	OFF TAPE TIME CODE	DATE	TIME
41.	CONCEAL A	NORMAL PLAY	00:00:24:08	01.12.05	16:38:37
42.	CONCEAL A	NORMAL PLAY	00:00:32:08	01.12.05	16:38:45
43.	CONCEAL A	NORMAL PLAY	00:00:52:08	01.12.05	16:39:05
44.	INNER ECC SW OFF	NORMAL PLAY	00:00:56:08	01.12.05	16:39:09
45.	CONCEAL A	NORMAL PLAY	00:01:02:08	01.12.05	16:39:15
46.	LTC IN TAPE NOT READ	NORMAL PLAY	00:00:01:08	01.12.06	11:58:07
47.	AUDIO MUTE	NORMAL PLAY	00:00:05:11	01.12.06	11:58:11
48.	CONCEAL V	NORMAL PLAY	00:00:05:11	01.12.06	11:58:11
TOTAL 6 / 7					EXIT

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8

F9 F10 F11 F12 F13

キー	項目	機能
----	----	----

F1 ~ F7

F8	EXIT	TEST IC CARD ERROR LOG メニューに戻ります。
----	------	-----------------------------------

F9 ~ F13

- ・フロントパネルの表示可能個数より多くエラーが発生している場合は、スクロールキーによりエラー表示を動かします。

エラーメッセージについて

本機は 4 種類のエラーメッセージを表示します。

(1) DIAG メニュー

設定ミス、条件不確認、警告など本機の使用に差し障りのある場合、メニュー画面左上に警告マーク (W) が点滅します。

DIAG キーを押すと画面にエラーを表示します。

(2) オートオフモード

本機に異常が発生し、このまま継続して使用することが不可能な場合、本機前面部の AUTO OFF ランプと SYSTEM ランプが点灯し、ディスプレイにエラーメッセージを表示します。

(3) システムエラー

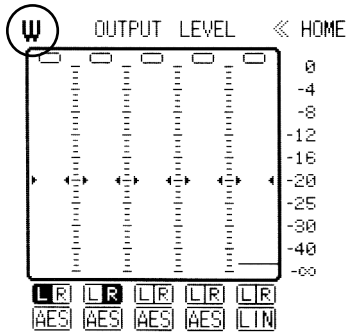
本機に異常が発生し、動作の保証ができない場合、本機前面部の SYSTEM ランプが点灯し、ディスプレイにエラーメッセージを表示します。

(4) 操作エラー

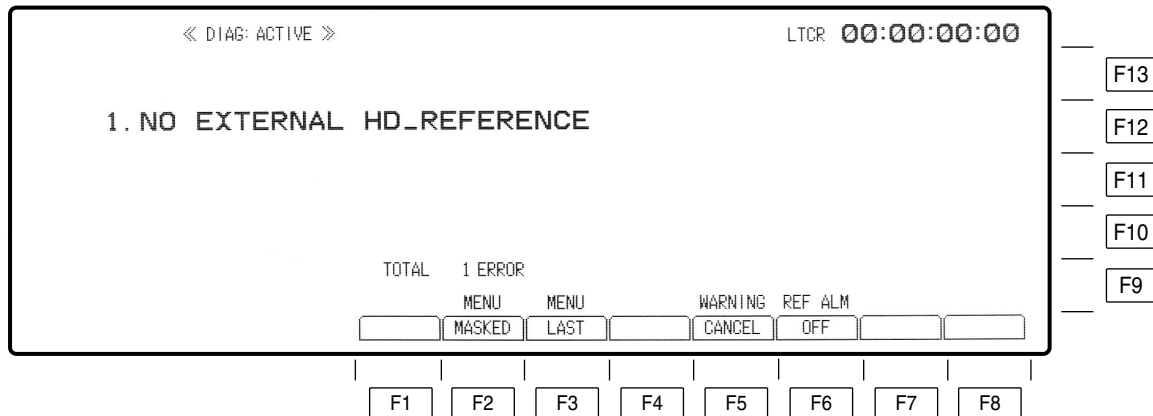
操作中のボタンやキーの操作ミスや入力ミスをした場合、操作ガイドとしてのメッセージを画面右下に表示します。

DIAG メニューのエラーメッセージ

設定ミス、条件不確認、警告など本機の使用に差し障りがある場合、画面左上に警告マーク（W）が点滅表示します。



警告されているときに DIAG キーを押すと、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。



DIAG メニューには以下の 3 種類があります。

DIAG ACTIVE メニュー DIAG キーを押すと最初に表示されるメニューです。
現在発生しているマスク（キャンセル）されていないワーニング項目に該当するエラーメッセージを表示します。

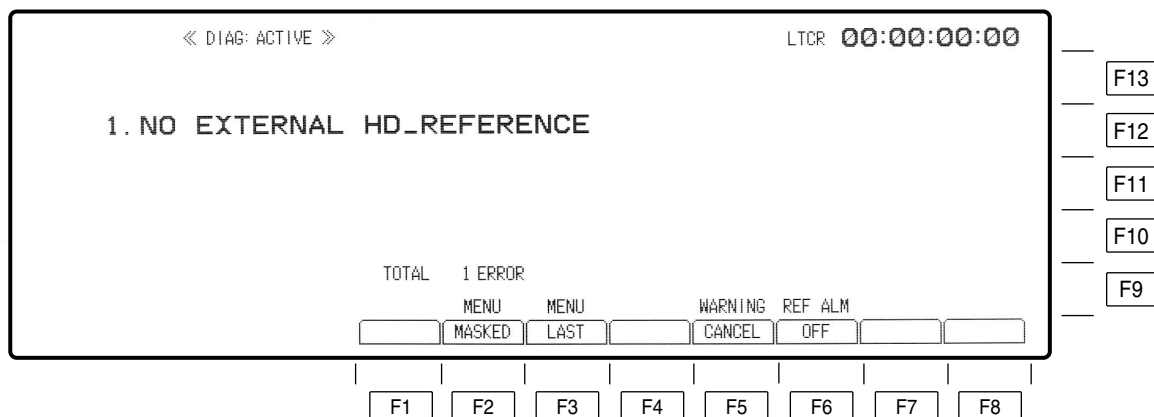
DIAG MASKED メニュー F2（MENU MASKED）キーを押すと表示されるメニューです。
マスク（キャンセル）されているワーニング項目に該当するエラーメッセージを表示します。

DIAG LAST メニュー F3（MENU LAST）キーを押すと表示されるメニューです。
最新の過去 3 回迄に発生したワーニングのエラーメッセージを表示します。

・エラーメッセージは、エラーが解消されれば消えます。

DIAG ACTIVE メニュー

警告マークが表示されているときに DIAG キーを押すと、以下の DIAG ACTIVE メニューが表示されます。



キー	項目	機能
F1		
F2	MENU MASKED	DIAG MASKED メニューに移行します。
F3	MENU LAST	DIAG LAST メニューに移行します。
F4		
F5	WARNING CANCEL	DIAG ACTIVE メニューに現在表示されているワーニング項目をマスク (キャンセル) します。 マスクされたワーニング項目に該当するエラーメッセージは、DIAG MASKED メニューに表示されるようになります。
F6	REF ALM	ON : REF 入力なしの場合に STOP ランプを点滅させます。 OFF : REF 入力なしの場合に STOP ランプを点滅させません。
F7 ~ F13		

ワーニングが複数発生している場合

- ・エラーメッセージは優先度の高いものから表示されます。
- ・カーソル ▲▼ キーで、全てのメッセージを順次見ることができます。
- ・ワーニングのトータル件数が表示されます。

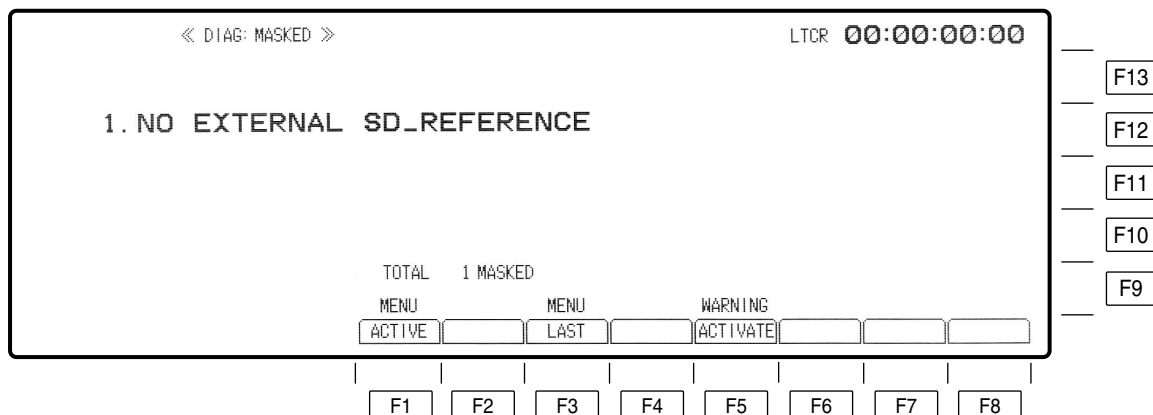
F6 (REF ALM) キーを ON に設定した場合、次の表を参考にしてください。

OUT_REF	SD_REF の有無	HD_REF の有無	STOP の点滅 / 点灯
AUTO/INPUT	有り		点灯*
	無し	有り	点灯*
HD			無し
		有り	点灯*
SD	有り		点灯*
	無し		点滅

*STOP モード時は点灯、それ以外のモード時は消灯します。

DIAG MASKED メニュー

DIAG ACTIVE メニューまたはDIAG LAST メニューで F2 (MENU MASKED) キーを押すと、以下の DIAG MASKED メニューが表示されます。



キー	項目	機能
F1	MENU ACTIVE	DIAG ACTIVE メニューに移行します。
F2		
F3	MENU LAST	DIAG LAST メニューに移行します。
F4		
F5	WARNING ACTIVATE	現在表示されているワーニング項目のマスク(キャンセル)を解除します。 DIAG MASKED メニューに現在表示されているワーニング項目のマスクを解除します。 マスクが解除されたワーニング項目に該当するエラーメッセージは、DIAG ACTIVE メニューに表示されるようになります。
F6 ~ F13		

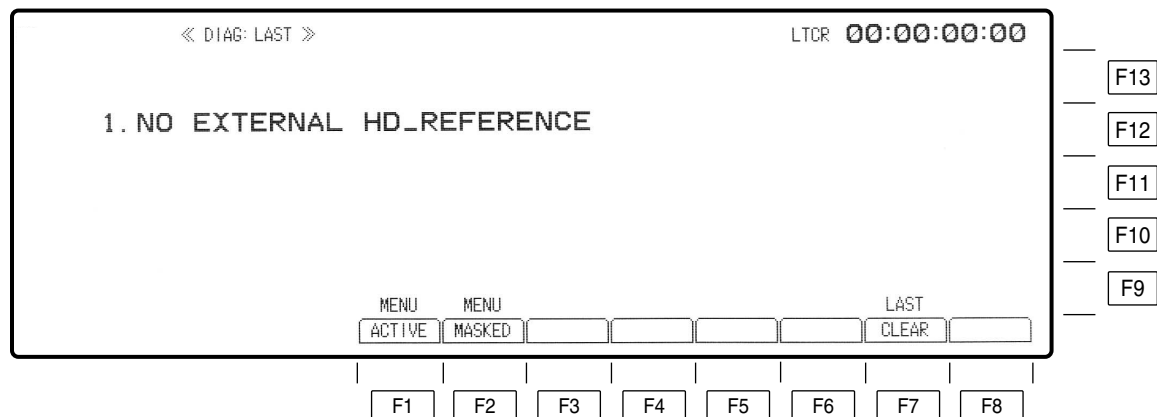
キャンセル(マスク)しているワーニングが複数の場合

- ・エラーメッセージは優先度の高いものから表示されます。
- ・カーソル▲▼キーで、全てのメッセージを順次見ることができます。
- ・ワーニングのトータル件数が表示されます。

DIAG LAST メニュー

DIAG ACTIVE メニューまたはDIAG MASKED メニューでF3 (MENU LAST) キーを押すと、以下のDIAG LAST メニューが表示されます。

- ・最新の過去 3 回に発生したワーニングのエラーメッセージが表示されます。



キー	項目	機能
F1	MENU ACTIVE	DIAG ACTIVE メニューに移行します。
F2	MENU MASKED	DIAG MASKED メニューに移行します。
F3 ~ F6		
F7	LAST CLEAR	現在の DIAG LAST メニューに表示されてる全てのワーニングをクリアします。 F キーと F7 (LAST CLEAR) キーを同時に押すと、現在の DIAG LAST メニューに表示されている全てのワーニングをクリアします。 新しくワーニングが発生すると、その内容が表示されます。
F8 ~ F13		

ワーニングが複数発生していた場合

- ・エラーメッセージは新しいものから表示されます。
- ・カーソル ▲▼ キーで、全てのメッセージを順次見ることができます。

DIAG のエラーメッセージ

メッセージ	エラー内容	オンスクリーン表示
FAN STOP1	FAN-1 が停止しました。一時動作は継続しますが、内部温度が上昇すると電源が切れます。	FAN STOP
FAN STOP2	FAN-2 が停止しました。一時動作は継続しますが、内部温度が上昇すると電源が切れます。	FAN STOP
NO CUE ERASE CURRENT	CUE イレースヘッドに消去電流が流れていません。	ERASE ERROR
NO TC ERASE CURRENT	TC イレースヘッドに消去電流が流れていません。	ERASE ERROR
NO FULL ERASE CURRENT	フルイレースヘッドに消去電流が流れていません。	ERASE ERROR
NO CTL ERASE CURRENT	CTL イレースヘッドに消去電流が流れていません。	ERASE ERROR
VIDEO CONCEAL SW OFF	TEST RF メニューで、VIDEO CONCEAL SW が OFF になりました。	CONCEAL SW OFF
INNER ECC SW OFF	TEST RF メニューで、INNER ECC SW が OFF になりました。	ECC SW OFF
OUTER VIDEO ECC SW OFF	TEST RF メニューで、OUTER VIDEO ECC SW が OFF になりました。	ECC SW OFF
OUTER AUDIO ECC SW OFF	TEST RF メニューで、OUTER AUDIO ECC SW が OFF になりました。	ECC SW OFF
AUDIO CONCEAL SW OFF	TEST RF メニューで、AUDIO CONCEAL SW が OFF になりました。	CONCEAL SW OFF
T-REEL TURNS TOO SLOW	記録 / 再生時の巻取りリール回転が異常です。	T REEL ERROR
SERVO UNLOCK	サーボはずれが起きました。	SERVO UNLOCK
CTL NOT DETECTED	CTL 信号が再生できません。	CTL NOT DET.
LOW RF	RF 再生レベルが低下しています。ビデオヘッドの清掃を実施してください。(記録時のみ検出)	LOW RF
AUDIO MUTE	音声出力にミュートが発生しました。テープ再生状態をチェックしてください。	AUDIO MUTE
CONCEAL A	PCM オーディオにエラー修正がかかりました。テープ再生状態をチェックしてください。	CONCEAL A
CONCEAL V	VIDEO データにエラー修正がかかりました。テープ再生状態をチェックしてください。	CONCEAL V
HIGH ERROR RATE	エラーレートが悪化しました。	HIGH ERROR
CTL HEAD CLOGGING	CTL ヘッドが目詰まりしました。ビデオヘッドの清掃を実施してください。	CTL HEAD CLOG
LTC HEAD CLOGGING	LTC ヘッドが目詰まりしました。ビデオヘッドの清掃を実施してください。	LTC HEAD CLOG
LOW RF (REC HEAD)	回転記録ヘッドから再生される RF エンベレベルが低下しています。(再生時のみ検出)	LOW RF
MISTRACK IN OPTIMIZED TRACKING DATA	トラッキングオブティマイズが正常に完了しませんでした。	OPT ERROR

DIAG のエラーメッセージ

メッセージ	エラー内容	オンスクリーン表示
WRONG OPTIMIZED TRACKING VALUE	トラッキング最適化動作において、エンベレベルの最大値が25%以上低下した結果になっています。テープの再生状態をチェックしてください。	OPT ERROR
SERVO UNLOCKED BEFORE IN POINT	編集IN点の手前で、サーボはずれが発生しました。	OPT ERROR
NO EXTERNAL HD REF	HD REF 入力端子に REF 信号が入力されていません。	HD REF ERROR
NO EXTERNAL SD REF	SD REF 入力端子に REF 信号が入力されていません。	SD REF ERROR
NO COLOR BURST IN SD REF	SD REF 信号のバーストがありません。	SD REF ERROR
NO STANDARD SCH-RANGE IN REF	SD Ref 信号の SCH 異常です。	SD REF ERROR
NO HD SDI INPUT	HD SDI 入力がありません。	HD SDI ERROR
CRC ERROR IN HD SDI INPUT	HD SDI 入力信号から CRC エラーが検出されました。	HD SDI ERROR
NO EMBEDDED AUDIO (CH1/2/3/4) INPUT	HD SDI 入力信号にオーディオ信号が検出されません。	HD SDI ERROR
NO EMBEDDED AUDIO (CH5/6/7/8) INPUT	HD SDI 入力信号にオーディオ信号が検出されません。	HD SDI ERROR
AUDIO (CH1/2/3/4) DATA ERROR IN HD SDI INPUT	HD SDI 入力信号のオーディオ信号に伝送エラーが検出されました。	HD SDI ERROR
AUDIO (CH5/6/7/8) DATA ERROR IN HD SDI INPUT	HD SDI 入力信号のオーディオ信号に伝送エラーが検出されました。	HD SDI ERROR
NO EMBEDDED LTC	HD SDI 入力信号に LTC 信号が検出されません。	HD SDI ERROR
LTC ERROR IN HD SDI INPUT	HD SDI 入力信号の LTC 信号に伝送エラーが検出されました。	HD SDI ERROR
NO EMBEDDED VITC	HD SDI 入力信号に VITC 信号が検出されません。	HD SDI ERROR
VITC ERROR IN HD SDI INPUT	HD SDI 入力信号の VITC 信号に伝送エラーが検出されました。	HD SDI ERROR
NO SD SDI INPUT	SD SDI 入力がありません。	SD SDI ERROR
NO EMBEDDED AUDIO (CH1/2/3/4) INPUT	SD SDI 入力信号にオーディオ信号が検出されません。	SD SDI ERROR
NO EMBEDDED AUDIO (CH5/6/7/8) INPUT	SD SDI 入力信号にオーディオ信号が検出されません。	SD SDI ERROR
UNMATCH AUDIO RECORDED FORMAT CHECK CASSETTE C BIT	カセットの C ホール (4ch/8ch 判別) をチェックしてください。C ホール情報とテープに記録された 4/8ch フォーマット情報が不一致です。(PB.AUTO=ON 時)	FRMT UNMATCH
UNMATCH AUDIO RECORDED FORMAT CHECK SYSTEM FORMAT	VTR のシステムフォーマットをチェックしてください。テープに記録された 4/8ch フォーマット情報と VTR のシステム設定の 4/8ch と不一致です。(PB.AUTO=OFF の時)	FRMT UNMATCH
INPUT DIGITAL AUDIO CH1/2 SYNC ERROR CONFIRM INPUT DIGITAL AUDIO	AES/EBU CH1/2.入力信号に SYNC エラーが発生しました。入力信号をチェックしてください。	PCM ERROR
INPUT DIGITAL AUDIO CH3/4 SYNC ERROR CONFIRM INPUT DIGITAL AUDIO	AES/EBU CH3/4.入力信号に SYNC エラーが発生しました。入力信号をチェックしてください。	PCM ERROR
INPUT DIGITAL AUDIO CH5/6 SYNC ERROR CONFIRM INPUT DIGITAL AUDIO	AES/EBU CH5/6.入力信号に SYNC エラーが発生しました。入力信号をチェックしてください。	PCM ERROR
INPUT DIGITAL AUDIO CH7/8 SYNC ERROR CONFIRM INPUT DIGITAL AUDIO	AES/EBU CH7/8.入力信号に SYNC エラーが発生しました。入力信号をチェックしてください。	PCM ERROR

DIAG のエラーメッセージ

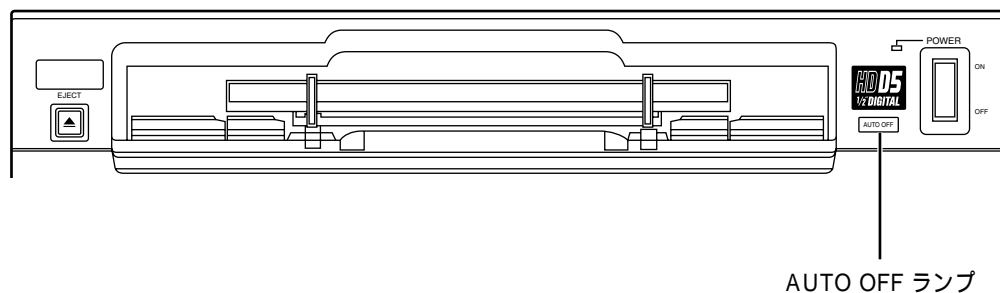
メッセージ	エラー内容	オンスクリーン表示
INPUT DIGITAL AUDIO CH1/2 CRCC ERROR CONFIRM INPUT DIGITAL AUDIO	AES/EBU またはエンベデッド音声 CH1/2.入力信号に CRCC エラーが発生しました。入力信号をチェックしてください。	PCM ERROR
INPUT DIGITAL AUDIO CH3/4 CRCC ERRORCONFIRM INPUT DIGITAL AUDIO	AES/EBU またはエンベデッド音声 CH3/4.入力信号に CRCC エラーが発生しました。入力信号をチェックしてください。	PCM ERROR
INPUT DIGITAL AUDIO CH5/6 CRCC ERROR CONFIRM INPUT DIGITAL AUDIO	AES/EBU またはエンベデッド音声 CH5/6.入力信号に CRCC エラーが発生しました。入力信号をチェックしてください。	PCM ERROR
INPUT DIGITAL AUDIO CH7/8 CRCC ERROR CONFIRM INPUT DIGITAL AUDIO	AES/EBU またはエンベデッド音声 CH7/8.入力信号に CRCC エラーが発生しました。入力信号をチェックしてください。	PCM ERROR
INPUT DIGITAL AUDIO CH1/2 PARITY ERROR CONFIRM INPUT DIGITAL AUDIO	AES/EBU またはエンベデッド音声 CH1/2. 入力信号にパリティエラーが発生しました。入力信号をチェックしてください。	PCM ERROR
INPUT DIGITAL AUDIO CH3/4 PARITY ERROR CONFIRM INPUT DIGITAL AUDIO	AES/EBU またはエンベデッド音声 CH3/4. 入力信号にパリティエラーが発生しました。入力信号をチェックしてください。	PCM ERROR
INPUT DIGITAL AUDIO CH5/6 PARITY ERROR CONFIRM INPUT DIGITAL AUDIO	AES/EBU またはエンベデッド音声 CH5/6. 入力信号にパリティエラーが発生しました。入力信号をチェックしてください。	PCM ERROR
INPUT DIGITAL AUDIO CH7/8 PARITY ERROR CONFIRM INPUT DIGITAL AUDIO	AES/EBU またはエンベデッド音声 CH7/8. 入力信号にパリティエラーが発生しました。入力信号をチェックしてください。	PCM ERROR
RECEIVED INVALID COMMAND FROM RS-422 PORT	未定義コマンドを受信しました。	RS-422 ERROR
SUM-CHECK ERROR IN RECEIVED COMMAND FROM RS-422 PORT	受信コマンドにサムチェックエラーが発生しました。	RS-422 ERROR
PARITY ERROR IN RECEIVED COMMAND FROM RS-422 PORT	受信コマンドにパリティエラーが発生しました。	RS-422 ERROR
FRAMING ERROR IN RECEIVED COMMAND FROM RS-422 PORT	受信コマンドにフレーミングエラーが発生しました。	RS-422 ERROR
OVER-RUN ERROR IN RECEIVED COMMAND FROM RS-422 PORT	受信コマンドにオーバーランエラーが発生しました。	RS-422 ERROR
RS-422 COMMUNICATION STOP BY TIME OUT	タイムアウトエラーが発生しました。	RS-422 ERROR
RECEIVED INVALID COMMAND FROM RS-232C PORT	未定義コマンドを受信しました。	RS-232C ERROR
SUM-CHECK ERROR IN RECEIVED COMMAND FROM RS-232C PORT	受信コマンドにサムチェックエラーが発生しました。	RS-232C ERROR
PARITY ERROR IN RECEIVED COMMAND FROM RS-232C PORT	受信コマンドにパリティエラーが発生しました。	RS-232C ERROR

DIAG のエラーメッセージ

メッセージ	エラー内容	オンスクリーン表示
FRAMING ERROR IN RECEIVED COMMAND FROM RS-232C PORT	受信コマンドにフレーミングエラーが発生しました。	RS-232C ERROR
OVER-RUN ERROR IN RECEIVED COMMAND FROM RS-232C PORT	受信コマンドにオーバーランエラーが発生しました。	RS-232C ERROR
RS-232C COMMUNICATION STOP BY TIME OUT	タイムアウトエラーが発生しました。	RS-232C ERROR
RECEIVED INVALID COMMAND FROM VA_CONT PORT	未定義コマンドを受信しました。	VA-CONT ERROR
SUM-CHECK ERROR IN RECEIVED COMMAND FROM VA_CONT PORT	受信コマンドにサムチェックエラーが発生しました。	VA-CONT ERROR
PARITY ERROR IN RECEIVED COMMAND FROM VA_CONT PORT	受信コマンドにパリティエラーが発生しました。	VA-CONT ERROR
FRAMING ERROR IN RECEIVED COMMAND FROM VA_CONT PORT	受信コマンドにフレーミングエラーが発生しました。	VA-CONT ERROR
OVER-RUN ERROR IN RECEIVED COMMAND FROM VA_CONT PORT	受信コマンドにオーバーランエラーが発生しました。	VA-CONT ERROR
EXT LTC NOT READ	EXT TC 入力異常です。	TC ERROR
EXT VITC NOT READ	EXT VITC 入力異常です。	TC ERROR
LTC IN TAPE NOT READ	LTC 信号が再生されません。	TC ERROR
IC CARD LOW BATTERY	IC カードの電池容量がありません。 カードを交換してください。	CARD LOW BATT

AUTO OFF のエラーメッセージ

異常が発生し、本機の使用が不可能または、このままでの使用ではメカニズムやテープに支障をきたす恐れがある場合、本機前面部の AUTO OFF ランプが点灯し、ブザーが鳴り、画面にエラーメッセージを表示します。この場合、操作を止め、記載の内容に従ってください。



AUTO OFF
CASSETTE UNLOAD FAIL
POWER OFF

- ・ DEW のエラーメッセージを除いては、一度電源を OFF にしないと、元の画面は復帰しません。

一度電源を OFF にし、再度電源を入れても、エラーが解消されないときは、異常が重大な場合、また修理や部品交換などが必要です。直ちに、電源を切り、電源プラグを持ってコンセントから抜いた後、お求めの販売店にご連絡ください。そのままご使用になりますと故障の範囲を大きくしたり、思わぬ事故の原因になる恐れがありますのでご注意ください。

AUTO OFF は主にテープ走行系のエラー時に発生します。
AUTO OFF が発生した場合は、本機の天板を開け、使用テープが走行系に正しくセットされていることを確認した上で、電源を投入してください。使用テープが脱落している場合は、お求めの販売店にご連絡ください。

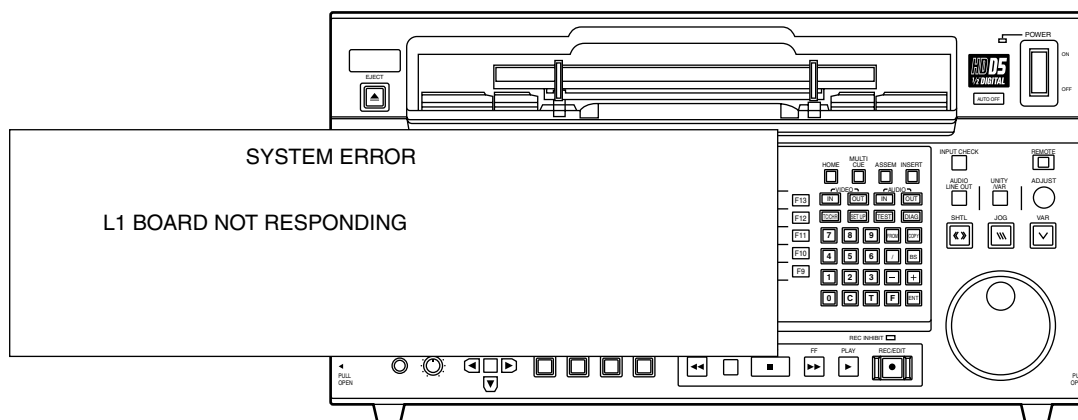
AUTO OFFのエラーメッセージ

メッセージ	エラー内容	オンスクリーン表示
CPU TAPE HANDLE TROUBLE	異常な割り込み処理等でCPUが正常動作していません。	SYSCON ERROR
CPU (SERVO SYS) COMM. TROUBLE	サーボマイコンとシスコンマイコン間の通信が異常です。	SERVO ERROR
CASSETTE PHOTO SENSOR TROUBLE	LEDの異常を検出しました。	MECHA ERROR
DETECTION SWITCH FAIL (A)	カセット3連SW-(A)(シリンダ側)が異常です。	MECHA ERROR
DETECTION SWITCH FAIL (B)	カセット3連SW-(B)(真ん中側)が異常です。	MECHA ERROR
DETECTION SWITCH FAIL (C)	カセット3連SW-(C)(カセット挿入口側)が異常です。	MECHA ERROR
ROTATE-RANGE OVER	シリンダの回転異常が検出されました。	SERVO ERROR
CAPSTAN NOT ROTATE	キャプスタンの回転異常が検出されました。	SERVO ERROR
TAPE TENSION ERROR	テープテンションの異常が検出されました。(ピンチON状態)テープ走行系をチェックしてください。	SERVO ERROR
TAPE TENSION OVER-RANGE IN SHTL	テープテンションの異常が検出されました。(ピンチOFFのリール駆動状態)テープ走行系をチェックしてください。	SERVO ERROR
REEL DIRECTION UNMUTCH	供給リールと巻取リールの回転方向不一致の異常が検出されました。テープ走行系をチェックしてください。	SERVO ERROR
WIND-UP REEL NOT ROTATE	巻取側リールの回転不良が検出されました。(キャプスタン駆動時)テープ走行系をチェックしてください。	SERVO ERROR
NO S-REEL FG PULSE	供給側リールの回転異常が検出されました。	SERVO ERROR
NO T-REEL FG PULSE	巻取側リールの回転異常が検出されました。	SERVO ERROR
CASSETTE UNLOAD FAIL	カセットアップ動作で異常が発生しました。テープ走行系をチェックしてください。	MECHA ERROR
SUB UNLACING FAIL	サブアンロード動作で異常が発生しました。テープ走行系をチェックしてください。	MECHA ERROR
MAIN UNLACING FAIL	メインアンロード動作で異常が発生しました。テープ走行系をチェックしてください。	MECHA ERROR
DEW	霜付き異常を検出しました。テープ貼り付き等のダメージの可能性がありますので、カセット挿入は控えてください。	MECHA ERROR

SYSTEM のエラーメッセージ

異常が発生し、本機の動作が保証できない状態のときブザーが鳴り、画面にエラーメッセージが表示されます。

このような場合、ただちに操作を止め、記載内容に従って対処してください。



- ・システムエラーはVTRの電源を切り、エラーの原因を取り除くと元の画面に復帰できます。

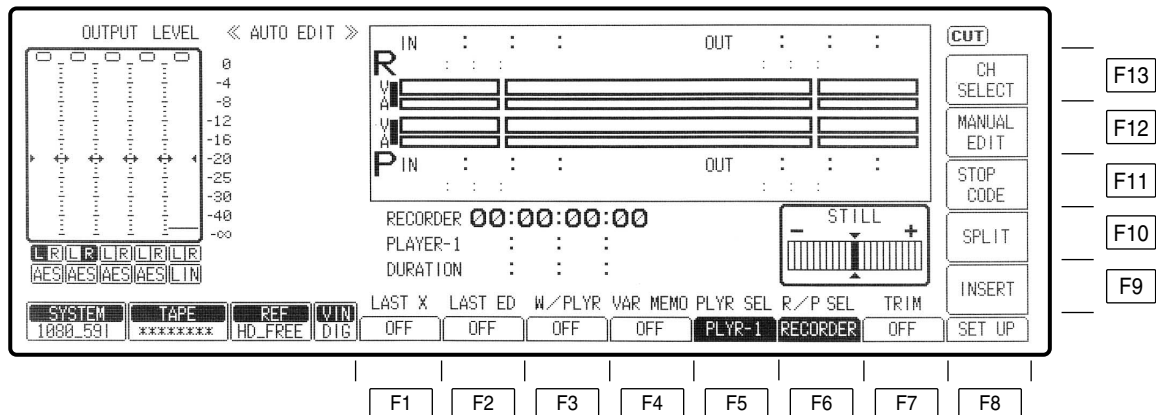
SYSTEMのエラーメッセージ

メッセージ	エラー内容	オンスクリーン表示
AV NOT RESPONDING	AVマイコンが正常に動作していません。 S5基板からの基準信号が不正規になっている等の可能性があります。	SYSTEM ERROR
SYSCON NOT RESPONDING	シスコンマイコンとフロントマイコン間通信が異常です。	SYSTEM ERROR
S2 BOARD NOT RESPONDING	S2基板が抜けています。	SYSTEM ERROR
S3 BOARD NOT RESPONDING	S3基板が抜けています。	SYSTEM ERROR
S4 BOARD NOT RESPONDING	S4基板上の回路動作が異常です。	SYSTEM ERROR
S5 BOARD NOT RESPONDING	S5基板上の回路動作が異常です。	SYSTEM ERROR
L1 BOARD NOT RESPONDING	L1基板上の回路動作が異常です。	SYSTEM ERROR
L2 BOARD NOT RESPONDING	L2基板上の回路動作が異常です。	SYSTEM ERROR
CASSETTE LOAD FAIL	カセットダウン動作で異常が発生しました。	MECHA ERROR
SUB LACING FAIL	サブロード動作で異常が検出され、カセットがイジェクトされました。走行系をチェックしてください。	MECHA ERROR
MAIN LACING FAIL	メインロード動作で異常が検出され、カセットがイジェクトされました。走行系をチェックしてください。	MECHA ERROR
HUB POSITION	リール台位置がカセットサイズと合っていない ません。カセットがイジェクトされました。	MECHA ERROR

操作メッセージ

主に、自動編集でボタンやキーの操作ミスをした場合、操作ガイドとしてのメッセージを画面右下（テープ速度表示部の上）に表示します。

- ・メッセージは数秒表示された後、自動的に消えます。



操作メッセージ (AUTO EDIT モード時)

	メッセージ	エラー内容
350	NO CASSETTE	カセットテープが挿入されていません。
351	NO PRESET	編集モードまたは、インサート編集時の編集チャンネルが選択されていません。
352	NO IN POINT	編集に必要な編集点データが登録されていません。
353	NO PLY 'R MODE	プレーヤをコントロールするモードになっていません。 INSERT (または ASSEMBLE) AUTO EDIT メニューで正しく設定してください。
354	NOT REC 'R MODE	レコーダをコントロールするモードになっていません。 INSERT (または ASSEMBLE) AUTO EDIT メニューで正しく設定してください。
355	NEGATIVE DURATION	編集 OUT 点のタイムデータが、編集 IN 点のタイムデータより前にあります。
356	INVALID DATA	不合理なデータや、無効データを入力しています。
357	PLAYER LOCAL	接続プレーヤが「LOCAL」モードになっています。
359	REC INHIBITED	記録禁止モードが設定されているとき、自動編集を実行しようとしています。HOME メニューとカセットテープ上の記録禁止ピンを操作して、REC INHIBIT モードを解除してください。
360	W/PLAYER NOT SET	プレーヤが使用できるモードになっていません。 INSERT (または ASSEMBLE) AUTO EDIT SET UP メニューで F1 (MODE) キーの設定を確認してください。
361	BOT	テープ始端です。
362	EOT	テープ終端です。
363	SHIFT TC FOR CF EDIT	CF ロックモードでの TC 値が不適切です。

スクリーンセーバー機能

本機の大型ディスプレイスクリーンの寿命を延ばすための機能です。

動きのないメニュー画面が連続して表示され続けると、ディスプレイスクリーンの寿命を縮める恐れがあります。そこでディスプレイスクリーンに連続して動きのない同じメニュー画面が5分以上表示されると、自動的に以下のスクリーンセーバー画面に変わります。



ロゴがスクリーン内を移動しながら表示されます。

ご注意

- ・スクリーンセーバー機能が働くのは、全く動きのないメニュー画面が連続して5分間以上表示されたときのみです。途中でファンクションキーなどが押されると、押した時点から5分間経過しないとスクリーンセーバー機能は働きません。
- ・録画・再生時などで、メニュー画面上のタイムコード値だけが変化している場合でも、スクリーンセーバー機能は働きません。

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社 システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06)6901-1161

© Panasonic Corporation 2002

